

講義科目名称： 心理学

授業コード： 4P001

英文科目名称： Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義（一部ワークやグループワークを行う）		担当者
授業計画	第1回	<p>心理学の歴史と方法 心理学の歴史と研究方法について学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：哲学における心理学、実験心理学の始まり（ヴント）、ヴント批判（ゲシュタルト心理学、行動主義、精神分析）</p>	竹居田 幸仁
	第2回	<p>脳と心理学 脳科学と心理学は密接な関係にある。本講義では、心の働きの基盤となる脳と神経の基礎的な仕組みと働きについて学習する。 key words：人間の脳の構造、脳の働き、睡眠</p>	竹居田 幸仁
	第3回	<p>発達1 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では、身体的な発達、認知的な発達について学ぶ。 key words：感覚機能の発達、運動機能の発達、認知的な発達（ピアジェ理論）</p>	竹居田 幸仁
	第4回	<p>発達2 年齢によって人間の一生を大まかに分け、それぞれの区分における特徴や変化に焦点を当てて、これらの方向性や順序性を明らかにしていく心理学の分野は「発達心理学」とよばれている。本講義では、心理社会的な発達について学び、生涯発達についての理解を深める。 key words：心理社会的な発達（エリクソンの理論）、生涯発達心理学</p>	竹居田 幸仁
	第5回	<p>感覚と知覚 人間が外界に適応した行動をとるためには、外界を理解する必要がある。本講義では、我々が外界の情報を受容し、それを利用する手段である感覚と知覚について学ぶ。 key words：感覚、視知覚、錯覚</p>	竹居田 幸仁
	第6回	<p>学習 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理を概観する。 key words：古典的（レスポネント）条件づけ（パブロフ）、オペラント条件づけ（スキナー）</p>	竹居田 幸仁
	第7回	<p>記憶 私たちは一生の間に数多くの様々な事柄を自らの記憶にとどめ、時に応じてそれらを思い出す。しかしながら、思い出そうとして思い出せないことや、忘れようとしても忘れられないことも多くある。本講義では、心理学における記憶の知見について学ぶ。 key words：記憶のしくみ、記憶の種類、記憶の多重貯蔵モデル、記憶の障害</p>	竹居田 幸仁
	第8回	<p>言語と思考と知能 人は思考し、言語を生産する。私たちの日常的な思考においては、言語の役割は非常に大きく、言語はより抽象的な思考を可能にする。本講義では、言語心理学や思考の方法、知能について学ぶ。 key words：言語発達、問題解決、意思決定、知能</p>	竹居田 幸仁
	第9回	<p>パーソナリティ 私たちはそれぞれ、他の人とは違うその人らしい考え方、感じ方、そして行動の仕方（行動様式）を持っている。このような考え方や行動の仕方は、時や場所のような状況を越えて、比較的一貫し、安定している。このことから、私たちには、このような個人の独自性と統一性をもたらすものが存在すると考えられ、それは「パーソナリティ」とよばれる。本講義では性格の代表的な理論である類型論と特性論について学ぶ。講義の後半では、臨床の現場で用いられる性格検査を体験する（予定）。 key words：類型論、特性論、性格の5因子モデル、パーソナリティ検査の信頼性と妥当性</p>	竹居田 幸仁

	<p>第10回 感情・情動と動機づけ 私たちが行動を起こそうとするとき、そこには感情や動機（づけ）が関わっている。本講義では、感情・情動と動機づけの諸理論について学ぶ。 key words：感情と情動，古典的な感情理論，現代の感情理論，動機づけと欲求，欲求階層説</p> <p>第11回 対人関係と集団 1 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：対人認知，対人感情，対人関係の成立基盤</p> <p>第12回 対人関係と集団 2 人は生きていく中で、様々な他者と出会い、交流しながら関係を築いていく。人間は本質的に一人では生きていくことのできない存在だからである。しかし、他者とともにあることは、人生を豊かにする半面、様々な苦悩の源泉ともなる。本講義では、私たちが他者をどのようにとらえ、関わっているか、他者からどのような影響を受けているかを学習する。 key words：援助行動，攻撃行動，集団内過程・集団間過程</p> <p>第13回 異常 異常（abnormal）心理学は、こころの異常現象の諸相とその成り立ちの解明を目的とするもので、精神病理学とほぼ同じ意味を持っている。本講義では、こころの病をもつ人において、その本質を理解するための異常心理学における現象について学ぶ。 key words：欲求・意思・行動の異常，感情の異常，知覚・表象の異常</p> <p>第14回 健康 健康心理学では、健康に関連する様々なトピックスがある。本講義では、健康とストレスおよびパーソナリティとの関連について学ぶ。 key words：ストレスサー，ストレス反応，ストレスコーピング，タイプA，タイプB，タイプC</p> <p>第15回 心理学の社会的展開 これまで様々な心理学の知見や研究について学んできた。本講義では、心理学の知見や技術を社会でどのように実践、活用しているのか学ぶ。 key words：チーム医療，障害者福祉，心の健康教育，少年院，ストレスチェック制度</p>	<p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p>
科目の目的	<p>心理学を学ぶことにより、社会を見つめる感性や現代を生きる人間としての生き方について考える力を養う。自己および他者への理解を深め、社会の中で適応的に生活するために必要な心理学の知識を身に付けることを目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【人と社会及び自然の理解】 【心身の発達】</p>	
到達目標	<p>1. 心理学諸理論による人間理解を深めるとともに自分について振り返る。 2. 心理学的援助の概要と方法について理解し、自らの専門分野に活かす。</p>	
関連科目	<p>【教養・共通基盤科目群】教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，家族社会学，生活文化と医療，人口知能・ロボットと社会，人間関係・コミュニケーション論，基礎統計学，情報処理，情報リテラシー，データサイエンス入門，大学の学び入門，大学の学び一専門への誘い，多職種理解と連携</p> <p>【専門基礎科目群】生理学Ⅰ，生理学Ⅱ，人間発達学，生涯発達心理学，学習・認知心理学，心理測定法，行動科学とリハビリテーション，公衆衛生学，小児科学，精神医学Ⅰ，精神医学Ⅱ，リハビリテーション医学，リハビリテーション概論，チーム医療とリハビリテーション，臨床心理学，医療統計学，社会福祉・地域サービス論</p> <p>【専門科目群】認知機能作業療法学，精神領域の作業療法学，精神領域の作業療法学実習，発達領域の作業療法学，発達領域の作業療法学実習，老年期の作業療法学</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（レポート形式・70％）に毎回の講義後に作成する小レポート等の評価（30％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>教科書の授業に関連するトピックについて読み、どのような内容について学ぶのか事前におさえておく。不明な点や気になる点があれば、授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準備をしておく。予習時間は45分程度。</p>	
教科書	<p>繁枅算男（2018）「公認心理師の基礎と実践2 心理学概論」遠見書房</p>	
参考書	<p>内山靖・藤井浩美・立石雅子（編）（2020）リハベーシック心理学・臨床心理学 医歯薬出版</p>	
オフィス・アワー	<p>講義後の教室において、もしくは事前にe-mailで予約のうえ、随時対応します。</p>	
国家試験出題基準	<p>なし</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>講義中の私語，スマートフォン・携帯電話の使用，講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>実施する</p>	

ナンバリング

PBa-101

講義科目名称： 教育学

授業コード： 4P002

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループディスカッション、グループワーク等を含みます） 15回		担当者
授業計画	第1回	なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤哲也
	第2回	教育とは？ 先人(大村はま、斎藤喜博、東井義雄)の教育観や教育実践を知り、自身が経験してきた教育を振り返ることを通して、教育の在り方について考える。	安藤哲也
	第3回	戦後日本の学校教育 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤哲也
	第4回	現在の学校教育が目指すもの 近年の中教審答申や学習指導要領を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様について考える。	安藤哲也
	第5回	世界の教育思想Ⅰ ※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。 提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第6回	世界の教育思想Ⅱ ※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第7回	潜在的なカリキュラムとは？ 複数の事例を基に潜在的なカリキュラムが及ぼす影響について考えることを通して、教育行為の基盤となるものにまで視野を広げる。	安藤哲也
	第8回	子どもの思いに基づく教育 子どもの自発性や主体性を大切にする幼児教育に焦点を当て、その基本を理解することを通して、自身の専門領域における指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第9回	子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤哲也
	第10回	子どもの思いを指導に活かす ビデオ映像を基に、子どもの思いを環境構成や保育者の関わり方に重ね合わせることを通して、子どもへの指導の在り方を具体的に考える。	安藤哲也
	第11回	活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤哲也
	第12回	集団で活動することの意義 小集団での活動を具体的に体験することにより、特別活動を指導する上で重要視する3つの視点から、子どもにとっての困難さや意義について考える。	安藤哲也
	第13回	特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第14回	チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤哲也
	第15回	「教育学」をどう活かすか？ ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤哲也

科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。
関連科目	教育心理学
成績評価方法・基準	①毎回の授業で使用するワークシートの内容（課題解決過程や振り返りの内容）と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が70%、②が30%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、次回の授業の冒頭で、参考例を示しつつ評価の観点から解説を行い、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。その上で、評価の観点に基づいたコメントを付し、個々に返却します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、授業中に記述したワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。
教科書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
参考書	参考書は授業内で適宜、紹介します。
オフィス・アワー	授業の前後(場所:非常勤講師室)でお願いします。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自、事前に取得しておいて下さい。
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、グループワーク等
ナンバリング	PBa-102

講義科目名称： 教育心理学

授業コード： 4P003

英文科目名称： Educational Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
伊藤 栞			

授業形態	講義（一部、ワークを実施する予定である）	担当者
授業計画	<p>第1回 教育心理学を学ぶ意義 教育心理学とは何かについて学び、本講義の到達目標について展望する。 key words：教育心理学</p>	伊藤 栞
	<p>第2回 発達1 教育心理学の枠組みのもと、発達について概観する。本講義では、定型発達の内容について詳しく知り、発達の特徴を考慮した上での医療従事者としての具体的な関わりについて考える。 key words：こころの発達理論、アンとサリーの課題</p>	伊藤 栞
	<p>第3回 発達2 本講義では、エリクソンの発達課題について学ぶ。さらに、自分史グラフを作成することによって、自らの発達の過程を振り返り、これまでの成長において周囲の援助があったことを再確認するとともに、周囲の人への感謝の気持ちを確認する。 key words：心理社会的発達理論（エリクソンの発達課題）、自分史</p>	伊藤 栞
	<p>第4回 記憶に残る知識をつくるには 心理学における記憶の知見について学ぶ。そのうえで、記憶に残る知識をつくるためのアプローチについて検討を行う。 key words：展望記憶、エビングハウスの忘却曲線</p>	伊藤 栞
	<p>第5回 学習内容の理解と応用 新しい知識を身につけるという意味での学習に関して、学習内容の理解とその応用のためにはどのようにアプローチすればよいか検討する。 key words：理解過程、自己学習力、メタ認知</p>	伊藤 栞
	<p>第6回 動機づけ 心理学における動機づけの知見について学ぶ。そのうえで、学習を支えるための動機づけのためのアプローチ方法について検討する。 key words：欲求、動機、学習性無力感、自己効力感</p>	伊藤 栞
	<p>第7回 教育相談 教育相談について理解を深めるために、日本において教育相談に求められていること、教育相談と近接する支援活動との関係、教育相談の実施者と実施機関の概要について学ぶ。 key words：教育相談の目的、実施者・実施機関、対象となる人</p>	伊藤 栞
	<p>第8回 いじめの実情とその課題・支援 いじめの実情とその課題を知り、具体的な支援方法を検討する。 key words：現代のいじめの特徴、いじめに関連する要因、いじめの予防</p>	伊藤 栞
	<p>第9回 自傷・自死とその課題・支援 自傷・自死の実情とその課題を知り、具体的な支援方法を検討する。 key words：自傷・自殺の実態、自傷行為、自殺企図</p>	伊藤 栞
	<p>第10回 非行とその課題・支援 非行の実情とその課題を知り、具体的な支援方法を検討する。 key words：犯罪少年、触法少年、虞犯少年、再非行の防止、学校外所機関との連携</p>	伊藤 栞
	<p>第11回 児童虐待の種類と実情 児童虐待の実情とその課題を知り、具体的な支援方法を検討する。 key words：身体的虐待、性的虐待、心理的虐待、ネグレクト、虐待による心身への影響</p>	伊藤 栞
	<p>第12回 不登校とその課題・支援 不登校の実情とその課題を知り、具体的な支援方法を検討する。 key words：不登校の実態、不登校のタイプ、個別的要因、社会的要因</p>	伊藤 栞

	<p>第13回 発達障害 発達障害とは、脳機能に障害があり、その症状が通常低年齢において発現するものである。本講義では代表的な発達障害である自閉スペクトラム症、ADHD、学習障害の特徴について学び、各状態像が抱えやすい困難について検討を行う。加えて、二次的障害と言われる自己肯定感の低下、周囲の人への反発や攻撃も生じやすいことについて理解を深める。 key words：自閉スペクトラム症、ADHD、学習障害、二次的障害</p> <p>第14回 特別支援教育 特別支援教育に至る経緯について知る。発達障害だけではなく、医療的ケアの必要な子ども、また身体障害、身体疾患、いじめ、虐待等様々な配慮を必要とする子どもへの取り組みが、特別支援教育であることを知る。 key words：特別支援教育</p> <p>第15回 キャリア教育 キャリア教育では、一段と変化が増す環境の中で自立的に生きるため、従来に増して「生きる力」の育成が不可欠であるという価値観に立つ。キャリア教育についての理解を深める。 key words：キャリア教育、キャリア発達</p>	伊藤 栞
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめる。 ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得するとともに、支援の必要な子どものための援助方法について習得する。	
関連科目	【教養・共通基盤科目群】教育学、教育心理学、社会学、大学の学び入門、大学の学びー専門への誘いー、多職種理解と連携 【専門基礎科目群】臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・55%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（45%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習として、授業で扱うテーマについて事前に調べておく。復習として、授業後に学んだ知識の整理を行うとともに、日常生活で活かしてみる。（予習、復習ともに4時間程度）	
教科書	なし	
参考書	繁枅算男（2018）「公認心理師の基礎と実践2 心理学概論」遠見書房 ※科目「心理学」で使用する教科書	
オフィス・アワー	授業前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施する	
ナンバリング	PBa-103	

講義科目名称：健康スポーツ理論

授業コード：4P004

英文科目名称：Sports Science

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義（14回）・演習（1回）	担当者
授業計画	第1回 健康管理概論 1. ヘルスプロモーション（健康づくり） 2. 予防医学 3. 生活習慣病（NCD）概論	衣川隆
	第2回 健康づくり施策概論 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 2. 健康日本21（第二次）（2013）とは？ 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 3. 日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう 4. ライフスタイルと生活習慣病	衣川隆
	第3回 生活習慣病（NCD） 1. メタボリックシンドローム 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. ロコモティブシンドローム 5. 悪性新生物（がん） 6. 認知症	衣川隆
	第4回 運動生理学 1. 呼吸・循環器系と運動 2. 脳・神経系と運動 3. 骨格筋系と運動	衣川隆
	第5回 機能解剖学 1. ハムストリングスの肉離れ ～アスリートを悩ます重大な障害～ 2. 筋肉の種類や分類法	衣川隆
	第6回 健康づくり運動の理論（トレーニングと筋肥大・栄養・骨） 1. 体力トレーニングの原理と原則 2. 強度の条件（主にコンセントリック） 3. 筋トレセット間の休憩時間 4. 筋力トレーニングと栄養（トレーニング50対栄養50） 5. 骨について	衣川隆
	第7回 健康づくり運動の理論（ストレッチ） 1. ストレッチングの種類は大きく分けて2種類	衣川隆
	第8回 スポーツ障害と予防健康管理概論 1. スポーツ障害とは	衣川隆
	第9回 体力測定と評価 1. 体組成とは	衣川隆
	第10回 運動プログラムの実際 1. 健診結果と特定保健指導の基準値 2. メディカルチェック	衣川隆
	第11回 運動と心の健康増進 1. 喫煙とメンタルヘルス、運動 2. 多くの現代人を悩ませる「睡眠負債」とは？	衣川隆
	第12回 栄養摂取を考察する 1. 栄養素の種類と働きを考察する	衣川隆
	第13回 健康についての雑学（食事・栄養） 1. ダイエットに関する情報 2. 危険な4つの食べ物	衣川隆
	第14回 健康についての雑学（心・体） 1. 健康とこころ（心理学に学ぶ） 2. アナトミートレイン 3. その他	衣川隆

	第15回 スポーツ小テスト 1. 授業中に課題を出した柔軟性的小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する 小テストの評価は、総合評価10/100とする 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する	衣川隆
科目の目的	<p>「健康と運動」、「老化と運動」に関しその維持と増進方法について、なぜ運動が重要なのかを学ぶ。特に有酸素運動と筋トレの効果は、心肺機能、呼吸器の向上、筋力の向上と筋肥大だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、姿勢の改善、高齢者生活の障害を低減すること等を説明する。本講義では有酸素運動や、筋力トレーニングを体験しながらその効果をも医療従事者として、地域社会に発信できるよう基礎を学ぶ。</p> <p>またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起り得る問題の対策を学習する。そして生涯にわたって専門分野を探求し、その発展に貢献できるよう考え方を学ぶ。</p> <p>【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、機能的な筋力トレーニングやストレッチの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心を身に付ける。またスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に学び、知識・行動を身に付ける。</p>	
関連科目	健康スポーツ実技	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（90%）、授業内的小テスト（10%） 定期試験は100点満点で実施するが90点満点に換算。授業内的小テストは1回実施して10点満点とする。 定期試験は講義で学んだ中から実施する。 小テストは講義中に課題として出した柔軟性的小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する。 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1日（24時間）の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日1回はどこかで運動を行い、食事についてもタイミングと栄養について考えてもらいたい。</p>	
教科書	アクティブアカデミーにて授業資料を配布します。	
参考書	<p>「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店</p>	
オフィス・アワー	講義室または体育棟で、講義の前後10分、お昼休み時間10分。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	<p>正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。</p> <p>具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 3. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 4. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること 	
ナンバリング	PBa-104	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション アクティブ・ラーニングの実施説明する。 オリエンテーションと班編成&トレーニングの説明。	衣川隆
	第2回 球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチング。このストレッチングは毎回実施するため、最終日の股関節ストレッチングポーズにつなげることを説明する。また前期の健康スポーツ理論の講義にも出てきた生涯にわたって正しい姿勢やスポーツ競技の向上、障害予防にも繋がるストレッチングである旨説明する。 班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすいスポーツであるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討していく。バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆
	第3回 球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、回内回外ストレッチングを行う。股関節のストレッチング効果も期待できる四股踏みも行う。 班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆
	第4回 体力測定記録会 体力測定記録会の種目（長座体前屈、握力、背筋力、立ち幅跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、ボール投げ、上体起こし、20m）。 体力測定記録会は小テストになる。小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。 広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。	衣川隆
	第5回 球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、ペアで行うストレッチングをする。具体的に胸郭の柔軟性が肩関節にも影響を及ぼすことを理解できるストレッチングを行う。 班対抗戦：バドミントン。バドミントンは、老若男女において取り組みやすいスポーツであるため、生涯にわたって行っていくかのせいもあるスポーツである。授業でバドミントンを行うにあたって、学生たちの人数に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、順次にローカルルールを再度検討する。バドミントン経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆
	第6回 球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、CKC（クローズキネティックチェーン）トレーニングをする。多関節筋との関係を説明する。 班対抗戦：フットサル。フットサルは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出やすい。また強く蹴ったりするとけがをする可能性もあるため、ローカルルールを検討して競技を進めていく。その後も問題解決を急いだほうが良い場合には、試合中でも直ちにローカルルールを再度検討する。フットサル経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆
	第7回 球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、バックライン（アナトミートレイン）のストレッチングを行う。 班対抗戦：バレーボール。バレーボールは競技年数や運動能力においても差が出やすい。2回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。 バレーボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。	衣川隆

第8回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、体幹トレーニング①を行う。野球の投球、バレーボールのアタックやサーブ、テニス・バドミントンのサーブ等は体幹と上腕の運動連鎖であることを説明しながら行う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。バスケットボールは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出たりけがをする可能性もある。2回目のバスケットボールで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。</p> <p>バスケットボール経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川隆
第9回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、ペアで行うストレッチングをする。具体的に股関節の柔軟性と回内回外を連動させたペアストレッチングはどのような影響を及ぼすのかを体験する。</p> <p>班対抗戦：バドミントン。授業でバドミントンを行うにあたって、学生たちの人数に対して試合場所が十分でない可能性もあるため、その中でローカルルールを検討して競技を進めていく。2回目のバドミントンで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、前回と異なる練習方法（攻撃型や守り型）を検討する。</p> <p>バドミントンは、生涯にわたって取り組みやすいスポーツなので、未経験者も楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川隆
第10回	<p>心肺持久力記録会 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。</p>	衣川隆
第11回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、反応トレーニングやスピードトレーニングを行う。</p> <p>班対抗戦：フットサル。フットサルは接触プレーも多く、男女間の体格の差によってプレーにも差が出やすい。また強く蹴ったりするとけがをする可能性もある。2回目のフットサルで班の中でコミュニケーションも向上していると思われるため、競技型で試合で行うか楽しみ型で試合を行うのか検討する。その中で更にローカルルールを検討して競技を進めていく。</p> <p>フットサル経験者や経験の浅い学生でも、だれもが楽しくスポーツを行うように検討していく。</p>	衣川隆
第12回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、地面反発トレーニングを行う。そこに肩甲骨の動きや母指球の動きも意識させて行う。</p> <p>班対抗戦：バレーボール。3回目のバレーボールで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中では最後のバレーボールになることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。</p>	衣川隆
第13回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、ペアで行うぎっこんばったんストレッチングを行う。</p> <p>班対抗戦：バスケットボール。3回目のバスケットボールで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中では最後のバスケットボールになることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。</p>	衣川隆
第14回	<p>球技・トレーニング 基礎体力作り：基礎体力作り：肩関節、股関節のベーシックストレッチングとそれらを活用した、全身の運動連鎖ストレッチングを行う。バックライン（アナトミートレイン）を中心に筋肉をマッサージしながら、次週がストレッチング小テストになるので、少し時間をかけて行う。</p> <p>班対抗戦：フットサル。3回目のフットサルで班の中でコミュニケーションも更に向上していると思われる。授業の中では最後のフットサルになることを鑑み、どのような戦法で戦っていくのかを班の中で十分検討し試合に臨む。</p>	衣川隆
第15回	<p>スポーツ小テスト 授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は股関節ストレッチングポーズ）を実施する。</p> <p>小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。</p>	衣川隆
科目の目的	<p>運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチングを行い、体力をつけることを狙いとする。一人で簡単にできる筋力トレーニングやストレッチングを行って、少しずつ無理なく自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。</p> <p>各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。スポーツを通して自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力を身につける。</p> <p>各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして多職種連携による問題解決の重要性の理解し、学生相互のコミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養を身につける。</p>	

	【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】
到達目標	1. 健康と体力の重要性を理解し、維持向上をさせる。 2. 生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける。 3. 自らの生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整える。
関連科目	健康スポーツ理論
成績評価方法・基準	授業時間内の実技（80％）。小テスト（20％）。 実技の評価ポイントは、科目目的やアクティブラーニングに記載されていることが実施できているかを基準にする。 1回目の小テストの評価は、総合評価10/100とする。 小テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。 2回目の小テストは、授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は股関節ストレッチングポーズ）を実施する。 小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいて、心と体の健康管理と生活状況管理をしておくこと。よって1日1回は運動が出来るような生活リズムを心がけてほしい。
教科書	使用しない。
参考書	「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院
オフィス・アワー	体育棟で授業の前後10分、お昼休み時間10分。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること
ナンバリング	PBa-105

履修条件・履修上の注意	授業開始時および授業中の私語禁止、授業中のスマートフォンおよび携帯電話の使用も禁止します。注意しても改善がみられない場合は退室を命じる場合があります。
アクティブ・ラーニングの実施	講義中の講師からの問いかけに答える、またディスカッションに参加するアクティブラーニングを実施。
ナンバリング	PBb-301

講義科目名称： 哲学

授業コード： 4P007

英文科目名称： Philosophy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
赤羽 悠			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 イントロダクション 哲学とは何か 宗教と哲学	赤羽 悠
	第2回 古代哲学（1） 哲学と「対話」 【ソクラテス】	赤羽 悠
	第3回 古代哲学（2） 「真理」について考える 【プラトン／アリストテレス】	赤羽 悠
	第4回 古代哲学（3） 「生きる技術」を問う 【エピクロス派／ストア派】	赤羽 悠
	第5回 中世哲学 キリスト教と哲学 【トマス＝アキナスほか】	赤羽 悠
	第6回 近世・近代哲学（1） 「理性」について考える 【デカルト／スピノザ】	赤羽 悠
	第7回 近世・近代哲学（2） 「経験」について考える 【ロック／バークリー／ヒューム】	赤羽 悠
	第8回 近世・近代哲学（3） 「自律」について考える 【カント／ヘーゲル】	赤羽 悠
	第9回 近世・近代哲学（4） 「国家」について考える 【ホッブズ】	赤羽 悠
	第10回 近世・近代哲学（5） 「所有」について考える 【ロック】	赤羽 悠
	第11回 近世・近代哲学（6） 「社会契約」について考える 【ルソー】	赤羽 悠
	第12回 近代哲学の問い直し（1） 「真理」と「道徳」について問い直す 【ニーチェ】	赤羽 悠
	第13回 近代哲学の問い直し（2） 「意識」について問い直す 【フロイト／マルクス】	赤羽 悠
	第14回 現代哲学（1） 「全体主義」の経験から考える 【アーレント／フランクフルト学派ほか】	赤羽 悠
	第15回 現代哲学（2）／講義の総括 現代哲学のその後	赤羽 悠
科目の目的	哲学をすることは、日常からかけ離れた抽象的なことをあれこれ考えることではない。それは、身近な、しかし容易には答えの出ない問題を、普段よりもう一段掘り下げて考えてみることである。歴史上の偉大な哲学者が行ってきたことも、実はそのようなことにほかならない。この講義では、哲学者たちの思考の営みをたどりながら、受講者に、各々が生きていくなかで直面する問題を解きほぐすのに役立つ哲学的思考を身に着けてもらうことを目指す。	

	<p>講義は「授業計画」に従って進めるが、受講者の理解度・関心等をふまえて若干内容を変更する場 合がある。また、基本的には古代から順を追って哲学の歴史を紹介していく形式をとるが、適宜、 現代の哲学者の議論や現代の問題も参照し、各回ごとのテーマについて、受講者各人がじっくりと 考えられるような機会としたい。</p> <p>ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）における位置づけ：本科目は【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】に該 当する。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歴史上の哲学者がどのような問いを立て、その問いにどのように取り組んできたのかを理解す る。 2. 1を通じ、哲学的に問いを立てるとということがどういうことかを学ぶ。 3. 以上を通じ、生きていくなかで直面する様々な問題に対処するにあたり必要とされる、哲学的 な思考を身に着ける。
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ● 「人間と宗教」、「社会学」、「心理学」、「生命倫理」等の科目と関連を有する。
成績評価方法・基 準	<ul style="list-style-type: none"> ● 期末筆記試験（論述）の成績による（100 %）。 ● 詳細については初回講義時に説明する。
準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ● 予習については特に求めない。講義の場で話を聞き、またそれについてその場で考えることに 集中してもらいたい。 ● 他方、授業後に内容を振り返り、扱われたテーマについて自分なりに考えをまとめる復習の作 業はおこなってほしい。そのために必要な学習時間については、概ね1時間程度を目安とする。
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書は用いない。講義は講義資料（レジュメ）を配布し、それに基づいて行う。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ● 竹田青嗣・西研編『はじめての哲学史』（有斐閣アルマ） ● 鷺田清一著『哲学の使い方』（岩波新書） ● その他の参考文献については、各回の講義の中で紹介する。
オフィス・アワー	<ul style="list-style-type: none"> ● 講義の前後（場所：教室もしくは非常勤講師控室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上 の注意	
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし
ナンバリング	PBb-201

講義科目名称： 現代文学

授業コード： 4P008

英文科目名称： Modern Literature

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。</p> <p>第2回 文学テキストを（読む） 文学作品をテキストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。</p> <p>第3回 寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。</p> <p>第4回 芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素をとらえ、小説世界の構造を理解する。</p> <p>第5回 志賀直哉「焚火」を読む テキストをじっくり読むことで、ストーリーに頼らない小説の読み方を学ぶ。</p> <p>第6回 群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。</p> <p>第7回 川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体という言葉について考える。</p> <p>第8回 野上弥生子「茶料理」を読む ストーリーに抗って読むことで、小説の表現形式の特徴を理解する。</p> <p>第9回 小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。</p> <p>第10回 解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。</p> <p>第11回 坂口安吾「アンゴウ」を読む 戦時下の出来事が戦後においてどのように語られるのか、短篇小説から読み解く。</p> <p>第12回 戦後詩を読む 『荒地』や『権』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。</p> <p>第13回 石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。</p> <p>第14回 古井由吉「祈りのように」を読む 小説の中でハッキリと語られないものについて、語りの形式に注目して読解する。</p> <p>第15回 村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喻を通して語ること、災害と文学について考える。</p>	徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦
科目の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テキストの中に問題を読み取り、深く考えることで筋道の通った読解を見出す。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。 <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。 	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間） 	
教科書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
参考書	斎藤美奈子『日本の同時代小説』（岩波新書、2018）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PBb-202

講義科目名称： 人間と宗教

授業コード： 4P009

英文科目名称： Human Beings and Religion

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、さらに、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想や、昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。</p>	竹村 一男
	<p>第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史などを画像を交え解説する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。</p>	竹村 一男
	<p>第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心に、その文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。</p>	竹村 一男
	<p>第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。</p>	竹村 一男
	<p>第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。</p>	竹村 一男
	<p>第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。</p>	竹村 一男

	<p>第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。</p> <p>第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、旧統一教会、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。</p> <p>第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。</p> <p>第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。</p>	<p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p> <p>竹村 一男</p>
科目の目的	<p>宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会の理解にも繋がる。</p> <p>なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【倫理観と幅広い教養】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。</p>	
教科書	教科書は使用しません。毎回、講義用のプリントを配付する予定です。	
参考書	<p>参考書1 『共同訳聖書』（日本聖書協会）</p> <p>参考書2 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫）</p> <p>参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫） ※いずれも無理に購入する必要はありません。</p>	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	毎回、講義用のプリントを配付しますが、同じものを事前にActive Academyにアップロードしておきます。	
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受け付けます。	
ナンバリング	PBb-101	

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小テスト（2回）各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
参考書	各回のテーマに関連する参考書を授業中に紹介する。	
オフィス・アワー	木曜日 12:30～13:00 (場所:非常勤講師室)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習(教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでいる芸術ジャンルの特色を発見し考察する)	
ナンバリング	PBb-102	

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)

授業コード： 4P011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義形式にて行なう	担当者
授業計画	<p>第1回 法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える</p> <p>第2回 法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する</p> <p>第3回 日本の法システム 日本の法令にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する</p> <p>第4回 日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する</p> <p>第5回 憲法1 憲法の基本理念及び構造について理解する</p> <p>第6回 憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する</p> <p>第7回 憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する</p> <p>第8回 憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する</p> <p>第9回 民法1 私法とは何か、債権債務とは何か、契約とは何かについて理解する</p> <p>第10回 民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する</p> <p>第11回 民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する</p> <p>第12回 民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する</p> <p>第13回 刑法1 刑法の基本原則について理解する</p> <p>第14回 刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する</p> <p>第15回 刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する</p>	<p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p> <p>道下 洋夫</p>
科目の目的	<p>日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているといつて過言ではない。したがって医療もまた法令の範囲内で行なわなければいけないし、そこから外れた医療を行なうことは許されない。かかる理由で医療従事者の国家試験では、法令の知識を直接問うもの、医療・福祉・保健の制度知識として間接的に法令の知識を問うもの、の双方が毎年多数出題されている。本科目ではそれらの法令理解に必要な基礎学力を学修する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。 ・憲法、民法、刑法を通じて実際の法規定を概観する。 ・社会人として生きていくのに必要な法知識を習得する。 ・2年生以降の専門領域における各種医療関係法規、医療倫理、社会保障制度につながる基礎知識を習得する。 	
関連科目	関係法規、社会福祉・地域サービス論、生命倫理	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義で扱った内容について目を通しておくこと(90分程度)。	
教科書	教科書：特にないが適宜、資料・法令を配布するので、各自事前に印刷して用意すること。	
参考書	特になし。	
オフィス・アワー	質問等があれば、講義中あるいは講義後に受け付ける。 場所：講義室または非常勤講師室	

国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	2年生以降の各種医療関係法規、医療倫理、社会保障制度の学習の前提となる。 ただし、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PBc-201

講義科目名称： 家族社会学

授業コード： 4P012

英文科目名称： Family Sociology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 家族をとらえる（1） 近代家族の基本概念 近代家族の特徴 近代家族の誕生 家族とはなにか あなたが考える家族とは①（小レポート）</p> <p>第2回 家族をとらえる（2） 家族の変動 家族と世帯 世帯の動向 家族周期</p> <p>第3回 家族の機能（1） 近代家族が担ってきた基本機能=生活保障</p> <p>第4回 家族の機能（2） 生産機能 消費機能 社会的・個人的機能</p> <p>第5回 家族のつながり（1） 家族のつながりの変化と現状 家族行動の個別化</p> <p>第6回 家族のつながり（2） 家族のつながりの変化による影響 子育て負担の偏り</p> <p>第7回 家族をめぐる制度 “夫婦別姓”とはどういう問題か あなたが考える家族とは（小レポート）</p> <p>第8回 家庭経済（1） 家庭経済内部の4つの活動とその循環（小レポートのフィードバック含む）</p> <p>第9回 家庭経済（2） 生活とお金 ワーキングプア</p> <p>第10回 性別役割分業（1） 性別役割分業の始まり</p> <p>第11回 性別役割分業（2） 社会保障とジェンダー</p> <p>第12回 ワーク・ライフ・バランス（1） ワーク・ライフ・バランス 働く人の生活への配慮</p> <p>第13回 ワーク・ライフ・バランス（2） 家庭責任をもつ人の仕事への支援</p> <p>第14回 ワーク・ライフ・バランス（3） 看護職としての成長と私生活の運営・充実 求められる家族への支援とは何か</p> <p>第15回 ふりかえり 家族とは 「家族」の存在や意味・社会のあり方</p>	坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子
科目の目的	<p>学生は皆、家族関係の中にあり、今後その多くは自ら新しい家族を形成していく。また、保健医療サービスの対象者の多くは家族関係の中にあり、サービス提供にあたっては、その人だけでなく、家族や家族関係をも対象とすることが必須である。この科目は、職業人、生活者、市民としての家族に関する見識と“家族する力”の養成と、家族を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 近代家族の特徴、家族機能など、家族を理解し、考察し、ひいては将来サービス対象とするための基本的な概念を習得する</p> <p>2. 自分と定位家族、自らが将来つくるかもしれない家族、そこにおける家庭生活、家庭生活と職業生活のバランス等についてより具体的に考えられるようになる</p> <p>3. サービス対象者が家族関係の中にあることや、当事者だけでなく家族関係もサービス対象となることが認識できる</p>	
関連科目	<p>法学（日本国憲法含む） 生命倫理、人間と宗教、生活文化と医療、経済学、人工知能・ロボットと社会、人間関係・コミュニケーション論、地域ボランティア活動論、大学の学び入門、大学の学び一専門への誘い、多職種理解と連携</p>	
成績評価方法・基準	<p>講義時間内に、何度か小レポートを実施(次回講義以降に返却)。定期試験70%・小レポート30%</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。</p>	
教科書	<p>使用しない</p>	
参考書	<p>本田由紀編（2015）『現代社会論』有斐閣ストゥディア ケイン樹里安（2019）『ふれる社会学』北樹出版</p>	
オフィス・アワー	<p>授業の前後（場所：非常勤講師室）</p>	

国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PBc-202

	第13回 老人観と長寿祝い テキストから全国各地の長寿祝いの方法を学びます。高齢化社会を象徴する儀礼の特徴をみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。	鈴木 英恵
	第14回 老いと健康をめぐる現代の民俗 群馬県地域では獅子舞が盛んです。高崎市はその傳承数も多く、たくさんの高齢者が獅子舞の継承者として活躍しています。ここでは地域文化の担い手として活躍する高齢者の一面をご紹介します。	鈴木 英恵
	第15回 まとめ 死生観のまとめとして、テキストを中心に伝統的な葬送儀礼から生者と死者の関係性をみていきます。看取り、供養の意味合いを考えながら、故人を偲ぶ方法をみていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、科学的医療ではなく伝統的な医療習俗を取り上げます。伝統的な医療習俗とは、世間一般の人びとの間で理解される病気の捉え方、経験に基づき傳承されている治療方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古い時代から存在し、私たちの生活に根付いてきました。このような民間療法の特徴を知ること、人はどのように病気を捉え、健康を取り戻そうとしてきたのか、その心意や治療方法を学ぶことができます。医療技術は日々進歩し、病院や医療機関等では科学的医療が施されますが、その一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えたと、お守り、お札（護符）など神仏の力、さらには家族や周りの友人に頼って、それらを心の拠り所にして病気と向き合います。よりよい健康状態を求めようとする人びとの心意こそが、伝統的な医療習俗に属します。本講義をとおり、私たちの生活と医療とのかかわりを実感し、患者やその家族を支えるような思慮深い保健医療従事者になることを目的とします。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	現代医療に通じる伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。今後、医療従事者を目指す皆さんは赤子から高齢者まで、さまざまな世代の患者やその家族と接するときがきます。伝統的な医療習俗や地域医療の対象となる人びとの生活文化を、知識として有していれば、患者らとの円滑なコミュニケーションを取ることが期待できます。本講義では、「死生観」と「生活文化と医療」に関するレポート課題がありますが、履修者の課題に対する取り組みへの姿勢とその内容を鑑み、成績に反映させます。レポート課題を達成した後、履修者が獲得できる能力は①患者の視点に立って物事をみる力を養うこと、②患者やその家族らの心の動きが理解できることの2点と考えます。医療技術のみならず、患者らの気持ちに寄り添えるような保健医療従事者となる能力の獲得を目標とします。	
関連科目	生命倫理、家族社会学	
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（40%）、生活文化と医療に関するレポート課題（40%）、講義内容について理解できているのかを測るミニテスト（20%）を実施します。 2つレポート課題（死生観に課するレポート及び、生活文化医療に関するレポート）の提出は必須です。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	日常生活の中から病気、健康などに関すること（衣食住で病気にならないように気を付けていること、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日々の時間の中で、本講義の名称「生活文化と医療」に関連するキーワードを自分で探し出してみてください。人は生きている限り、常に病いと向き合って生きていきます。皆さんは身体の体調が悪いときや怪我をしたとき、どのようにして健康な身体を取り戻すでしょうか。自分を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病気と向き合い、健康を取り戻しているのかを注意深くみてみましょう。そこには身体から病気を排除するような意識が働いているはずですが、必要な学習時間ですが、授業前までに、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。	
教科書	教科書：『叢書・いのちの民俗学3 生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』 板橋春夫（2019 社会評論社）	
参考書	参考書1：『図解案内 日本の民俗』 福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村風編（2019 吉川弘文館） 参考書2：『医療民俗学論』根岸謙之助（1991 雄山閣） 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	本講義では、履修者の能動的な学修への参加を望むためアクティブ・ラーニングを行います。think, Pair, Shareを重視します。講義内で「生活文化と医療」に関連する質問を皆さんに投げかけますので、それに対する自分の意見を考え（Think）を持ってください。その後に、隣・前後の履修者と2～3名（Pair）でその内容について話し合ってください。そして、数名の履修者に質問に対する自分の考えを発表してもらうことで、全体で共有（Share）したいと思います。	
ナンバリング	PBc-203	

講義科目名称： 経済学

授業コード： 4P014

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。	飯島 正義
	第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。	飯島 正義
	第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。	飯島 正義
	第5回 政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。	飯島 正義
	第6回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。	飯島 正義
	第7回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。	飯島 正義
	第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。	飯島 正義
	第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。	飯島 正義
	第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第11回 国内総生産（GDP）（2） 「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義
	第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
	第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント40%（3～4回、授業資料参照可）、授業内試験60%で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
参考書	必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に非常勤講師室で対応します。	

国家試験出題基準	該当しません。
履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。
ナンバリング	PBc-204

講義科目名称： 人工知能・ロボットと社会

授業コード： 4P015

英文科目名称： Artificial Intelligence, Robots, and Society

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	佐藤 満		

授業形態	講義5回、演習10回		担当者
授業計画	第1回	人工知能の定義，ロボットの定義 未来社会に多大な変革をもたらす技術とされる人工知能技術、およびロボット技術の位置づけを類似従来技術との差から考察することで、人工知能、ロボットの技術的特徴を理解する。	佐藤 満
	第2回	人工知能の歴史 これまでの人工知能技術開発の歴史と経過を考察し、その折々での技術水準と技術の限界を確認することで、現在の人工知能技術の到達水準と弱点を理解する。	佐藤 満
	第3回	人工知能の仕組みとその学習方法 人工知能技術の仕組みとしての人工ニューロンのネットワークの概念を理解する。また人工知能に学習させる方法の種類とその特徴について理解する。	佐藤 満
	第4回	身のまわりにある人工知能技術① 我々の日々の暮らしのまわりには、すでに多くの人工知能技術が導入されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。	佐藤 満
	第5回	身のまわりにある人工知能技術② 人工知能技術の社会応用事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに決定した学習項目の資料探索を各自で行い、その成果をサマリーに集約して提出する。	佐藤 満
	第6回	身のまわりにある人工知能技術③ 人工知能技術の社会応用事例に関して個人で学習した成果をグループ内で共有し、必要に応じて不足している学習内容を追加で探索して、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満
	第7回	身のまわりにある人工知能技術④ 前回までにグループでまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、人工知能の社会応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。	佐藤 満
	第8回	人工知能技術と医療① 人工知能技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。さらに学習項目の資料探索を行い、成果をサマリーに集約する。	佐藤 満
	第9回	人工知能技術と医療② 人工知能技術の医療応用事例に関して学習した成果をグループで共有し、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満
	第10回	人工知能技術と医療③ 前回までにグループでまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、人工知能の医療応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。	佐藤 満
	第11回	ロボットと社会 ロボット技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。既に社会に実装されている事例と、研究段階あるいは応用が試みられている事例を概観することで、ロボット技術が近未来社会に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第12回	ロボットと医療① ロボット技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。さらに学習項目の資料探索を行い、成果をサマリーに集約する。	佐藤 満
	第13回	ロボットと医療② ロボット技術の医療応用事例に関して学習した成果をグループで共有し、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満

	<p>第14回 ロボットと医療③ 前回までにグループ単位でまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、ロボットの医療応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。</p> <p>第15回 人工知能とロボットの未来 人工知能やロボット技術が際限なく進歩すると、人間や社会との共存という視点からさまざまな問題が生じると予想されている。それら課題を踏まえて、今後の社会生活と職業領域に与える変化とその対応について検討し理解する。</p>	<p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p>
科目の目的	<p>本科目はこれからの医療と社会に大きな変革をもたらす人工知能とロボット技術に関して医療人として必要な基礎的知識と教養を身に付けることが目的です。また、主体的に疑問や課題を発見して、主体的に調査や検討を実施する課題解決のプロセスを通して、将来的に人工知能とロボット技術に適切に向き合うことができる能力を身に付けます。以上より、リハビリテーション学部のデュプロマ・ポリシーの「人間や社会に関する幅広い教養に根差し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を認識できる能力」および「自己研鑽に励み、人格的成長を目指す姿勢」の獲得を目的とします。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>人工知能技術やロボット技術がもつ特色、期待される役割、技術の到達レベルを説明することができる。</p> <p>人工知能技術（生成AI含む）が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。</p> <p>ロボット技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。</p> <p>人工知能技術やロボット技術が多大な進歩を遂げた際に生じる課題や問題を説明することができる。</p>	
関連科目	<p>教養科目群・共通基盤科目群：基礎統計学 専門基礎科目群：リハビリテーション概論、リハビリテーション医学</p>	
成績評価方法・基準	<p>成績は講義内で作成する課題（60%）と定期試験（40%）にて評価します。定期試験の出題範囲は全ての講義で扱った内容とし、講義資料だけでなく講義で言及した内容を含めます。講義内で作成する課題は講義中に発表します。その際に課題へのフィードバックを行います。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>事前にシラバスの講義内容に目を通し、関連する単語や概念について調べてください（90分程度）。講義中に十分理解できなかった内容については、講義後に調べてください（90分程度）。それでも解決しなかった際にはメール等の手段を用いて積極的に質問してください。</p>	
教科書	<p>指定しません。</p>	
参考書	<p>講義の中で紹介します。</p>	
オフィス・アワー	<p>日時:講義日の17:50~18:20 場所:1号館6階611研究室</p>	
国家試験出題基準	<p>該当しません。</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>講義開始前までに講義資料を配布します。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>グループによる自己探索型学習を実施します（3回：計10コマ）。</p>	
ナンバリング	<p>PBe-101</p>	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
一柳 大輔			

授業形態	講義8回、ボランティアに関する実習レポート1回		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス、ボランティアの現状、ボランティアの歴史について 本講義の目的、授業の流れ等ガイダンスの説明。日本におけるボランティアの現状、ボランティアの定義、日本・欧米におけるボランティアの歴史について説明する。 また「民生委員・児童委員」「NPO」といった多様なボランティアの歴史を説明する。	一柳
	第2回	ボランティアに関する情報収集、ボランティアセンターの役割について ボランティア活動をスタートするにあたり、必要となる情報収集の方法について説明する。ボランティアセンターの組織や活動内容について説明し、各市区町村に設置されているボランティアセンターの活用方法を理解する。また、申請までのロールプレイングを行い、ボランティア参加までの流れを理解する。	一柳
	第3回	寄付と還元について 共同募金(赤い羽根共同募金)を例に寄付文化とその還元について説明する。寄付がどのようなかたちで使われているか、実際の事業を紹介し理解を深める。	一柳
	第4回	性的マイノリティとボランティア活動について 性的マイノリティに関連する団体の事業を紹介する。また、居場所事業・相談支援事業・啓発活動に関する紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。また、「アライ(支援者)」として性的マイノリティの方との交流を支援的側面に特化して説明する。	一柳
	第5回	生活課題を抱えた方への支援とボランティア活動について “複合的な課題”、“重層的な課題”等の生活課題を抱えている地域住民の事例紹介、そういった住民を対象とした居場所事業やコーディネート実践の紹介を通してボランティアとしてどう関わられるかを考察する。	一柳
	第6回	“ごみ屋敷”とボランティアについて ごみ屋敷の住人の多くは複合的な課題を抱えており、支援のあり方は非常に複雑であり、様々な専門職やボランティアが関わるケースが多い。ごみ屋敷の住人の支援において、ボランティアがどのように関わるかという視点で実際の事例をもとに説明をする。	一柳
	第7回	災害現場における災害ボランティアセンターの役割、災害ボランティアの活動について 我が国では、毎年、各地で自然災害が発生しておりこれらにより多くの人命や財産等が失われている。災害が発生した際に設置される災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティアの活動について説明し、医療専門職としてのかかわり方を考察する。	一柳
	第8回	ボランティア体験の実践発表、ボランティアに関する企業の取り組みの紹介 講義をとおした学びとボランティア体験レポートの発表を行う。様々な背景を持つ学生同士で知見を共有、考察する。また、民間企業の社会貢献活動の取り組みを紹介し、卒後の専門職キャリアを歩むうえでのボランティア活動の捉え方を考察する。	一柳
科目の目的	1. ボランティア活動の多様なあり方を理解する 2. ボランティアに関連するステークホルダーを知り、他者を尊重し、自身のかかわり方を考察する 3. 専門職として地域社会に主体的かつ創造的に貢献できる人材の育成 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. ボランティア活動の基本概念、歴史、現在の多様なニーズを理解し、ボランティアの意義を説明できる状態 2. 実践、体験を通して、地域社会のニーズやボランティア活動について説明できる状態 3. ボランティア・市民活動の実践を振り返り、専門職としての職業観の確立の基礎作りに寄与できている状態		
関連科目	なし		
成績評価方法・基準	ボランティア体験レポート(50%)・授業内レポート(50%)		

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	個人、専門職としてどのようにボランティアと関わるかを自身なりに整理し、言語化できるようにしておくこと。テーマに沿って自身の気になるトピックスを学習おくこと。準備学習に必要な時間の目安：1コマあたり2時間
教科書	使用しない
参考書	なし
オフィス・アワー	授業の前後（教室もしくは非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習、教室内での演習
ナンバリング	PBc-205

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
伊藤 栞			

授業形態	授業のはじめの30分程度講義を行い、残りの時間は講義で取り上げた内容について演習（個別・グループ）を行う。		担当者
授業計画	第1回	<p>自分を知る 対人援助職において、相手の価値観を知り、その人について理解を深めることは、被援助者との間に望ましい人間関係を築いていく上で実りの多いことである。しかし、相手の価値観を知る前に、まずは自分の価値観を意識化しておく必要がある。本講義で、SCT（文章完成法を行い、「自分とは何か」という問いに対する答えを考える。 key words：自己理解，SCT</p>	伊藤 栞
	第2回	<p>心理療法（1） 「心の天気」 私たちは、いろいろなことを感じて、それを誰かに聞いてもらいたかったり、表現したかったりする。しかし、なかなか上手く言えなかったり、聞いてもらえなかったりする。表現することをあきらめてしまうことがよくある。そうすると、しまいには、自分が何を感じているのか自分でもわからなくなってしまい、落ち着きがなくなったり、わけもなく不安になったりする。 本講義では、「こころの天気」というワークを通じ、こころを天気に例えてみることで、今の自分の感じをわかりやすく表現し、今の自分のこころはどのような状態なのかきちんと把握する体験をする。 key words：こころの天気，からだの感じ調べ</p>	伊藤 栞
	第3回	<p>心理療法（2） 「自律訓練法」 私たちのこころと体は密接な関係があり、不安やストレスが原因で体に症状が出ることもある。逆に、体の緊張を解きほぐすことでこころが穏やかになり、リラックスできるとも考えられる。本講義では「不安階層表」を作成することにより自分が不安になる場面を想起し、一時的に不安状態になったところで自己催眠法である「自律訓練法」を実施し、不安を緩和する体験をする。 key words：不安階層表，自立訓練法，基本公式，第一公式，第二公式</p>	伊藤 栞
	第4回	<p>心理療法（3） 「LAC法」（1） 大学入学後、本業である学業に対して無気力となり、サークル活動やアルバイト、余暇活動などに没頭するということは、誰でも経験し得ることである。そのような時は、自分の人生・生活全体を詳しく丁寧に分析して振り返り、自発的に自分の人生（生活）の目的（やりたいこと・やるべきこと）を設定して、意欲的に目的の達成に取り組んでいくことが必要である。本講義では、そのような取り組みを支援する方法である生活分析的カウンセリング(life analytic counseling)について、事例を通して実施方法や臨床への活用方法について学ぶ。 key words：生活分析的カウンセリング，スチューデント・アパシー</p>	伊藤 栞
	第5回	<p>心理療法（4） 「LAC法」（2） 前回の講義で学んだLAC法を体験する。 key words：生活分析的カウンセリング，必要性，可能性，平均</p>	伊藤 栞
	第6回	<p>心理療法（5） 「ストレスマネジメント」 対人援助職が他者に対して支援を行う際、まずは自らの心身の健康を保つことが求められる。同じ体験をしても、ストレスを強く感じる人と、それほど感じない人がいるが、その一因としてストレスへの対処法の得手・不得手が挙げられる。本講義では、質問紙への回答を通して、ストレスを引き起こす原因である「ストレスサー」が自分の身の回りにどれくらいあるかを把握し、ストレスマネジメントのワークを通してストレスサーによって「ストレス反応」が生じさせられることを防ぐための対処法を体験する。 key words：ストレスサー，ストレス反応，ストレスコーピング</p>	伊藤 栞
	第7回	<p>心理療法（6） 「解決志向ブリーフセラピー」 カウンセリングや心理療法において、クライアントの問題が解消するまでにかかる時間はクライアントによってまちまちであり、中には何年も時間を要するケースもある。ブリーフセラピーとは、クライアントとカウンセラーができるだけ協力して、効率的な問題解決を目指す心理療法である。本講義ではそのエッセンスを活用した「解決志向ブリーフセラピー」を体験し、日常生活で抱えている問題の解決の糸口を見つけ出すことを目指す。 key words：ブリーフセラピー，スケーリングクエスチョン，コーピングクエスチョン，エクセプショナルクエスチョン，ミラクルクエスチョン</p>	伊藤 栞

	第8回	心理療法（7） 「タッピングタッチ」 タッピングタッチとは、指先の腹のところを使って、左右交互に、軽く弾ませるようタッチすることを基本としたホリスティック（統合的）でシンプルなケアの手法である。本講義ではペアワークを通してタッピングタッチを体験し、その手法を習得する。 key words：タッピングタッチ，トラウマケア	伊藤 栞
	第9回	心理療法（8） 「フォーカシング」（1） フォーカシングとは、やさしい、許容的な態度で自分のからだに注意を向け、「フェルト・センス」と呼ばれる微妙な水準の認識に気づくようになるプロセスのことである。本講義では、フェルト・センスを感じるための練習を行う。 key words：フォーカシング，フェルト・センス，からだの感じ調べ	伊藤 栞
	第10回	心理療法（9） 「フォーカシング」（2） 私たちは、何か心配なことや気がかりなことがあると、それが頭から離れず、本来やるべきことに手が付けられないということがある。本講義では、自分の内面にある気がかりや問題を挙げていき、思い浮かんだものから適当な心理的距離をとる方法である「クリアリング・ア・スペース（clearing a space：CAS）の練習を行う。 key words：フォーカシング，クリアリング・ア・スペース	伊藤 栞
	第11回	心理療法（10） 「行動療法」 行動療法では、クライアント（または保護者等）とカウンセラーが共同して行動面での治療目標を立て、さまざまな技法を用いて不適切な反応を修正する。たとえば、楽しい雰囲気の中で、スモールステップで、徐々に恐怖対象に近づき、慣れるようにさせたり、賞賛やごほうび等を用いて、新しく適切な反応（感情や行動）を習得させる。本講義では、スモールステップの目標設定の練習を行う。 key words：行動療法，スモールステップ，強化，強化子	伊藤 栞
	第12回	心理療法（11） 「認知行動療法」 「無くて七癖」ということわざがあるように、誰にでも“クセ”というものがあるが、実は、ものの考え方にも“クセ”がある。認知行動療法とは、自分の考え方のクセ（自動思考）に気が付き、その誤りや偏りを適切な方向に修正していくという心理療法である。本講義では、自らの自動思考に気が付き、適切な考え方を探る練習を行う。 key words：認知行動療法，自動思考	伊藤 栞
	第13回	コミュニケーションスキルの基礎 コミュニケーションは、双方のやり取りで成立するものであり、一方通行では成り立たないものである。コミュニケーションは、言葉による伝達だけではなく、言葉以外の文字や身振り、表情なども含まれ、内容の正しさはもちろん、どのように伝えるかが大切である。本講義では円滑なコミュニケーションが成立するための基本的なスキルについて演習を交えて学習する。 key words：コミュニケーション，バーバルコミュニケーション，ノンバーバルコミュニケーション	伊藤 栞
	第14回	臨床心理アセスメント（1） 質問紙法 質問紙法は、印刷された質問文、またはウェブサイト上の質問文に対して、いくつかの選択肢からあてはまるものを回答する臨床心理アセスメントのための道具である。本講義では、POMS2日本語版を体験し、自分のおかれた条件の下で変化する一時的な気分・感情を測定する。 key words：質問紙法，POMS2	伊藤 栞
	第15回	臨床心理アセスメント（2） 描画法 様々な対象を指定して画用紙に絵を描かせる心理検査を「描画法」と総称している。画用紙という環境にいかにか自己表現するかによって、被検査者のパーソナリティの構造や動き具合を測定しようとする検査である。本講義では風景構成法を体験し、その理論や臨床への適応について学ぶ。 key words：描画法，空間象徴，風景構成法	伊藤 栞
科目の目的	私たちは、様々な悩みや問題を抱えながら生きている。カウンセリングでは、人がこうした悩みや問題に自分らしく向き合っていくプロセスに寄り添い、その方のこころを聴かせていただく。本講義では、「カウンセリングとは何か」を深く理解できるよう、カウンセリングの実践における理論と技法を学ぶ。また、さまざまな疾病・障害を持っている患者やその家族の心理について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。 ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. 傾聴について理解を深め、受容的・共感的な傾聴ができるようになる。 2. 自分自身のこころに向き合っていくことができるようになる。 3. 精神科系統の疾患・障害をもつ患者やその家族の心理について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し、対人援助に活用できるようになる。		
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学，教育学，教育心理学，生命倫理，哲学，人間と宗教，社会学，生活文化と医療，大学の学び入門，大学の学び－専門への誘い－，多職種理解と連携 【専門基礎科目群】人間発達学，精神医学，臨床心理学		
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。		

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習の内容については前回の講義時に指示をする。各単元について、1時間程度の予習・復習を行うことを目安とする。
教科書	なし
参考書	<p>繁杵算男（2018）「公認心理師の基礎と実践2 心理学概論」 遠見書房 ※科目「心理学」で使用する教科書</p> <p>横田正夫（編）（2016）「ポテンシャル臨床心理学」 サイエンス社 ※科目「臨床心理学」で使用する教科書</p>
オフィス・アワー	講義前後
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-1-B-a, 《専門基礎》-II-5-D
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	毎回60分程度の体験学習を行う。
ナンバリング	PBc-206

講義科目名称： 環境学

授業コード： 4P018

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs 第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち 第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは 第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ 第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病 第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として 第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD 第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定 第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー 第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R 第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書	使用しない（プリント配布）	
参考書	新版 新しい環境科学 鈴木孝弘 駿河台出版社 ISBN978-4-411-04039-8C3040	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション	

講義科目名称： 基礎生物学

授業コード： 4P019

英文科目名称： Basic Biology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質 (1) ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質</p> <p>第2回 生命を支える物質 (2) 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物 (糖質) ・脂質 ・核酸 ・無機質 (無機塩類)</p> <p>第3回～4回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞 (細菌類を含む)、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割</p> <p>第5回 DNA ①DNA複製のしくみ ②DNAの変異と修復 ③遺伝情報発現のしくみ</p> <p>第6回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖、減数分裂 ②受精 ③初期発生と分化のしくみ ④形態形成とアポトーシス</p> <p>第7回 生体防御と免疫 ①免疫細胞 ②サイトカイン</p> <p>第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③遺伝病の原因—遺伝子変異</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。</p>	
関連科目	化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績 (90%) 及び講義終了時に提出するリアクションペーパー (10%) により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典 (岩波書店、東京化学同人社など) で調べ、理解しておくこと。	

教科書	「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄 (医歯薬出版株式会社)
参考書	1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳 (南工堂) 2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-バックス (講談社) 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 (羊土社)
オフィス・アワー	授業終了後に教室・非常勤講師室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	基礎生物学分野の研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、教科書、講義資料等で予習後、履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。
ナンバリング	PBd-102

講義科目名称： 生物学

授業コード： 4P020

英文科目名称： Biology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
嶋田 淳子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回・2回 遺伝子の転写・翻訳 ①遺伝子の転写 ②遺伝子の翻訳 ③原核生物と真核生物における遺伝情報発現コントロール ④エピジェネティクス</p> <p>第3回・4回 遺伝子の複製 ①遺伝子の複製 ②染色体の分配 ③染色体異常 ④遺伝病 ⑤細胞周期</p> <p>第5回・6回 がんとかん遺伝子 ①がんの原因 ②がん遺伝子とかん抑制遺伝子</p> <p>第7回・8回 細胞科学の先端研究と医療への応用 ①オミックス解析の現状と課題 ②細胞内タンパク質の再利用 ・ユビキチン-プロテアソーム系 ・オートファジー ③iPS細胞 基礎研究と応用研究の進捗状況 ④細胞分裂の限界と老化</p>	<p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p> <p>嶋田 淳子</p>
科目の目的	<p>高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、保健医療の専門職として、先進・高度化しつつある専門領域の学習を理解するために必要な生命科学の基礎知識を深めることを目的とする。本講義では、基礎生物学で学んだ知識をベースに、生命活動を支えるエネルギー獲得、真核細胞のDNA複製や遺伝子の情報発現、情報発現の調節などを詳しく学ぶ。また、ヒトの遺伝病、先天異常について学ぶ。さらに医療分野に直接関連する生物学分野の研究進捗状況について理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>基礎生物学の学習内容を基礎として次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①真核細胞におけるDNAの複製、遺伝情報発現、発現調節、DNAの変異などについて知識を深める。 ②ヒトにおける染色体異常、および遺伝病について学び、説明できる。 ③がんの原因、がん遺伝子、がん抑制遺伝子について学ぶ。 ④細胞科学の先端基礎研究と医療分野との関連について理解し、説明できる力を身につける。</p>	
関連科目	基礎生物学、基礎化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（90%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（10%）により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。	
教科書	「人の生命科学」 佐々木 史江、堀口 毅、岸 邦和、西川 純雄 （医歯薬出版株式会社）	
参考書	<p>1. 「Essential細胞生物学原書第4版」 中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂）</p> <p>2. アメリカ版 大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルー-バックス（講談社）</p> <p>3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝 （羊土社）</p>	
オフィス・アワー	授業終了後に教室・非常勤講師室で、または随時e-mailで質問を受ける	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	基礎生物学を履修していることが望ましい。	
アクティブ・ラーニングの実施	授業の中でグループワークを行う。	
ナンバリング	PBd-103	

講義科目名称： 基礎数学

授業コード： 4P021

英文科目名称： Basic Mathematics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 展開・因数分解を復習する。 第2回 方程式と不等式 1次不等式, 2次方程式の復習をする。 第3回 2次関数 2次関数とそのグラフ, 2次関数の最大・最小, 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係性を復習する。 第4回 図形と計量 三角比, 正弦定理と余弦定理, 図形の計量を復習する。 第5回 個数の処理 順列, 組合せを復習する。 第6回 確率 事象と確率, 確率の性質, 反復試行の確率, 条件つき確率を復習する。 第7回 論理と命題 集合とその要素の個数, 命題と条件, 逆, 裏, 対偶を復習する。 第8回 データの分析 データの整理と特徴的な値(平均, 分散, 相関係数など)を復習する。	井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一 井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と軽量、場合の数と確率、論理と命題、基礎統計学について学ぶ。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	基礎統計学, 物理学, 化学, 情報処理, データサイエンス	
成績評価方法・基準	筆記試験(90%) + 小テスト(10%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度) 	
教科書	教科書：特になし 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
参考書	高校数学IAの教科書	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	PBd-104	

講義科目名称： 基礎統計学

授業コード： 4P022

英文科目名称： Basic Statistics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
富田 浩			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーションおよび度数分布表とヒストグラムのつくり方 授業方法・学生評価方法等の説明，度数分布表およびヒストグラムについて学ぶ 第2回 データの中心をはかる指標 各指標の求め方，長所・短所などについて学ぶ 第3回 データの散らばりをはかる指標 各指標の求め方，長所・短所などについて学ぶ 第4回 順列と組み合わせ 順列および組合せの考え方，算出方法について学ぶ 第5回 確率 確率の求め方と確率の基本定理について学ぶ 第6回 確率変数と確率分布 主に，二項分布，正規分布について学ぶ 第7回 母平均の区間推定 標本の情報から母集団の平均を推定する方法について学ぶ 第8回 母比率の区間推定 標本の情報から母集団の比率を推定する方法について学ぶ	富田浩 富田浩 富田浩 富田浩 富田浩 富田浩 富田浩 富田浩
科目の目的	データを見る，処理する時に必要となる統計的な見方・考え方を学び，将来，仕事などで統計を用いる際の土台をつくる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	基本統計量のもつ意味が説明できる 主な確率分布の概要について説明できる 母平均・母比率の区間推定ができる	
関連科目	基礎数学，データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	筆記試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：教科書（各回授業該当部分）を確認する（60分程度） 復習：授業内容と教科書の再確認，練習問題を解く（120分程度）	
教科書	「初歩からの統計学 第2版」白砂堤津耶（日本評論社）	
参考書	「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦（共立出版）	
オフィス・アワー	講義日の12:10-12:50	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	例題・練習問題の実施	
ナンバリング	PBd-105	

講義科目名称： 基礎化学

授業コード： 4P023

英文科目名称： Basic Chemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。	日置 英彰
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。	日置 英彰
	第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。	日置 英彰
	第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。	日置 英彰
	第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異な形、一般的な性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。	日置 英彰
	第7回 物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は、速度論と平衡論の両面から考察する必要がある。これらについて概説する。	日置 英彰
	第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程で学修する内容を体系的に理解するための基礎的知識を身につけることを目的とする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	専門課程で学習する内容を体系的に理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確認するために、講義ごとに与えられるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	PBd-106	

講義科目名称： 化学

授業コード： 4P024

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病気と闘う化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第4回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
	第5回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回 合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する	日置 英彰
	第8回 拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象の原理について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80％）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ありませんが、毎回の講義の理解度を確認するために、講義ごとに出題されるチェックテストを活用して復習してください。また、講義の中で疑問に感じて自分で調べたこと、講義に関連する内容についてさらに深く学習したことについて、毎講義ごとにリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）を提出してもらいます。講義を通して30時間分の学習が必要です。	
教科書	看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	講義前後の時間（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	
ナンバリング	PBd-107	

講義科目名称：基礎物理学

授業コード：4P025

英文科目名称：Basic Physics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量と単位 物理学で使用する数値や単位の表し方、理解に必要な数学的知識について学ぶ。	丸山 星
	第2回 運動 位置と変位、速度・加速度について学ぶ。	丸山 星
	第3回 さまざまな力とその働き① 物体にはたらく力とそのつり合い、運動の法則について学ぶ。	丸山 星
	第4回 さまざまな力とその働き② 落体の運動、水平面・斜面上の物体の運動について学ぶ。	丸山 星
	第5回 仕事とエネルギー 力学的エネルギーとその保存について学ぶ。	丸山 星
	第6回 温度と熱 温度と熱、内部エネルギーについて学ぶ。	丸山 星
	第7回 波の運動 波の性質、音と振動について学ぶ。	丸山 星
	第8回 電気と力 電流と抵抗、電気とエネルギーについて学ぶ。	丸山 星
科目の目的	医療従事者にとって最低限必要な一般教養としての基礎物理学を網羅的に学習する。 高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学の基本的概念と標準的な問題解決方法を身につけることを目的とする。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	物理学の基礎的概念を理解している。 物理学に関係する基本的な問題を論理的に解決できる。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料や確認問題をもとに事前学習（60分）・事後学習（60分）を行うこと。	
教科書	指定しない	
参考書	指定しない	
オフィス・アワー	メールにて随時対応します（maruyama.gchs@gmail.com）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	
ナンバリング	OBd-108	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 4P026

英文科目名称： Physics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
丸山 星			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 力のつり合いと運動の法則 力のモーメント、剛体の回転運動とつり合いについて学ぶ。 第2回 運動量と力学的エネルギー 運動量とその保存、衝突する物体の運動について学ぶ。 第3回 円運動と単振動 円運動する物体にはたらく力と、振動する物体について学ぶ。 第4回 熱力学 気体分子の運動と圧力の関係について学ぶ。 第5回 波の運動 波の屈折や反射、回折、干渉、音のドップラー効果について学ぶ。 第6回 電磁気（電気と力） 電界と電位、コンデンサのはたらきについて学ぶ。 第7回 電磁気（電流と磁界） 電流と磁界の関係、電磁誘導について学ぶ。 第8回 原子の構造と放射線 原子核の崩壊と放射線の種類について学ぶ。	丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星 丸山 星
科目の目的	医療従事者にとって必要な物理学を学習する。 高等学校で物理基礎を履修していない学生が、物理学全体の基礎的な理解を深めることを目的とする。この科目の学習を通して、科学的・論理的な考え方を養い、物理現象を定性的・定量的に取り扱えるようにする。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	物理学の考え方が身につき、重要な概念を理解している。 物理学に関する問題を解決でき、物理現象を定量的・定性的に取り扱うことができる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料や確認問題をもとに事前学習（60分）・事後学習（60分）を行うこと。	
教科書	指定しない	
参考書	指定しない	
オフィス・アワー	メールにて随時対応します（maruyama.gchs@gmail.com）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	
ナンバリング	OBd-109	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 4P027

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction Lesson 1 Communication 授業の説明 自己紹介 現在形 第2回 Lesson 2 Friendship 過去形 第3回 Lesson 3 Health and Environment 現在完了形 第4回 Lesson 4 Gender Equality 未来表現 第5回 Lesson 5 Fashion 助動詞① 第6回 Lesson 6 Food 助動詞② 第7回 Lesson 7 The History of YouTube 比較をする表現① 第8回 Lesson 8 Study Abroad 比較をする表現② 第9回 Lesson 9 College Life in the U. S. 受け身、使役 第10回 Lesson 10 Olafur Eliasson 関係詞① 第11回 Lesson 11 Volunteer Work 関係詞② 第12回 Lesson 12 Career 形容詞用法 第13回 Lesson 13 Travel 仮定法 第14回 Lesson 14 Culture 話法 第15回 Lesson 15 An International World ディスコース標識	井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声を聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (60%) 課題(30%) extensive reading(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。	
教科書	教科書：Journeys: Communication for the Global Age 阿野幸一ほか4名 (朝日出版社)	
参考書	なし	
オフィス・アワー	授業の前後 (場所：非常勤講師室)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	

の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PBe-101

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 4P028

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking イントロダクション、本授業について（シラバスや成績評価方法等）。 初対面で使う表現および授業中よく使われる表現の紹介、練習。	David Andrews
	第2回 Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回 Body Partsの小テスト（1） + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回 Unit 2の小テスト + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回 Unit 3の小テスト + Unit 4: Taking vital signs および第1回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Taking vital signs	David Andrews
	第7回 Unit 4の小テスト + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回 Unit 5の小テスト + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回 Body Partsの小テスト（2） + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回 Unit 7の小テスト + Unit 8: Advising about medication および第2回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Advising about medication	David Andrews
	第12回 Unit 8の小テスト + Unit 9: Improving Patients' mobility	David Andrews
	第13回 Unit 9の小テスト + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回 Body Partsの小テスト（3） + Unit 12: Coping with emergenciesおよび第3回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第15回 第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: Coping with emergencies	David Andrews
科目の目的	現在、医療は、間違いなくグローバルな分野であり、「国際語」である英語を通じて様々なアイデアが世界中に共有されている。本授業では、医療分野において必要な医療用語や表現を知識として身に付け、実際の場で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】】	
到達目標	医療業界において様々なシチュエーションに対応できるようになる。また、医療業界でよく使われている専門用語や表現等を聞き取り、言えるようになる。	
関連科目	英語会話、医療英語リーディング、英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	小テスト（30%）、第1回目のプレゼンテーション（15%）、第2回目のプレゼンテーション（20%）、第3回目のプレゼンテーション（35%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。予習：テキストに目を通して、オーディオを聞き、練習問題をやる。学習時間は合わせて1.5時間程度。また、プレゼンテーションの準備時間は合わせて6時間程度。	
教科書	教科書：Caring For People	
参考書	なし	
オフィス・アワー	授業日の昼休み（12:10～13:00）（1号館 ANNEX 6階619研究室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。	

アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	PBe-102

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 4P029

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction Test Your Reading Skill 授業の説明、各自のreading skillのチェック、単語力のチェック。 第2回 Unit 1 How Food Passes Through Our Body topicの英文読解、内容の把握。 第3回 Unit 2 Coping with Cancer topicの英文読解、内容の把握。 第4回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。 第5回 Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。 第6回 Unit 5 How Are Drugs Developed? topicの英文読解、内容の把握。 第7回 Unit 6 What Comes First when Helping Others topicの英文読解、内容の把握。 第8回 Unit 7 How to Identify Reliable Health Information topicの英文読解、内容の把握。 第9回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。 第10回 Unit 9 Actions Speaks Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。 第11回 Unit 10 Genetic Counseling as an Emerging Field topicの英文読解、内容の把握。 第12回 Unit 11 Can Medical Tourism Be a White Knight? topicの英文読解、内容の把握。 第13回 Unit 12 Hopes in Regenerative Medicine topicの英文読解、内容の把握。 第14回 Unit 13 Traditional Medicine in the Modern World topicの英文読解、内容の把握。 第15回 Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World Reading Skill のチェック topicの英文読解、内容の把握。各自のreading skillの再チェック。単語力の再 チェック。	井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力、表現力の養成と強化。 医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声聞いて単語や文章を正しく聞き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで書くことができる。 	
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験（70%） 課題（20%） 医療英単語テスト（10%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。	
教科書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダシルヴァ石田牧子（成美堂）	
参考書	なし	
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PBe-201

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 4P030

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: I'm sorry. What's your name again? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回 小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回 小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回 小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) + 第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーション + Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回 小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回 小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回 小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回 小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) + 第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities + プレゼンテーションの準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーション + Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回 小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回 小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回 小テストU10 および Unit 11: Lost and Found + 第3回目のプレゼンテーション準備 Describing an item you have lost + プレゼンテーションの準備。	David Andrews
	第15回 第3回目のプレゼンテーション + Unit 12: How was your vacation? 第3回目のプレゼンテーション + Talking about your experiences	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード】：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 ・様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 ・英語圏の文化や風習を理解する。 	
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	小テスト (30%)、第1回目のプレゼンテーション (15%)、第2回目のプレゼンテーション (20%)、第3回目のプレゼンテーション (35%) 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、プレゼンテーションの準備時間は合わせて6時間程度。	

教科書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布
参考書	なし
オフィス・アワー	授業日の昼休み（12:10～13:00）（1号館 ANNEX 6階619研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション
ナンバリング	PBe-202

講義科目名称： 中国語

授業コード： 4P031

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 自己紹介 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 教室で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 キャンパスで 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 友達と 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 ファストフード店で 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 待ち合わせ 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 旅行 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 アルバイト 単語 本文 ポイント 練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 風邪 単語 本文 ポイント 練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書	教科書：キャンパスで始める中国語（白帝社）
参考書	参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後（場所：非常勤講師室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PBf-101

講義科目名称： コリア語

授業コード： 4P032

英文科目名称： Korean

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として「混ぜる食文化」を紹介する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶、伝統服を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として韓国の包む文化～「サム料理」を紹介する。	青木 順
	第6回 ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 正確な発音をマスターする。 挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	

関連科目	特になし。
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40％）・期末テスト（60％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書	講師作成教材使用予定(コピー)
参考書	特になし
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30～12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラーニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。
ナンバリング	PBf-102

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 4P033

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	Lektion1 動詞の現在人称変化1	菅谷 優
	Lektion2 名詞と冠詞の格変化	菅谷 優
	Lektion3 名詞の複数形・人称代名詞	菅谷 優
	Lektion4 動詞の現在人称変化2・命令法	菅谷 優
	Lektion5 定冠詞類・不定冠詞類	菅谷 優
	Lektion6 前置詞	菅谷 優
	Lektion7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷 優
	Lektion8 分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷 優
	Lektion9 動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷 優
	Lektion10 現在完了・再帰表現	菅谷 優
	Lektion11 形容詞の格変化	菅谷 優
	Lektion12 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷 優
	Lektion13 関係代名詞・指示代名詞	菅谷 優
	Lektion14 受動態	菅谷 優
	Lektion15 接続法	菅谷 優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。	
参考書	CD付き オールカラー超入門! 書いて覚えるドイツ語ドリル (ナツメ社) 978-4816362538	
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは非常勤講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	PBf-103	

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：4P034

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお薦めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書	Teacher will provide handouts.	
参考書	Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class. 場所：非常勤講師室	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	
ナンバリング	PBf-104	

講義科目名称： 情報処理

授業コード： 4P035

英文科目名称： Information Processing

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
米持 圭太			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要とパーソナルコンピュータの利用について	米持 圭太
	第2回 コンピュータの基礎 ハードウェアとソフトウェア ソフトウェア 情報システム	米持 圭太
	第3回 情報の形態と収集の方法 情報の形態 情報蓄積の形態 クラウド環境の情報 検索エンジン 情報収集の技術 情報収集の応用	米持 圭太
	第4回 インターネットの仕組みとWebシステム インターネットの概要 通信機能の階層化 IPアドレスの仕組み パケット通信の仕組み 通信の経路を選ぶ仕組み データを確実に送り届ける仕組みと素早く送り届ける仕組み アプリケーション層のプロトコル 直接接続する機器の通信 Webアプリケーションの仕組み クラウドコンピューティング	米持 圭太
	第5回 情報の伝達 ソーシャルネットワーキングサービス ブログ 電子掲示板 電子メール ソーシャルメディア 電子書籍	米持 圭太
	第6回 レポートの作成と編集 レポートとは 主題を決める 構造化を考える 内容を作り込む 数式表記 創造的レポートに向けて	米持 圭太
	第7回 レポートの作成演習 レポート作成の演習 ワープロによる文章作成	米持 圭太
	第8回 情報のデータ化と分析・マイニング 情報とデータ データの整理 データの可視化 データマイニング テキストマイニング	米持 圭太
	第9回 情報のデータ化と分析・マイニング演習 情報のデータ化と分析の演習 スプレッドシートによる分析	米持 圭太
	第10回 モデリングとシミュレーション モデルとデータ 確率的現象 傾向と予測 未来を予測する	米持 圭太

	第11回	モデリングとシミュレーション演習 モデリングとシミュレーションの演習 スプレッドシートによる予測	米持 圭太
	第12回	プレゼンテーションの方法 シナリオシートの作成と基本的な操作 プレゼンテーションの実際 技術の進歩とプレゼンテーションの変化	米持 圭太
	第13回	プレゼンテーション演習 プレゼンテーションの演習 プレゼンテーションの作成	米持 圭太
	第14回	セキュリティと法令順守 情報セキュリティ 情報漏えい対策法 インターネット社会の特性 情報社会の法令 デジタルコミュニケーション	米持 圭太
	第15回	ICT活用の問題解決 問題解決の基本的手順とICTの役割 情報を客観的にとらえる インターネットを利用した情報発信 問題解決におけるシミュレーションの利用	米持 圭太
科目の目的	現代社会には情報があふれており、私たちは様々なメディアから情報を取得し活用する。情報活用や情報操作を行うスキルを身につけるため、コンピュータやコンピュータネットワークの基本的概念と構成、仕組みを理解し、情報社会における情報の意味を理解することが求められる。本科目では大学での学び（学習と研究や臨床実践）をより充実させるため、パーソナルコンピュータやマルチメディアの基本的な操作を学ぶ。具体的には、Wordを使用した文書作成・編集の基本技術、Excelの基本、計算機能、ビジュアルな文書作成、インターネットの活用、ワークシートの活用などについて学び、合計、平均の計算、関数の活用、最大・最小、グラフ作成、データベースの基本事項、データのソート、検索、集計、Power Point、プレゼンテーションなどについての演習を行う。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	情報社会におけるコンピュータやインターネットの仕組み理解し、情報の活用、意味、伝達の意義について学習する。 個別目標： 1. 情報の基本的概念について説明できる。 2. コンピュータとコンピュータネットワークの仕組みについて説明できる。 3. ワードプロセッサ、スプレッドシート、プレゼンテーション・アプリケーションを用いて情報表現、情報操作が行える。		
関連科目	情報リテラシー、データサイエンス入門		
成績評価方法・基準	演習課題（50%） ミニテスト（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業（90分）、事前自己学習（60分）、関連項目の事後学習（60分）		
教科書	標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022		
参考書	入門情報処理 ―データサイエンス、AIを学ぶための基礎― 寺沢 幹雄・福田 収 著 オーム社 2022		
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室） 事前にE-mail にて予約		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint)、ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。		
アクティブ・ラーニングの実施	課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。		
ナンバリング	PBg-101		

講義科目名称： 情報リテラシー

授業コード： 4P036

英文科目名称： Information Literacy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
米持 圭太			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要と授業準備 本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ Windowsへのサインイン、基本操作 Macの基本操作	米持圭太
	第2回 文字入力 メモ帳、テキストエディットによるテキスト処理 日本語の入力	米持圭太
	第3回 インターネットの利用 Web、メールの利用、アカウント連携について ビジネスメールのマナー	米持圭太
	第4回 お絵かきソフトとファイル操作 ペイント、GIMPによるグラフィック処理 ファイル操作、フォルダーによるファイル管理 クラウドストレージの利用 USBメモリの賢い使い方	米持圭太
	第5回 アプリケーションソフト（文章作成） ワープロの利用 ワープロによるレポート作成	米持圭太
	第6回 アプリケーションソフト（表計算） 表計算ソフトの利用 グラフ作成 計算、集計、並べ替え オープンデータの利用	米持圭太
	第7回 アプリケーション（プレゼンテーション） プレゼンテーションソフトウェアによる情報表現 良いプレゼンテーションの仕方	米持圭太
	第8回 情報の探索とまとめ方 サーチエンジンの利用 インターネットによる情報収集 図書館の利用 レポート・論文作成	米持圭太
	第9回 コンピュータとネットワーク コンピュータの仕組み コンピュータネットワークの構成	米持圭太
	第10回 情報とセキュリティ セキュリティ 脆弱性と対策 コンピュータウイルス、マルウェアによる驚異 USBメモリの危険性 パソコン、スマホのセキュリティ対策	米持圭太
	第11回 情報と法律 著作権法 個人情報保護法 不正アクセス禁止法	米持圭太
	第12回 データ処理 Rとは Rによるデータ処理 Rによるグラフ処理	米持圭太
	第13回 プログラミング Pythonとは Pythonによるプログラミング	米持圭太

	<p>第14回 データサイエンス データサイエンスとは 医療とデータサイエンス AIと情報科学</p> <p>第15回 情報リテラシーのまとめ 情報リテラシーのまとめ この科目を通して、学んだこと習得した知識、技術を確認しよう。</p>	<p>米持圭太</p> <p>米持圭太</p>
科目の目的	<p>情報通信技術の発展に伴い、その技術に通じることは現代社会で生きていくためには不可欠な要素となっている。情報通信技術は便利で欠かせないものではあるが、その使い方を一歩誤ると、他者を傷つけたり、犯罪となったり、あるいは犯罪に巻き込まれたりすることになる。大きな社会問題に発展するケースも少なくない。</p> <p>本科目では、情報通信機器にあふれた現代社会を生きる一員として、情報通信技術を使う際の基本的なルールやモラルについて学ぶ。また学生各自が自らの学習や研究、将来医療専門職として仕事に利用するための情報セキュリティの考え方を学ぶ。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>情報と意思決定の関係やメディアリテラシーの重要性を理解する。</p> <p>個別目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現の手法を理解し、基本的ルールやモラルを説明できる。 3. 情報表現における倫理を理解し、情報セキュリティを実践できる。 	
関連科目	情報処理、データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	<p>演習課題50%</p> <p>ミニテスト50%</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>事前学習（45分）</p> <p>事後学習（45分）</p>	
教科書	<p>改訂第5版 基礎からわかる情報リテラシー コンピュータ・インターネットと付き合う基礎知識 奥村晴彦・森本尚之 技術評論社</p>	
参考書	<p>標準教科書 改訂新版 よくわかる情報リテラシー 岡本敏雄 監修 技術評論社 2022</p>	
オフィス・アワー	<p>授業の前後、昼休み、4号館7階研究室または非常勤講師室 事前にE-mail にて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)</p>	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	<p>MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>課題作成に際して調査学習を取り入れた演習を行う。</p>	
ナンバリング	PBg-102	

講義科目名称： データサイエンス入門

授業コード： 4P037

英文科目名称： Introduction to Date Science

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	第1回 社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは/社会における変化/本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ	星野修平
	第2回 社会で活用されているデータ	星野修平
	第3回 データ・AIの活用領域	星野修平
	第4回 データ・AI利活用のための技術	星野修平
	第5回 データ・AI利活用の現場	星野修平
	第6回 データ・AI利活用の最新動向	星野修平
	第7回 時系列データの可視化	星野修平
	第8回 平均、標準偏差の算出とその可視化	星野修平
	第9回 大量のデータを扱う方法	星野修平
	第10回 基本統計量の算出と箱ひげ図	星野修平
	第11回 度数分布表とヒストグラムの作成	星野修平
	第12回 散布図の作成と相関係数の算出	星野修平
	第13回 定性データの扱い方とクロス集計	星野修平
	第14回 データ・AIを扱う上での留意事項	星野修平
	第15回 データを守る上での留意事項	星野修平
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビッグデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。	
関連科目	情報処理・情報リテラシー・統計学・医療統計学	
成績評価方法・基準	授業中に実施するミニテスト（50%）と演習課題（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習（90分）で理解し、授業を通して学んだことの後学習（45分）	
教科書	基礎学習 AIデータサイエンスリテラシー入門 吉岡剛志, 小林領, 照屋健作 共著 2022. 技術評論社	
参考書	データサイエンスの考え方 小澤 誠一・斎藤 政彦 共著、オーム社	
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mail にて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準		

履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	演習、事前課題、事後課題など、の課題演習にて、学生の招待的な学びを実践的にこなう。
ナンバリング	PBg-103

講義科目名称： 大学の学び入門

授業コード： 4P038

英文科目名称： Introduction to College Learning

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
星野 修平	星野修平	竹居田幸仁	峯村優一

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 大学の学び入門とは ・科目の目的・目標・進め方 ・高校生までの学習・生活と大学生の学習・生活の違い ・アカデミック・スキル、スチューデント・スキルとは	星野修平
	第2回 学ぶスキル（1） ・ノートの取る ・講義に参加する	星野修平
	第3回 学ぶスキル（2） ・本を読む ・文献を探索する ・図書館を活用する	星野修平
	第4回 学ぶスキル（3） ・オンラインコミュニケーション ・メールの活用、SNSの活用と課題 ・クラウドサービスの利用	星野修平
	第5回 学ぶスキル（4） ・大学の理念、教育の理念 ・群馬パース大学の教育の理念を聞き、大学の学びを考える	星野修平
	第6回 学ぶスキル（5） ・保健・医療・福祉の理念 ・医療専門職を目指す入学動機を検証し、学習、生活両面の自分自身の目標を見つける 特別講義：國元文生群馬パース病院長	星野修平
	第7回 書くスキル（1） レポートの書き方1 ・レポートとは何か、レポート作成の手順、よいレポートとは	峯村優一
	第8回 書くスキル（2） レポートの書き方2 ・論文作法	峯村優一
	第9回 書くスキル（3） レポートの書き方3 ・講義レポートの形式	峯村優一
	第10回 リサーチスキル（1） ・リサーチスキルの意味 ・インターネットの利用とデータ収集	星野修平
	第11回 リサーチスキル（2） ・データを集めて集計する ・データから基本統計量を計算する	星野修平
	第12回 生きるスキル（1） ・相手の話を聴く ・ロールプレイを通して基本的なカウンセリングの技法を体験する	竹居田幸仁
	第13回 生きるスキル（2） ・自分の気持ちや考えを伝える ・グループワークを通し、自分の感情や意思をわかり易く伝える練習をする	竹居田幸仁
	第14回 生きるスキル（3） ・協力して作業する ・これまでのワークを通して身につけたスキルを活用し、周囲と協力して課題を達成する	竹居田幸仁

	第15回 生きるスキル（4） ・自身の人生とライフスタイルを考える ・他者の意見を聞き、自ら考える 特別講義：樋口建介理事長	星野修平
科目の目的	大学での学習形態や学問に対する姿勢、大人としての生活態度を認識、理解し、高校生までの学習・生活から大学生の学習・生活に移行することができるように、基本的なスキル、姿勢を学ぶ。 1. 与えられた知識や技術を身に付けていく高校までの学習から、自ら課題を見つけ、それを解決していく大学の学習のためのスキルの習得、姿勢の理解 2. 高校までの大人に守られた生活から、責任ある大人としての生活のためのスキルと姿勢の理解。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 大学での学習に必要な学習習慣・学習技術（アカデミック・スキル、情報処理に関するスキル、ルール、マナー）を理解し、授業やレポートで実践できる。 2. 責任ある大人としての生活に必要な、基本的な生活習慣を身につけ、大学生活で実践できる。（スチューデント・スキル、コミュニケーションスキル）	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	星野担当課題（50%、課題に対するフィードバックはAAにて掲示を行う） 峯村担当分課題（25%、課題はコメントと共に後日返却する） 竹居田担当意見文・感想文（25%、意見文・感想文の内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回授業の重要事項を見直しておくこと。約45分間。	
教科書	18歳からの「大学の学び」基礎講座、向後千春 著 北大路書房	
参考書	参考書：講義等で随時紹介いたします。	
オフィス・アワー	星野：授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 峯村：授業の前後、昼休み、4号館8階研究室 竹居田：昼休み、研究室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academy上で配布しますので、各自プリントアウトして授業に持ってきてください。配布期間は授業の前後1週間。	
アクティブ・ラーニングの実施	・課題提出に際し、発見学習を取り入れて実施。 ・ロールプレイ、グループワークを取り入れて実施。	
ナンバリング	PCh-101	

講義科目名称： 大学の学び－専門への誘い－

授業コード： 4P039

英文科目名称： Introduction to Healthcare Profession

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	木村朗	岡崎大資	理学療法士教員全員

授業形態	講義4コマ・演習11コマ		担当者
授業計画	第1回	保健科学総論【講義】 保健科学の概要と成り立ちを学ぶ 学ぶ 1. 病と人間 2. 保健科学の基礎としてのヘルスリテラシーのあらまし	木村 朗
	第2回	保健科学総論【講義】 保健科学を其他的な事例に即して理解する 1. ヘルスリテラシーの活用 2. 文化とヘルスリテラシー	木村 朗
	第3回	グループワークへの導入～専門を学ぶということ【講義】 専門を学ぶことの実践的な意義を知った上で、グループワークの方法論を理解	佐藤・岡崎
	第4回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討1【演習】 理学療法士としての能力を習得するために今すべき（できる）ことの模索1	佐藤・岡崎
	第5回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討2【演習】 理学療法士として具体化した能力を習得するために今すべき（できる）ことの模索2	佐藤・岡崎
	第6回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討3【演習】 理学療法士として能力を習得するために今すべき（できる）ことの視覚的具体化1	佐藤・岡崎
	第7回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの検討4【演習】 理学療法士として能力を習得するために今すべき（できる）ことの視覚的具体化2	佐藤・岡崎
	第8回	グループワーク：理学療法を学ぶ学生が、今すべきことの共有【演習】 グループワークの結果のプレゼンテーション	佐藤・岡崎
	第9回	理学療法士像の探求1：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・黒川・城下
	第10回	理学療法士像の探求2：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・目黒・橋口
	第11回	理学療法士像の探求3：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・浅田・田辺
	第12回	理学療法士像の探求4：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・鈴木・加茂
	第13回	理学療法士像の探求5：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・木村・林
	第14回	理学療法士像の探求6：理学療法士の学科教員から話題提供と集団討論【演習】 理学療法士の経験談からのメッセージを受けて論議する	佐藤・岡崎・高橋
	第15回	理学療法士像の探求のまとめ【講義】 集団討議で提案された内容を整理して理解する	佐藤・岡崎
科目の目的	グループワーク学習と集団ディスカッションを通じて、保健学の観点を持った上で、自らの理学療法士像を育み、明確専門基礎分野、専門分野の学習の学ぶ意義とを明確にすること。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. 保健学の概要の理解の上に理学療法の職務内容と職域が説明できる。 2. 理学療法士を目指す学生として必要な社会的な礼節およびコミュニケーションをもって行動できる。 3. 自らの理学療法士像を説明することができる。 4. 理学療法を学ぶことに興味を持ち、主体的・意欲的に学ぶ姿勢を示すことができる。		
関連科目	全ての専門基礎科目、理学療法概論		
成績評価方法・基準	グループ課題作成（40％）とその発表（30％）：課題作成中と発表後に全体討議を含めたフィードバックを実施 集団討論での発言数（30％）：発言内容には全体討議を含めたフィードバックを、発言数過少者には討論時に実数フィードバックを実施		

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	1-2講義は公衆衛生学を復習しておくこと(毎回45分程度) その他の回は講義と演習なので、毎回の復習や振り返り作業を行うこと(毎回45分程度) グループディスカッション時を中心にフィードバックを行う
教科書	木村朗担当分 実践身体活動学 三共出版
参考書	特に定めない
オフィス・アワー	講義終了後30分：担当教員研究室
国家試験出題基準	該当なし
履修条件・履修上 の注意	他人の意見をよく聞き、自ら発信するトレーニングとしても位置づけている授業ですので、積極的に受講してください。
アクティブ・ラー ニングの実施	グループワークを計6回実施予定。
ナンバリング	PCh-102

講義科目名称： 多職種理解と連携

授業コード： 4P040

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	佐藤 満・村田和香・白坂康俊	矢島正栄・廣田幸子・中島久美子	松下 誠・近土真由美・渡邊 浩
	金谷 春代・宗宮 真	藤井裕哉・石井純子・平井 正利	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 理学療法領域における最近のトピックス	佐藤 満
	第2回 看護師の役割および看護領域における最近のトピックス	矢島正栄
	第3回 臨床工学技士の役割および臨床工学領域における最近のトピックス	近土真由美
	第4回 助産師の役割および妊娠出産に関わる最近のトピックス	中島久美子
	第5回 臨床検査技師の役割および臨床検査領域における最近のトピックス	松下 誠
	第6回 言語聴覚領域における最近のトピックス	白坂康俊
	第7回 作業療法領域における最近のトピックス	村田和香
	第8回 保健師の役割および地域保健における最近のトピックス	矢島正栄
	第9回 診療放射線技師の役割および診療放射線領域における最近のトピックス	渡邊 浩
	第10回 リハ医の役割およびリハビリテーション医学領域の最近のトピックス	宗宮 真
	第11回 社会福祉士の役割および最近のトピックス	金谷春代
	第12回 精神保健福祉士の役割および最近のトピックス	藤井裕哉
	第13回 ケア・マネージャーの役割および最近のトピックス	石井純子
	第14回 義肢装具士の役割および最近のトピックス	平井正利
	第15回 期待されている活動	佐藤 満
科目の目的	<p>リハビリテーションは多数の職種が参加するチームで展開される。より良いチームアプローチのためには、コミュニケーションと目標の共有が大切である。専門職間のコミュニケーションを高め、互いの専門性に対する理解を深め、どのように連携し、チームを推進するのか、他の専門職の役割や最近のトピックスなどを学ぶ。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 各専門職種の業務内容の実際と期待される活動内容を述べることができる。</p> <p>2. 地域における多職種連携について、職種、連携の方法を述べるができる。</p>	
関連科目	大学の学びー専門への誘いー、リハビリテーション概論、チーム医療とリハビリテーション、社会福祉・地域サービス論、理学療法概論、理学療法管理学	
成績評価方法・基準	<p>授業終了時レポート（80%）：レポートはActiveAcademy及び口頭でフィードバックする予定である。</p> <p>グループディスカッションおよび授業中の発言（20%）：ループリック評価で行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>授業前学習として、各専門職団体および本学HPを確認しておくこと。</p> <p>わかりにくい概念などをチェックし、復習時に確認すること。</p> <p>目安となる時間は約30分程度</p>	
教科書	特に指定しないが、授業資料が提供される可能性がある。	
参考書	特に指定しない	
オフィス・アワー	全ての先生：講義終了後に講義教室または各研究室にて	
国家試験出題基準	該当なし	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラー	なし	

ニングの実施	
ナンバリング	PCh-201

講義科目名称： 運動器解剖学

授業コード： 4P041

英文科目名称： Anatomy of Musculoskeletal System

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義、演習	担当者
授業計画	第1回 解剖学の総論 解剖学の位置付け；人体の階層；基準面；身体部位の名称；向きと位置を表す言葉	後藤 遼佑
	第2回 運動器系の総論 骨と筋の一般的構造；骨の発生；身体運動の名称	後藤 遼佑
	第3回 体幹骨と関節1 椎骨の基本構造；頸椎、胸椎、仙椎、尾椎の構造；椎骨の連結様式と靭帯；脊柱と胸郭の構造	後藤 遼佑
	第4回 体幹骨と関節2 体幹骨のスケッチ	後藤 遼佑
	第5回 体幹筋1 胸壁、腹壁、骨盤底を構成する筋の名称、起始、停止；固有背筋の名称、起始、停止	後藤 遼佑
	第6回 体幹筋2 胸壁、腹壁、骨盤底を構成する筋の名称、起始、停止；固有背筋の名称、起始、停止	後藤 遼佑
	第7回 上肢骨と関節1 上肢骨の名称と各部の構造；上肢骨の連結と靭帯	後藤 遼佑
	第8回 上肢骨と関節2 上肢骨のスケッチ	後藤 遼佑
	第9回 上肢筋1 上肢筋の名称、起始、停止	後藤 遼佑
	第10回 上肢筋2 上肢筋の名称、起始、停止	後藤 遼佑
	第11回 下肢骨と関節1 下肢骨の名称と各部の構造；下肢骨の連結と靭帯	後藤 遼佑
	第12回 下肢骨と関節2 下肢骨のスケッチ	後藤 遼佑
	第13回 下肢筋1 下肢筋の名称、起始、停止	後藤 遼佑
	第14回 下肢筋2 下肢筋の名称、起始、停止	後藤 遼佑
	第15回 運動器解剖学の総括 運動器解剖学で学習した内容を総括する。	後藤 遼佑
科目の目的	ヒトの筋骨格系における肉眼解剖学的構造を理解する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	(1) ヒトの筋骨格系の基本的な構造を説明できる。 (2) 筋骨格系の構造にもとづき、各関節で生じる運動を推論できる。	
関連科目	臓器解剖学；生理学Ⅰ；生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験60%；小テスト40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業後には、配布したプリントに取り組むこと。授業の予習として1時間、授業後の復習として1時間程度の学習を勧める。	
教科書	「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）	
参考書	「イラスト解剖学」松村讓兒（中外医学社）	
オフィス・アワー	毎週月曜日昼休み（12:10-13:00）にM614教室にて質問を受け付ける。	
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -1-A~D, 《専門基礎》- I -1-H, 《専門基礎》- I -1-I-a~b	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PFi-101

講義科目名称：臓器解剖学

授業コード：4P042

英文科目名称：Anatomy of Internal Organs

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 神経系総論 神経系の全体像（中枢神経系と末梢神経系）；神経系の発生；求心性神経と遠心性神経、体性神経系と臓性神経系</p> <p>第2回 中枢神経系1 脳幹の構造；脳神経核と脳神経</p> <p>第3回 中枢神経系2 大脳と小脳の構造；皮質の構造；大脳と小脳の神経核</p> <p>第4回 末梢神経系1 求心性神経と遠心性神経の分節性；脊髄神経の基本的な走行；肋間神経の起始、走行、分布</p> <p>第5回 末梢神経系2 頸神経叢と腕神経叢；上肢の末梢神経の起始、走行、分布</p> <p>第6回 末梢神経系3 腰神経叢と仙骨神経叢；下肢の末梢神経の起始、走行、分布</p> <p>第7回 循環器系1 血管の構造；大循環と小循環；心臓と縦隔の構造；冠状血管系</p> <p>第8回 循環器系2 上下肢と体幹の動脈、静脈、リンパ</p> <p>第9回 循環器系3 頭部の動脈と静脈；脳室と脳脊髄液の循環</p> <p>第10回 消化器系1 消化管の基本構造；自律神経系；消化管の局所解剖</p> <p>第11回 消化器系2 肝臓、胆嚢、膵臓の構造；消化管と血管系；門脈</p> <p>第12回 呼吸器系 喉頭、気管、気管支、肺の構造；呼吸にかかわる反射とその中枢</p> <p>第13回 泌尿器系 腎臓、膀胱の構造；浸透圧調節機構</p> <p>第14回 生殖器系 生殖器の構造；性ホルモンの働き</p> <p>第15回 総復習 これまで学習した内容を総括する。</p>	<p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p> <p>後藤遼佑</p>
科目の目的	ヒトの内臓における肉眼解剖学的構造を理解する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	(1) 内臓の基本的な構造について説明できる。 (2) 神経系の構造にもとづき、器質的障害にともなう機能障害を推察できる。	
関連科目	運動器解剖学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験60%；小テスト40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業前の予習に一時間、授業後の復習に一時間程度をかけること。授業後の復習として配布したプリントに取り組むこと。	
教科書	「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嵯ほか（医学書院） 「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）	
参考書	「イラスト解剖学」松村讓兒（中外医学社）	
オフィス・アワー	毎週月曜日昼休み（12:10-13:00）にM614教室で質問を受け付ける。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-I-1-E~G, 《専門基礎》-I-1-I-c, 《専門基礎》-I-1-J, 《専門基礎》-I-2-K-f~g, 《専門基礎》-I-2-L~Q	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PFi-102

講義科目名称： 局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下）

授業コード： 4P043

英文科目名称： Specific Anatomy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
浅見 知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 骨格系 頭蓋を構成する骨について 第2回 筋系 発語、咀嚼、嚥下に関係する筋について 第3回 神経系1 言語・聴覚を中心とする中枢神経系について 第4回 神経系2 言語・聴覚に関する脳神経を中心とする末梢神経について 第5回 消化器系 口腔を中心とする諸器官について 第6回 呼吸器系 鼻腔・咽頭・喉頭を中心とする諸器官について 第7回 感覚器系 聴覚器（外耳・中耳・内耳）について 第8回 発生学 頭頸部の形成を中心とする発生学について	浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎 浅見知市郎
科目の目的	リハビリテーション専門職に重要と考えられる言語・聴覚・発声・嚥下に関わる解剖学を習得する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決能力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	言語・聴覚・発声・嚥下に関わる器官を解剖学的に説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、解剖学実習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	シラバスをもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。（30時間分相当）	
教科書	無し。	
参考書	「ネッター 頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス（原著第3版）」Neil S.Norton著 前田健康監訳 医歯薬出版 「入門人体解剖学(改訂第6版)」藤田恒夫著 藤田信也改訂（南江堂）	
オフィス・アワー	火曜日、木曜日の昼休み12：30～12：50の間に浅見の研究室(615)。	
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -1-G	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	PFi-201	

講義科目名称： 解剖学演習

授業コード： 4P044

英文科目名称： Practice in Anatomy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義、実習	担当者
授業計画	<p>第1回 総復習と解剖実習のガイダンス 運動器解剖学および臓器解剖学を復習；ブタ胎仔標本の解剖手順に関する説明</p> <p>第2回 総復習と解剖実習のガイダンス 運動器解剖学および臓器解剖学を復習；ブタ胎仔標本の解剖手順に関する説明</p> <p>第3回 腕神経叢の解剖1 皮剥と皮筋の解剖；胸鎖乳突筋、頸神経叢の皮枝、副神経の剖出；肩帯筋の解剖</p> <p>第4回 腕神経叢の解剖2 肩甲骨を切断し、腋窩を背側から解放；背側からの腕神経叢の剖出と背側の枝の観察</p> <p>第5回 腕神経叢の解剖3 背側からの腕神経叢の剖出と背側の枝の観察</p> <p>第6回 腕神経叢の解剖4 深胸筋、浅胸筋、鎖骨下筋の解剖；腹側から腋窩解放し、腕神経叢を剖出</p> <p>第7回 腕神経叢の解剖5 腕神経叢の腹側の枝を観察</p> <p>第8回 腕神経叢の観察と記録1 背側と腹側から解放した腋窩において腕神経叢を観察し、スケッチとして記録</p> <p>第9回 腕神経叢の観察と記録2 背側と腹側から解放した腋窩において腕神経叢を観察し、スケッチとして記録</p> <p>第10回 観察記録報告会 グループごとに記録したスケッチを用いて、観察結果を報告し、議論を行う。</p> <p>第11回 人体解剖実習見学1 ヒトを対象とする解剖実習を見学</p> <p>第12回 人体解剖実習見学2 ヒトを対象とする解剖実習を見学</p> <p>第13回 中枢神経系の解剖1 固有背筋を解剖して脊柱管を露出させた後、椎弓を切除して脊髄を背側から観察する。</p> <p>第14回 脊髄の観察と記録 背側から解放した脊柱管において脊髄を観察し、スケッチとして記録</p> <p>第15回 中枢神経系の解剖2 脳頭蓋を切断し、脳と脊髄を一括摘出の後、中枢神経系を観察</p>	<p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p>
科目の目的	ヒトの骨模型のスケッチ、ブタ胎児標本の肉眼解剖を通して、講義で習得した知識を統合し、人体構造を三次元的に正確に理解する。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	(1) 四肢体幹骨の構造と各部の名称を説明できる。 (2) 腕神経叢の構造を説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学	
成績評価方法・基準	定期試験60%；提出課題40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。一時間程度をかけて、授業前の予習と授業後の復習をすること。	
教科書	「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）	
参考書	「イラスト解剖学」松村讓兒（中外医学社）	
オフィス・アワー	毎週月曜日昼休み（12:10-13:00）にM614教室で質問を受け付ける。	
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -1-A~D	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	実習としてブタの胎仔標本解剖を行う。各標本の腕神経叢の構造を調査し、観察成果をプレゼンテーションする。プレゼンテーションにおいては質疑応答を通して双方向型のディスカッションを行う。
ナンバリング	Pfi-202

講義科目名称： 表面解剖学と触診法

授業コード： 4P045

英文科目名称： Surface Anatomy and Palpation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	黒川 望		

授業形態	小人数グループによる実技演習<演習15回>		担当者
授業計画	<p>第1回 演習：触診の準備<解剖学の知識を復習> 骨標本（全身）を用いての演習<骨、骨部位の名称と特徴の確認.> 「骨・骨部位（主に筋の附着部・骨指標となる部位）の名称を指し示して言うことができる」 「頭蓋骨から足部まで左右を区別して骨を並べることができる」</p> <p>第2回 演習：触診講義の学習の仕方/触診手技の練習 骨標本（全身）を用いての演習<骨、骨部位の名称と特徴の確認.></p> <p>第3回 演習：触診手技の練習 体表面から触診する場合の骨、関節、筋、靭帯の触れ方（ポイント）の練習</p> <p>第4回 演習：触診手技の練習 骨標本（全身）を用いての演習<骨、骨部位の名称と特徴の確認.></p> <p>第5回 演習：各論 上肢<肩甲帯・上腕> / 下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第6回 演習：各論 上肢<肩甲帯・上腕> / 下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第7回 演習：上肢<上腕・前腕・手関節> / 下肢<膝関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第8回 演習：上肢<前腕・手関節・手指> / 下肢<足関節・足> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第9回 演習：上肢・下肢実技の確認 前半のまとめ / 中間筆記試験 前半範囲の筆記試験と実技確認 中間筆記テスト（前半範囲）→2週間以内にF B（全体）</p> <p>第10回 演習：各論 上肢<肩甲帯・上腕> / 下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第11回 演習：各論 上肢<肩甲帯・上腕> / 下肢<骨盤・股関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第12回 演習：上肢<上腕・前腕・手関節> / 下肢<膝関節> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第13回 演習：上肢<前腕・手関節・手指> / 下肢<足関節・足> 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第14回 演習：実技まとめおよび復習（上肢・下肢の総復習） 主に骨・関節・軟部組織の触診</p> <p>第15回 実技試験（全範囲） 全範囲（上肢・下肢）の骨・関節・靭帯について触診の実技確認 実技確認終了後、個別でフィードバックを実施。60%未満の場合、補習を行った後、再度、実技確認を行う。</p>	<p>浅田春美, 黒川望</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>黒川望, 浅田春美</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p> <p>浅田春美, 黒川望</p>	
科目の目的	<p>1. 解剖学の知識を基に手指を用いて、皮下にある組織の形・大きさ・硬さ・位置・固有の運動性などを識別する技術を習得する。</p> <p>2. 運動学、理学療法診断学と並行して授業が進むため、運動器の構造と機能の関連をより深く理解し、検査・測定技術の基礎固めを目的とする。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>1. 骨の輪郭や部位、関節裂隙、靭帯、筋、腱、動脈を触知により区別できる（対学生）。</p> <p>2. 体表から触れることができるそれらの部位を解剖学アトラスで参照できる。</p> <p>3. これらの名称（筋については、起始・停止・作用）を述べることができる。</p> <p>4. 実技では、最も触知しやすい肢位や運動を相手に分かりやすい言葉で指示できる。</p>		
関連科目	運動器解剖学、運動学、臨床運動学、運動学実習、整形外科学、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習など専門科目全般		
成績評価方法・基準	筆記定期試験（50%）・実技授業内試験（50%） それぞれ60%以上の正解率		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>・解剖学で学んだ骨や筋の名称を復習しておくこと</p> <p>・筋の「起始・停止・作用」は、教科書「運動療法のための機能解剖学的触診技術」において予習・復習しておく</p> <p>・配布資料の実施予定日の内容を確認し、該当する教科書のページを予習・復習とも読んでおく</p> <p>・講義終了後、学生同士で実技練習を行い、不明な点を積極的に教員に質問する（直後または次回講義開始時）</p> <p><予習・復習に1時間/1コマ程度要する></p>		

教科書	1. 林典雄著：「運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス上肢」改定第2版，メジカルビュー社，2022 2. 林典雄著：「運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス下肢」改定第2版，メジカルビュー社，2022 3. 相磯貞和 訳：「ネッター解剖学アトラス」第7版，南江堂，2022
参考書	1. 竹井仁著：触診機能解剖カラーアトラス上下，文光堂，2008
オフィス・アワー	浅田（610研究室），黒川（609研究室） 講義開講曜日： 12：10～13：00
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -1-B-c, 《専門基礎》- I -1-C-b, 《専門基礎》- I -1-D-a, 《専門基礎》- I -1-H-a～c
履修条件・履修上の注意	実技演習を行うため、準備をしていない場合、履修できないことがある <指輪、時計など不必要なものを外し、手や手指のケアを心がける（爪・傷など）> <直接、皮膚に触れるため可能な限り脱衣しやすく、動きやすい服装を準備する。Tシャツ，ハーフパンツ>
アクティブ・ラーニングの実施	実技演習（グループワーク：体験学習）
ナンバリング	PFi-103

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 4P046

英文科目名称： Physiology I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2(20%)＋期末テストの点数×0.8(80%) で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約4時間)	
教科書	「シンプル生理学 第8版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)	
参考書	「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00～19:00(1号館6階 604室)	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-A～F	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	PFi-104	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 4P047

英文科目名称： Physiology II

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2(20%)＋期末テストの点数×0.8(80%) で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約4時間)	
教科書	「シンプル生理学 第8版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂)	
参考書	「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00～19:00(1号館6階 604室)	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-G～J, ≪専門基礎≫-I-2-K-a～f	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	
ナンバリング	PFi-105	

講義科目名称： 生理学実習

授業コード： 4P048

英文科目名称： Practice in Physiology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘	黒川 望	林 翔太	

授業形態	実習	担当者
授業計画	第1-2回 木村博一教授によるバイオセーフティの講義およびガイダンス 生理学実習履修にあたっての諸注意 レポートの書き方 統計処理法を学ぶ	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第3-4回 浸透圧 卵半透膜を使用し、浸透圧を理解する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第5-6回 血圧 血圧を測定し、そのメカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第7-8回 血糖値とその変化 糖質を摂食し、血糖値制御のメカニズムについて理解する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第9-10回 心電図 標準肢誘導により心電図を記録し、心臓の活動電位について理解するとともに、電気生理学機器について習熟する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第11-12回 表面筋電図 荷重負荷時の筋電図を記録し、筋の収縮メカニズムについて理解するとともに、電気生理学機器について習熟する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第13-14回 ストレス反応 ストレス負荷をかけた際の生体反応を計測し、その発生メカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第15-16回 記録電極と刺激電極の極性の違いによる活動電位の向きと神経の興奮性 尺骨神経を刺激して誘発される筋電図を用い、刺激電極と記録電極の極性を変えることで、刺激により得られる波形にどのような違いが生じるかを理解するとともに、刺激装置について習熟する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第17-18回 尺骨神経の運動神経伝導速度 尺骨神経を2箇所刺激して誘発される2種類の筋電図を用い、神経の伝導速度およびその測定メカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
	第19-20回 神経の興奮と伝導 カエル神経標本を作製・刺激し、神経の興奮とその伝導メカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太
第21-22回 骨格筋の収縮 カエル神経筋標本を作成・刺激し、骨格筋の収縮メカニズムを理解する	洞口 貴弘、黒川望、林翔太	
第23-24回 誘発筋電図 ヒト脛骨神経を刺激して下腿三頭筋の筋電図を誘発し、中枢および末梢神経系と筋を理解する	洞口 貴弘、黒川望	
科目の目的	生理学の講義で学習した人体の機能について実際に確認し、理解を深める(ディプロマポリシー【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】に相当)	
到達目標	種々の生理学機能測定器具を用い、人体の機能に関するデータの収集し、判読できるようになる	

	生理学の講義で得られた知識をもとに、判読した結果のメカニズムを類推することができるようになる 得られたデータを他者に分かりやすく報告することができるようになる
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、解剖学Ⅰ・Ⅱ
成績評価方法・基準	期末テスト65%、レポート35%(実習内でフィードバックする) で最終成績を算出する
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	既に履修済みである、生理学Ⅰ、Ⅱの復習
教科書	特に無し
参考書	「シンプル生理学」(南江堂) 「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 他
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00(1号館6階 604室)
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅰ-2-B, 《専門基礎》-Ⅰ-2-C-a~b, 《専門基礎》-Ⅰ-2-D, 《専門基礎》-Ⅰ-2-G~I
履修条件・履修上の注意	行われる実習内容を理解するために、実習書には1年次に学んだ生理学の内容を問う課題が記載されている。 また実習書には、行われた実習において、なぜそのような結果になったのかを理解するための課題が記載されている。 それらの量は、決して少なくなく、さらに、期末試験ではそれらの正解が理解できていたら解ける問題が出題される。 そのため、あらかじめ実習書に目を通し、課題を遂行することが、単位取得のカギとなる。
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない
ナンバリング	PFi-203

講義科目名称： 生化学

授業コード： 4P049

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学を学ぶための基礎知識と各種生体構成成分の概要	木村 鮎子
	第2回 糖質 1 糖質の構造と分類(単糖, 二糖, 多糖), 糖代謝の概要	木村 鮎子
	第3回 糖質 2 各種糖代謝経路(解糖系, TCA回路, 糖新生, グリコーゲンの合成と分解など), 糖代謝異常	木村 鮎子
	第4回 脂質 脂質の構造(中性脂肪, 脂肪酸, コレステロール, リン脂質, リポタンパク質), 脂質代謝(脂肪酸の生合成と β 酸化, コレステロールの合成・輸送・蓄積), 脂質代謝異常	木村 鮎子
	第5回 タンパク質とアミノ酸 各アミノ酸の性質とタンパク質の機能, アミノ酸代謝, 脂質代謝異常	木村 鮎子
	第6回 核酸 核酸の構造, 遺伝子の働きと変異, 核酸の代謝, 核酸代謝異常	木村 鮎子
	第7回 ホルモン 各種ホルモンの構造と分泌器官, ホルモンによる生体調節機構と疾患との関係	木村 鮎子
	第8回 ビタミン, ミネラル ビタミンの構造・性質と生理機能(補酵素, 遺伝子発現調節など), およびビタミン欠乏症, ミネラルの分類(多量・微量ミネラル)と生理機能	木村 鮎子
科目の目的	理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養 [キーワード：【倫理観と幅広い教養】] 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術 [キーワード：【基本的知識と技術】] 地域に根差したリハビリテーションの必要性と多職種連携による問題解決の重要性の理解 [キーワード：【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】] 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力 [キーワード：【自己研鑽・探求力】]	
到達目標	1. 糖質とその代謝, 脂質とその代謝, タンパク質とその分解, アミノ酸代謝, 核酸とその代謝, 生体エネルギーについて, 生合成や代謝の過程が理解できること. 2. 生体内でのビタミン, ホルモン, ミネラルの役割が理解できること.	
関連科目	基礎化学, 基礎生物学, 生理学I・II, 薬理学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)により評価する.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう, 講義前後に4時間程度, 予習と復習を行う.	
教科書	指定する教科書は無い。講義ごとに資料を適宜配布する。	
参考書	栄養科学シリーズ NEXT 生化学(講談社)加藤 秀夫・中坊 幸弘 編 栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版(羊土社) 藪田 勝 編	
オフィス・アワー	講義終了後(講義室)および講義日の放課後(6限)(2号館6F研究室9)に質問を受ける。個別の相談は, 事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -2-N	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	なし	
ナンバリング	PFi-106	

講義科目名称： 運動学

授業コード： 4P050

英文科目名称： Kinesiology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 正明			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 身体運動成り立ちの原則1 コースガイド 運動学総論 運動学を学ぶ心構え 身体運動の機能-構造学 進化から見た人の運動の特異性 関節運動の基本原則 基本面上の回転運動と名称 運動軸と運動自由度 剛体と分節構造の違い 分節構造による運動連鎖</p>	高橋正明
	<p>第2回 身体運動成り立ちの原則2 運動器の機能解剖 骨・関節の機能解剖 骨の構成成分と基本構造 関節の分類と運動自由度 関節の構造 関節包内運動 筋の機能解剖 動筋と拮抗筋 収縮様式 筋張力vs筋長, 収縮速度 共同運動 最大張力と筋断面積</p>	高橋正明
	<p>第3回 身体運動成り立ちの原則3 生体力学の基礎 骨・関節の機能解剖 骨の構成成分と基本構造 関節の分類と運動自由度 関節の構造 関節包内運動 筋の機能解剖 動筋と拮抗筋 収縮様式 筋張力vs筋長, 収縮速度 共同運動 最大張力と筋断面積</p>	高橋正明
	<p>第4回 足部・足関節の機能-構造1 下肢の役割と構造的な特異性 足関節の役割と構造 進化から見た下肢 足関節の機能と構造</p>	高橋正明
	<p>第5回 足部・足関節の機能-構造2 足部の骨の配置と関節の働き 距骨下関節 内返しと外替えし 足底腱膜 バネ靭帯 長足底靭帯 足部の動きと運動軸 外来筋と内在筋 共同運動</p>	高橋正明
	<p>第6回 足部・足関節の機能-構造3 足部全体を総合した運動のメカニズム アーチ構造とその役割 まとめ</p>	高橋正明
	<p>第7回 膝関節の機能-構造1 膝の役割と関節構造 膝の運動と下腿の運動 骨の形状 screw home phenomenon</p>	高橋正明
	<p>第8回 膝関節の機能-構造2 膝関節に働く筋の機能解剖 大腿四頭筋とハムストリングス 内側の安定化に働く筋 膝蓋骨の働き</p>	高橋正明
	<p>第9回 膝関節の機能-構造3 膝関節の特殊機能 膝伸展保持のメカニズム 膝上の体重支持と広い可動域 膝屈曲位のみの下腿の回旋</p>	高橋正明
	<p>第10回 骨盤・股関節の機能-構造1 関節構造と役割 骨構造と靭帯 股関節の動きと骨盤の動き</p>	高橋正明
	<p>第11回 骨盤・股関節の機能-構造2 股関節に働く筋 筋群の形状の特徴と機能 外転筋と第1のテコ</p>	高橋正明
	<p>第12回 頸部と体幹の運動機能1 脊柱の機能解剖 脊索動物から脊椎動物への進化と椎骨および椎間円板の発生 脊柱の形態と機能、体幹の運動と筋活動</p>	高橋正明
	<p>第13回 頸部と体幹の運動機能2 脊柱に作用する筋 脊柱起立筋と短背筋群 他</p>	高橋正明
	<p>第14回 頸部と体幹の運動機能3 胸郭の運動と呼吸運動 胸郭の機能と構造 呼吸筋 吸気筋</p>	高橋正明
	<p>第15回 筋の機能と構造 骨格筋の構造 筋の形状による分類 筋収縮の様態 最大張力と断面積 筋の粘性 と弾性 共同筋 二関節筋の機能</p>	高橋正明
科目の目的	<p>身体運動を構造-機能の視点から分析するのに必要となる基本的な知識や概念を学び、日常的に成されている身体の動きや動作について理解を深め、医療専門職としての確かな臨床能力を培う一助とする。 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】</p>	

到達目標	いわゆる健康者の日常的な身体運動や動作について、構造-機能の視点から分析と説明を試みられること。 1. 足部・足関節、膝関節、股関節、脊柱・胸郭の関節の機能-構造について説明できる。 2. 荷重関節（足部・足関節、膝関節、股関節、頸部・体幹）による体重支持のメカニズムについて説明できる。 3. 関節の基本的機能である可動性と拘束性について関節の構造物および筋の活動により説明できる。
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、臨床運動学、運動学実習、表面解剖学と触診法、理学療法診断学、運動機能系理学療法診断学演習、神経機能系理学療法診断学演習、日常生活活動学、評価学実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ
成績評価方法・基準	授業で取り上げた関節それぞれについて、その構造と機能に関する小テストを実施する。また総論で取り上げる人の運動の基礎的知識については最後に定期試験を行う。小テストの総合点を60%、定期試験を40%で換算し、60点以上を合格とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	応用科学である運動学は、既に運動器解剖学で学習した四肢体幹の基本知識を用いて関節運動の成り立ちや役割を説明する。期本知識には関節を構成する骨、関節の種類、運動の種類、関節を制御する筋等がある。授業中にそれらを簡単に紹介するが、授業は既にそれらを周知しているとして進める。運動学は難しいが理解できるとおもしろいと言われる。運動学で用いられる理論は一般的な物ばかりである。しかし基本的知識を持っていないと理屈は理解できない。基本知識確認の授業準備は集中すれば180分もあれば十分であろう。準備には量よりも質を重視するように願っている。
教科書	教科書 「標準理学療法学・作業療法学 運動学」高橋正明編（医学書院） 「基礎運動学 第6版補訂」中村隆一，他著（医歯薬出版）
参考書	「筋骨格系のキネシオロジー」 第3版 D. A. Neumann（医歯薬出版）
オフィス・アワー	火曜日12:10～12:50(高橋の研究室)、金曜日12:10～12:50(高橋の研究室)
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅰ-3-A～B, 《専門》-Ⅰ-3-A～C
履修条件・履修上の注意	解剖学で学んだ専門用語の知識は知っているものとして授業を進めるため、それらを教科書で確認しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	作成したテコの教材で力学の基礎を学ぶ。 作成した1軸、2軸、3軸関節のモデルを操作してそれぞれの特徴を知る。
ナンバリング	PFi-107

講義科目名称： 臨床運動学

授業コード： 4P051

英文科目名称： Clinical Kinesiology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	高橋正明		

授業形態	講義（11コマ）・演習（4コマ）	担当者
授業計画	第1回 講義：感覚と運動1 随意運動が起こるまでの脳における感覚情報の伝達経路について（中枢神経の働き）	浅田春美
	第2回 講義：感覚と運動2 反射・姿勢反射、姿勢保持	浅田春美
	第3回 講義：姿勢、運動、動作、行為 / 小テスト1 運動の階層性/姿勢の定義 小テスト（3回までの内容）→採点后、講義内にてフィードバック	浅田春美
	第4回 講義：姿勢と動作（基本動作） 基本動作の種類：基本姿勢・基本動作観察時のチェックポイント	高橋正明 浅田春美
	第5回 講義：運動分析・動作分析の必要性 / 小テスト2 理学療法における運動・動作の観察から分析	高橋正明 浅田春美
	第6回 演習：動作理解のための力学的基礎 生体力学について：力のつり合い、テコの原理（テコの種類、力のモーメント）	高橋正明 浅田春美
	第7回 講義：正常基本動作時の回転運動 / 正常基本動作の分析<立ち上がり動作> 人の重心移動では真下方向以外は、種々の回転運動で構成されていることを、自身の身体を使って説明できるようになる。 小テスト（4～6回までの内容）→採点后、講義内にてフィードバック	浅田春美
	第8回 講義：正常基本動作の分析<立ち上がり動作>と症例 立ち上がり一すわる動作を相に分け、力学的に説明できる 症例	浅田春美
	第9回 演習：正常基本動作の分析<起き上がり動作> 真っ直ぐ起き上がる動作を相に分け、力学的に説明できる	浅田春美
	第10回 演習：正常基本動作の分析<起き上がり動作> 回旋を伴う起き上がり動作を相に分け、力学的に説明できる	浅田春美
	第11回 演習：正常基本動作の分析<寝返り動作>と症例 / 動作分析課題提示 起き上がり動作と寝返り動作を比較してみる	浅田春美
	第12回 講義：正常歩行動作1 歩行の定義/歩行周期/歩行の決定要因	浅田春美
	第13回 講義：正常歩行動作2 歩行周期と筋活動	浅田春美
	第14回 講義：正常歩行動作の分析と異常歩行1 歩行動作をエネルギー効率の視点で説明できる/異常歩行の種類	高橋正明 浅田春美
	第15回 講義：正常歩行動作の分析と異常歩行2 代表的な症例の歩行を観察し、記述できる 動作分析課題フィードバック	高橋正明 浅田春美
科目の目的	運動学では各関節ごとの運動を中心に学んだ。その延長戦上にある臨床運動学では、複数の関節が関連するいわゆる基本動作（寝返り動作、起き上がり動作、立ち上がり動作、歩行動作）について学習する。正常動作では、力学的なメカニズムを理解できることを目的とするため、力学の基礎の復習も行う。一部、理学療法の動作障がいについても視覚教材、症例動画等を用い、正常動作との違いや疾患の特徴など理解するための基礎作りを計る。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 健康人の基本動作の種類を説明できる 2. 随意運動のメカニズムや反射経路を説明できる 3. 正常基本動作（立ち上がり、起き上がりなど）を相に分け、力学的に説明できる 4. 正常歩行の歩行周期と筋活動について説明できる 5. 歩行動作をエネルギー効率の視点で説明できる	
関連科目	基礎物理学、物理学、運動器解剖学、解剖学演習、運動学、運動学実習、人間発達学、整形外科学、神経内科学、基礎運動療法、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ・Ⅱ、装具学、日常生活活動学、高齢者理学療法学演習、生活環境学、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ	
成績評価方法・基準	課題提出30% 筆記試験（小テスト20%、期末試験50%）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	<予習>運動学で学んだ基本的な力学, てこ, 力のモーメント, ベクトルについて復習しておくこと. <復習>正常動作では, 基本事項や動作分析を力学的に記述できるようになるための復習が必要. 1コマあたり4時間の予習・復習。
教科書	1. 高橋正明編：標準理学療法学 専門分野 臨床動作分析, 医学書院, 2019 2. 石井慎一郎編著：動作分析臨床活用講座-バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践, MEDICAL VIEW, 2022 3. 医療情報科学研究所編：病気が見えるVol. 7 脳・神経, MEDIC MEDIA, 2020
参考書	1. 石川朗編：15レクチャーシリーズ理学療法・作業療法テキスト「臨床動作分析」, 中山書店, 2020
オフィス・アワー	高橋 (614研究室), 浅田 (610研究室) : 水曜日 (12:10~13:00)
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -3-C~F, 《専門》- I -3-G~H
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習
ナンバリング	PFi-204

講義科目名称： 運動学実習

授業コード： 4P052

英文科目名称： Practice in Kinesiology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資	高橋正明	目黒力	富田浩
	城下貴司	橋口優	

授業形態	実習14回・講義10回		担当者
授業計画	1. 講義	上肢の運動機能（肩関節1）	高橋 岡崎 富田
	2. 講義	上肢の運動機能（肩関節2）	高橋 岡崎 富田
	3. 講義	上肢の運動機能（肩関節3）	高橋 岡崎 富田
	4. 講義	上肢の運動機能（肘関節1）	高橋 岡崎 富田
	5. 講義	上肢の運動機能（肘関節2）	高橋 岡崎 富田
	6. 講義	上肢の運動機能（手関節・手指1）	高橋 岡崎 富田
	7. 講義	上肢の運動機能（手関節・手指2）	高橋 岡崎 富田
	8. 講義	上肢の運動機能（手関節・手指3）	高橋 岡崎 富田
	9. 講義	歩行の運動学的基礎	岡崎 富田
	10. 講義	運動学習過程の理解	岡崎 富田
	11. 実習	重心位置の測定 オリエンテーション1	目黒 岡崎 富田
	12. 実習	重心位置の測定 オリエンテーション2	目黒 岡崎 富田
	13. 実習	ランドマークを基準とした立位姿勢アライメントの計測	目黒 岡崎 富田
	14. 実習	重心動揺計を用いた重心線の測定	目黒 岡崎 富田
	15. 実習	セグメント法に基づく身体重心計測	目黒 岡崎 富田
	16. 実習	てこを用いた身体重心の位置の推定	目黒 岡崎 富田
	17. 実習	筋電計・筋収縮様式測定のアライメント	岡崎 城下 橋口 富田
	18. 実習	3次元動作解析のアライメント	岡崎 城下 橋口 富田
	19. 実習	筋電計を用いた動作分析（1） 筋電計を用いた筋収縮様式の計測	岡崎 城下 橋口 富田
	20. 実習	筋電計を用いた動作分析（2） 筋電図処理方法の実習	岡崎 城下 橋口 富田
	21. 実習	3次元動作解析装置を用いた動作分析（1） 歩行路を設定し、歩行時の床反力、関節モーメントの計測1	岡崎 城下 橋口 富田
	22. 実習	3次元動作解析装置を用いた動作分析（2） 歩行時の床反力、関節モーメントの分析1	岡崎 城下 橋口 富田
	23. 実習	筋収縮様式の理解と関節モーメント（1） 等尺性・等速性筋収縮様式を理解し、関節モーメントを測定	岡崎 城下 橋口 富田
	24. 実習	筋収縮様式の理解と関節モーメント（2） 環境操作に伴う、関節モーメントの相違の検討	岡崎 城下 橋口 富田
科目の目的	<p>(1) レポートを作成するために必要な単位や数値のまとめ方、レポートの構成や体裁などを学び、身体動作を運動としてとらえる視点と定量的にとらえるということを学ぶ。</p> <p>(2) 身体重心の位置や重心動揺、姿勢保持時の各肢節間のアライメントの測定など自分自身を対象とした測定実習を行い、基本的姿勢と動作について力学的理解を深める。</p> <p>(3) 運動や動作を解析する各種手法についてグループで実習し、運動学における分析法を修得する。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>(1) 人の運動・動作を分析し、運動学的用語を用いた記述ができる。</p> <p>(2) 運動学的分析方法を習得し得られた結果より臨床的意義について理解を深める。</p> <p>(3) 実習内容を客観的に記述したレポート作成ができる。</p>		

関連科目	運動学、臨床運動学、運動器解剖学、臓器解剖学、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ
成績評価方法・基準	実習レポート（50％） 小テスト（10％） 定期テスト（40％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習：運動学で学んだ内容の復習と実習の手引き、実習書を熟読のうえ各実習単元にて行う内容を理解した状態で授業に臨むこと。
教科書	指定しない。運動学実習の手引き、実習書を各自に配布する。
参考書	「標準理学療法学・作業療法学 運動学」高橋正明編（医学書院） 「基礎運動学 第6版補訂」中村隆一，他著（医歯薬出版）
オフィス・アワー	各担当教員ともに研究室にて水曜日12：10-13：00とする
国家試験出題基準	《専門基礎》- I-3-B-b～d, 《専門基礎》- I-3-C～F, 《専門》- I-3-J
履修条件・履修上の注意	運動学・解剖学・生理学等で学んだ知識をリンクさせ各計測・分析を実施するため、基礎知識の予習が必要である。 講義開始前に実習書を熟読し、スムーズな実習を行えるように準備をすること。また、実習を中心とした授業であるため、受け身ではなく自ら学ぼうとする態度で受講すること。積極的な授業への参加を望む。 実習レポートの成績が不良の者は再提出を課す場合がある。原則として遅刻・欠席は認めない。
アクティブ・ラーニングの実施	14回の実習では、グループに分かれ実習書を参考に能動的に実験実習（グループワーク）を実施する。
ナンバリング	PFi-205

講義科目名称： 人間発達学

授業コード： 4P053

英文科目名称： Human Development

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋口 優			

授業形態	講義・演習	担当者
授業計画	第1回 人間発達学概論（講義） 発達に関する用語や概念を学習する 発達の概念を事例で考える	橋口 優
	第2回 マイルストーンと運動発達理論（講義） 運動発達に関わる理論について学習する 発達の現象学と機能学について解説する	橋口 優
	第3回 正常運動発達について1（講義・演習） 背臥位・腹臥位の正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第4回 正常運動発達について2（講義・演習） ずり這いと四つ這い・座位と起き上がりの正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第5回 原始反射・姿勢反応について1（講義・演習） 原始反射・姿勢反応の目的と誘発手技について講義を中心に学習する	橋口 優
	第6回 原始反射・姿勢反応について2（講義・演習） 原始反射・姿勢反応の目的と誘発手技について講義を中心に学習する	橋口 優
	第7回 原始反射・姿勢反応について3（演習） 原始反射・姿勢反応の誘発手技を演習を通して学習する	橋口 優
	第8回 原始反射・姿勢反応について4（演習） 原始反射・姿勢反応の誘発手技を演習を通して学習する	橋口 優
	第9回 正常運動発達について3（講義・演習） 立ち上がり・つたい歩きの正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第10回 正常運動発達について4（講義・演習） 歩行の正常運動発達を体験学習する	橋口 優
	第11回 視覚機能の発達について（講義） 運動機能に関わる視覚機能の発達について学習する	橋口 優
	第12回 上肢機能の発達について（講義） 物の操作などの巧緻動作の発達について学習する	橋口 優
	第13回 認知機能の発達について（講義） 認知機能・心理機能の発達について学習する	橋口 優
	第14回 内部機能の発達について（講義） 呼吸・循環・代謝機能の発達について学習する	橋口 優
	第15回 口腔機能の発達について（講義） 摂食・嚥下機能の発達について学習する 理学療法に発達学の知識を応用するメリットを理解する 臨床における発達の障がいの現れ方の紹介・理学療法に発達学の知識を応用するメリットを理解する	橋口 優
科目の目的	理学療法に発達の知識を利用できることを知る 本授業はディプロマポリシー【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】に対応した科目である	
到達目標	定型発達の現象を説明でき、かつ模倣ができる 姿勢反射・反応の神経学的意義、臨床的意義を説明でき、姿勢反射検査ができる	
関連科目	基礎となる科目・・・運動学 将来繋がる科目・・・小児理学療法学・小児科学・臨床神経学Ⅰ（神経内科学）	
成績評価方法・基準	実技到達度20%＋定期試験80%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前に配布する講義資料の該当部分およびテキストの該当部分を予習する（各回45分程度） 各回の内容と演習を復習する（各回45分程度）	
教科書	教科書1 理学療法・作業療法のための神経生理学プログラム演習2 運動発達と反射 反射検査の手技と評価 教科書2 シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	水曜日12:15～15:00	

国家試験出題基準	《専門基礎》- I -4-A~B, 《専門》- I -3-0~P, 《専門》-IV-5-F
履修条件・履修上の注意	演習をともなうため、動きやすい服装にて受講すること
アクティブ・ラーニングの実施	運動発達、原始反射・姿勢反応について、演習による体験を通して知識の整理を行う。
ナンバリング	PFi-206

講義科目名称： 生涯発達心理学

授業コード： 4P054

英文科目名称： Life-span Developmental Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態	講義15回 毎回の授業の最後に授業の「まとめ」を提出する。		担当者
授業計画	第1回	ヒトとは 直立二足歩行の意義・二足歩行からもたらされたヒト特有の疾患・ヒトの6大特徴	齊藤吉人
	第2回	生涯発達 発達の定義・人の生涯に影響を与える3つの要因・2025年問題・平均寿命と健康寿命の差・人間発達期の区分・成長・発達・成熟・発育の原則	齊藤吉人
	第3回	胎芽・胎児期 受精卵期・胎芽期・胎児期	齊藤吉人
	第4回	乳児期 ピアジェの認知構造・乳児実験における観察法・エリクソンのライフサイクル・コミュニケーションの発達段階・アタッチメント	齊藤吉人
	第5回	幼児期前期 粗大運動の発達・微細運動の発達・社会性・言語の発達・エリクソンの発達図式・児童虐待	齊藤吉人
	第6回	幼児期後期 粗大運動の発達・微細運動の発達・自己中心性・こころの理論・社会的遊びの発達の分類	齊藤吉人
	第7回	学童期 勤勉性と劣等感・脱中心化・向社会性	齊藤吉人
	第8回	青年期前期 思春期と青年期・自我同一性・モラトリアム・自己受容・エゴグラム性格診断テスト	齊藤吉人
	第9回	青年期後期 自我同一性・アイデンティティ・ステータス・マージナル・マン・ピーター・パン・シンドローム・シンデレラ・コンプレックス・合理的配慮・トランスジェンダー	齊藤吉人
	第10回	成人期前期 親密性と孤独・職業的アイデンティティ・仁術・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ニート・人口置き換え水準	齊藤吉人
	第11回	成人期中期 世代性と停滞・コーピング・スタイル・M字カーブ・3歳児神話	齊藤吉人
	第12回	成人期後期 成熟期・同一性再確立・自己肯定感・熟年の自殺	齊藤吉人
	第13回	高齢期 統合と絶望・結晶性知能と流動性知能・人格の尖鋭化・サクセスフル・エイジング・プロダクティブ・エイジング・ロコモティブ症候群・サルコペニア・フレイル・地域包括ケア	齊藤吉人
	第14回	発達理論 単一要因説・生得説・経験説・双生児統制法・成熟優位説・レディネス・反射階層理論・行動主義心理学・輻輳説・相互作用説・横断研究・縦断研究・非線形打ち消し効果	齊藤吉人
	第15回	発達理論 複雑系科学・創発・ゲシュタルト心理学・最近接発達領域	齊藤吉人
科目の目的	人間を生涯にわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期)を経て死に至るまでの量的・質的变化について学ぶ。ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	人間の発達には、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死というライフステージに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、機能障害の理解に加え、そうしたライフステージの特徴を踏まえて支援を行うことが求められている。そして、ライフステージの各時期に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上の課題を説明できることを目標とする。		
関連科目	臨床心理学, 学習・認知心理学, 心理測定法		

成績評価方法・基準	1回の「まとめ」の提出に対し1点が与えられる。ただし、正答が60%を超えない場合、「まとめ」とは認めない。毎回の授業終了後、「標準的まとめ」をActive Academyにて配信する。定期試験は「標準的まとめ」から出題される。評価点=毎回提出する「まとめ」(1点×15回=15%) + 定期試験成績(85%)。60%以上を合格とし単位を与える。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業計画に示される授業内容の教科書該当部分を予習する(各回45分程度)。授業後に配布される「標準的まとめ」を復習する(各回45分程度)。
教科書	なし
参考書	鈴木光太郎著：ヒトの心はどう進化したのかー狩猟採集生活が生んだもの, 筑摩書房, 2013
オフィス・アワー	月～金の昼休み
国家試験出題基準	V-4-A-a [~] c V-4-B-a [~] c V-4-C-a [~] c V-4-D-a [~] c V-4-E-a [~] e
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない
ナンバリング	PFi-207

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義を中心とする。		担当者
授業計画	第1回	<p>学習心理学の歴史 一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では学習心理学の歴史を学び、学習心理学の2つの理論体系について理解する。</p> <p>key words：心理学実験室，行動主義，新行動主義</p>	竹居田 幸仁
	第2回	<p>学習の基礎 行動の変容について、遺伝的なものは成熟であり、経験によるものは学習である。経験による行動の変容である学習を生じさせるための手続きが「条件づけ」である。 本講義では様々な条件づけについて学び、日常生活で応用できる場面がないかを考察する。</p> <p>key words：古典的条件づけ，オペラント条件づけ，三項随伴性，強化と弱化</p>	竹居田 幸仁
	第3回	<p>技能学習と熟達化 技能学習とは、知覚系（環境情報の認知）と運動系（中枢からの骨格筋のコントロール）を協応させる学習である。本講義では、様々な技能学習と、その熟達化の方法について学ぶ。</p> <p>key words：技能学習，運動プログラム，学習曲線，熟達化</p>	竹居田 幸仁
	第4回	<p>社会的学習 社会的学習とは、社会のメンバーとして適切な行動がとれるよう、他者の影響を受けて、文化、慣習、規範、態度、価値観、言語、行動などを習得することである。ヒトは経験の中から様々なことを「学習」するが、このメカニズムに関する理論はこれまでに多数積み重ねられてきている。本講義では、社会的学習に関する理論を学び、日常生活において見られる社会的学習を探索する。</p> <p>key words：社会的学習，観察学習，モデリング，自己効力感，道徳的不活性化</p>	竹居田 幸仁
	第5回	<p>問題解決と学習の転移 問題解決を考えるためには、「問題」とは何か、「解決」とは何かを明確にする必要がある。本講義では、認知心理学における問題解決について理解し、日常生活で遭遇する様々な問題の解決方法について検討する。</p> <p>key words：初期状態，目標状態，オペレータ，問題スキーマ，類似，転移</p>	竹居田 幸仁
	第6回	<p>動機づけ 動機づけとは、行動や思考を喚起し、方向づけ、持続させ、完了へと導く心の働きである。動機づけは日々の生活の中で「意欲」や「やる気」などと呼ばれるものと対応した概念である。学習との関係の中での動機づけは、学習された行動の目標達成に向けた遂行や新しい行動の学習を促す心の働きと捉えられる。本講義では、動機づけの源と捉えられる欲求の類型について触れた後、動機づけの始発・維持および動機づけられた行動の推敲・制御に関わる処理過程について概観する。</p> <p>key words：動機づけ，欲求，内発的-外発的動機づけ，期待，価値，原因帰属，自己制御，認知コントロール</p>	竹居田 幸仁
	第7回	<p>認知心理学の歴史 認知心理学で扱われている対象については、古くから言及されている。例えば、古代ギリシャの哲学者プラトンやアリストテレスなどによっても人間の記憶の性質について語られている。しかし、認知に関する科学的研究の取り組みが開始されたのは19世紀に入ってからである。本講義では認知心理学の歴史を概観する。</p> <p>key words：ライプチヒ大学，ゲシュタルト心理学，行動主義，新行動主義，認知地図</p>	竹居田 幸仁
	第8回	<p>感覚 ヒトは思考し行動するために、まず感覚のプロセスによって外界からの情報を得る。本講義ではヒトの感覚プロセスや神経活動について理解し、それがどのように情動を引き起こしたり、行動のための運動システムに利用されるかを考察する。</p> <p>key words：視覚，聴覚，体性感覚，触覚，嗅覚，味覚，閾，多感覚統合</p>	竹居田 幸仁

	<p>第9回 視知覚 我々は、視覚によって外界の様子を素早く知り、行動し、または文字などの情報をものに意味的な理解を行うこともできる。本講義では、眼を通じて得た視覚情報を元に外界を知覚・認識する基礎的な働きについて解説をする。</p> <p>key words : 網膜, 錐体, 明るさ, 色, 恒常性, 顔の認識, 物体認識, 空間の近く, 奥行き, 両眼立体視, 運動, バイオリジカル・モーション</p> <p>第10回 聴知覚 我々の知覚は性質の異なる刺激を同時に受け入れることによって、様々な環境において、できるだけ多くの情報を素早く外界から得ようとしている。その中で、我々が生きていくうえで、聴覚が重要な役割を果たしている場面は多い。本講義ではまず、音の物理的な性質について理解をし、聴覚仕組みや音声の知覚について概観する。</p> <p>key words : 波形, スペクトル, 等間隔曲線, 補充現象, ソーン尺度, マスキング, 周期性, 両耳間時間差, 両耳間音圧差, 先行音効果, 聴覚情景分析</p> <p>第11回 感性 心理学において、「感性」という心の機能はどのように位置づけられるのであろうか。心理学の研究対象としての感性を語る際、感性は感性以外の心の機能との関係性の中で定期されるべきである。本講義では、何をどのように明らかにする研究活動が感性研究なのか、感性は他の心の機能とどう違うのかを検討する。</p> <p>key words : 感性, 印象, 曖昧さ, 想像, 見立て</p> <p>第12回 注意 我々の認知システムの処理能力（処理容量ともいう）には限界がある。身の周りにあるたくさんの情報のうち、一度に処理できるのはその一部であり、情報を取捨選択しなければならない。この時、情報の取捨選択に関わる働きを「注意」という。本講義では、「注意」には単一の機能ではなく、いくつもの側面があり、それぞれが異なる特性を持つことを学ぶ。</p> <p>key words : 注意, 意識, 無意識, ワーキングメモリ, トップダウン, ボトムアップ, 処理資源</p> <p>第13回 記憶 我々は外界の情報を取り入れ（記銘）、一定期間覚えておき（保持）、それを必要に応じて思い出す（想起）。この一連の心的過程やその内容を記憶という。この心的過程は、記銘に際して外界の情報を心内表現に変換する符号化（encoding）、その結果を保持する貯蔵（storage）、保持している内容を想起する検索（retrieval）という3つの段階からなる。本講義では、記憶の構造やシステム、記憶の種類、ワーキングメモリ、処理水準などについて概観する。</p> <p>key words : 感覚記憶, 短期記憶, 長期記憶, ワーキングメモリ, 処理水準説, 偽りの記憶, 回復された記憶</p> <p>第14回 認知の個人差 知覚や認知の研究では、ヒトが普遍的に持っている機能を明らかにするものが殆どで、個人差そのものに焦点が当てられることは少ない。個人差に焦点を当てる研究分野は差異心理学（differential psychology）と呼ばれている。本講義では、報告例が少ない「認知」に関する個人差に関する研究例を紹介し、今後の展望を行う。</p> <p>key words : 個人差, 差異心理学, 知能, 感情知性, ストループ干渉, 逆ストループ干渉</p> <p>第15回 知覚・認知の障害 高次脳機能障害は脳が損傷を受けたことによって生じるが、その症状の中には知覚や認知に関するものがある。本講義では知覚・認知の障害の症状を概観し、その支援方法について検討する。</p> <p>key words : 統覚型視覚失認, 連合型視覚失認, 半側空間無視, 半側身体失認, 前向き健忘, 逆行性健忘,</p>	<p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p>
<p>科目の目的</p>	<p>一般に学習というと、学校における教科学習を想像するが、心理学において学習とは「経験によって生ずる行動の変容」と定義される。本講義では、行動主義が提唱した学習原理と、社会的学習理論という2つの理論体系について理解することを目的とする。</p> <p>また、人間のこころについて、認知機能の側面から理解し、考・言語の理解・産出・獲得、人間の記憶など、認知機能に関する理論・仮説や研究方法を理解し、人間の認知機能について概観できるようにすることも目的とする。</p> <p>ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
<p>到達目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動の心理学の基本的な考え方と学習心理学の原理を理解し、説明することができる。 2. ヒトを含む動物の行動に興味を持ち、根拠を持って心と行動の素朴な関連性を疑うことができる。 3. 記憶や注意などの心理学的概念を理解することができる。 4. 言語に関連する認知心理学的知見を理解することができる。 	

関連科目	心理学、臨床心理学、教育心理学、心理測定法、人間関係コミュニケーション論
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・50%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各単元について、1コマあたり4時間（実時間180分）程度の予習・復習を行うことを目安とする。
教科書	【教科書】 なし。その都度資料を配布する。
参考書	【参考書】 箱田裕司（編） 『公認心理師の基礎と実践7 知覚・認知心理学』 遠見書房 楠見孝（編） 『公認心理師の基礎と実践8 学習・言語心理学』 遠見書房
オフィス・アワー	講義後の教室において、もしくは事前にe-mailで予約のうえ、随時対応します。 月・火・水・金曜の昼休み（1号館3階305研究室）
国家試験出題基準	なし
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	講義中、随時10分程度の小演習も取り入れる。
ナンバリング	PFi-208

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹居田 幸仁			

授業形態	講義形態が中心であるが、講義の後半では主にExcelを利用した統計処理の演習を行う。		担当者
授業計画	第1回	<p>オリエンテーション 心理学の歴史を知ることを通じて、心理測定法の意義を学ぶ。</p> <p>key words：心理測定法，心理学研究法</p>	竹居田 幸仁
	第2回	<p>心理物理学的測定法 精神物理学的測定法で測定される刺激閾，弁別閾，主観的等価値などを学習し，閾値の概念について詳細に検討する。</p> <p>key words：精神物理学的測定法，閾値の測定</p>	竹居田 幸仁
	第3回	<p>データの種類の識別する われわれは，自分が問題とする現象・事象について実験や調査，検査，観察を行ってデータを得る。そしてそのデータを処理して，なにがしかの所見を得ようとする。しかし，どのような方法で処理するかは，データの種類によって異なる。本講義では，データ処理のために適当な方法を適用するために，自分のデータがどのような性質を持つかを識別できるようになることを目指す。</p> <p>key words：名義尺度，順序尺度，間隔尺度，比率尺度</p>	竹居田 幸仁
	第4回	<p>データを入力する データを分析するためには，標本集団から得られたデータを何らかの基準に従って数値化し，整理する必要がある。これはまず表の形にまとめられるが，この加工や編集をされていないデータを原データ（粗データ，素データ，raw data）という。本講義ではデータ処理の手始めとして，実験記録，観察記録，質問紙等で捉えた被験者（被検者，被調査者）の反応—原データをExcelに入力する演習を行う。</p> <p>key words：実験，観察，質問紙調査，原データ</p>	竹居田 幸仁
	第5回	<p>データを編集する データ処理の過程で，入力した値や算出した値に様々な手を加えて，新しい値を与えることがある。最も単純な加工としては，数値を四捨五入して適当な位に丸めたり，文字データを数値データに置き換えたり，いくつかの変数の合計値を求めたりといった作業が挙げられる。やや複雑な加工としては，標準化をしたり，対数変換，角変換等を行うことがある。本講義では，Excelでこれらの加工の演習を行う。</p> <p>key words：データの編集，データを丸める，データの変換，標準化</p>	竹居田 幸仁
	第6回	<p>データを集計し特徴を記述する データを集計する際，最も基本的な処理は，ある変量の値に従って観測を並べ替えることである。出席番号順に並べたり，肥満度の順番に個人を並べ替えたり，性別でグループ分けをしたりといった処理が該当する。本講義では，Excelを用いて様々なデータの集計方法についての演習を行う。</p> <p>key words：データの並べ替え，度数分布表，クロス集計，平均値，中央値，最頻値，散布度，GP分析</p>	竹居田 幸仁
	第7回	<p>グラフに表す 原データについてグラフを描くと，データの分布が概観できる。次の段階では，原データの集計表から度数を計測したり平均値等を算出し，標本の特徴について記述し，さらに高度・複雑な分析を施すこともある。本講義では，Excelを用い，様々なデータをグラフで表す演習を行う。</p> <p>key words：原データのグラフ化，グラフウィザード，ラベル，目盛線</p>	竹居田 幸仁
	第8回	<p>統計的検定① 表やグラフから傾向を読み取られた所見は，研究者自身の“読み”によるもので，そのような主観的な所見から示唆される差異や関係は，確率的に見て差がある，関係があると言えるのかどうかを数字の上で裏付ける必要がある。これが統計的検定と言われるものである。 本講義では，帰無仮説について学び，Excelを用いて二項検定やカイ二乗検定などの演習を行う。</p> <p>key words：帰無仮説，有意水準，二項検定，カイ二乗検定，自由度</p>	竹居田 幸仁

	<p>第9回 統計的検討② 2つの条件下において同一の測定・調査を行い、その条件感で測定値（平均値）に差があるかどうかを検定する方法について学ぶ。 講義の後半では、Excelを用い、F検定、t検定の演習を行う。</p> <p>key words：F検定、等分散、対応のあるt検定、対応のないt検定</p> <p>第10回 統計的検討？ 心理学実験で得られる測定値には、通常多くの変動＝バラつきが見られる。この変動がどのような要因（条件、変数）によって説明されるかを知るために、いくつかの影響因子をあらかじめ設定し、その要因が、偶然誤差による変動を見込んだ上でも、測定値全体の変動に影響を与えているのかどうかを検討する方法である分散分析について学ぶ。 講義の後半では、Excelを用い、様々な分散分析の演習を行う。</p> <p>key words：分散分析、一元配置、繰り返しのある二元配置、繰り返しのない二元配置</p> <p>第11回 類似性・関係の程度を数値で表す 2つの事象の間になんらかの関係＝共変関係、因果関係、一致、類似などが想定される場合がある。そのような関係の有無を検討するために、関係の程度を数値化する試みがなされている。これが相関係数である。本講義では、距離尺度を構成する2つの変量間の関連の程度を表す時に適用するピアソンの積率相関係数について学ぶ。 講義の後半では、Excelを用いて2変量間の相関係数を求める演習を行う。</p> <p>key words：ピアソンの積率相関係数、因果関係はない、有意水準、</p> <p>第12回 多変量を集約する 人の傾向を測る時、「ものさし」が一つでは、見落としている側面があるのではないかと危惧される。本講義では、まず、問題としている特性に関連すると思われる「ものさし」を多数あてはめ、その特性を測ろうとする重回帰分析について学ぶ。更に、多くの反応指標が同時に得られる場合、外的基準は存在せず、変量（尺度）間の相関係数からそれらの構造的関連を分析する方法である因子分析についても学習する。 講義後半では、Excelを用い、これらの分析方法について演習を行う。</p> <p>第13回 発達検査 発達検査とは、乳幼児の精神 発達（運動・身辺自立・言語・社会性など）の程度を測定する検査である。本講義では、わが国で使用されている代表的な発達検査を紹介する。</p> <p>key words：新版K式発達検査2020、遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、デンバー発達判定法</p> <p>第14回 知能検査① ウェクスラーが知能を「目的的に行動し、合理的に思考し、能率的にその環境を処理しうる総合的・全体的能力」と定義している通り、知能とは単に頭の良さや勉強の出来具合を示す指標ではない。そして、知能検査とは、知能の程度を客観的・科学的に測定する検査である。 本講義では、わが国で使用されている代表的な知能検査の一つである田中ビネーV知能検査について紹介する。</p> <p>key words：知能、田中ビネーV知能検査、鈴木ビネー検査</p> <p>第15回 知能検査② 本講義では、世界的に使用されているウェクスラー系の知能検査（成人用であるWAIS-IVおよび児童用であるWISC-IV・WISC-V）について紹介する。</p> <p>key words：WAIS-IV、WISC-IV、WISC-V</p>	<p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p> <p>竹居田 幸仁</p>
<p>科目の目的</p>	<p>心理学の領域では心に関する現象をデータに基づいて科学的に検証するために、様々な測定法が開発されてきた。この講義では、各測定法の方法論や特徴を学ぶことを通じて、データを読み解くための方法を理解することを目指す。</p> <p>ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
<p>到達目標</p>	<p>1. 心理学研究の基礎をなす測定法の理論や具体的測定方法について理解する。 2. 測定することの意味や各研究領域を代表する測定方法について理解を深め、将来研究を企画する際の基礎知識を身に付ける。</p>	
<p>関連科目</p>	<p>心理学、臨床心理学、教育心理学、学習・認知心理学、人間関係コミュニケーション論</p>	
<p>成績評価方法・基準</p>	<p>定期試験（レポート形式・50％）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（50％）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行く。</p>	
<p>準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安</p>	<p>各単元について、1コマあたり4時間（実時間180分）程度の予習・復習を行うことを目安とする。</p>	
<p>教科書</p>	<p>遠藤健治 『Excelによるデータ処理入門－集計から編集、要約、グラフ化、検定〔増補改訂版〕ま</p>	

	でー』 北樹出版
参考書	山田弘幸（編）『言語聴覚士のための心理学第2版』 医歯薬出版株式会社 南風原朝和 『心理統計学の基礎』 有斐閣アルマ
オフィス・アワー	講義後の教室において、もしくは事前にe-mailで予約のうえ、随時対応します。 または月・火・水・金曜の昼休み（1号館3階305研究室）。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業（他の科目の学習等）は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。
アクティブ・ラーニングの実施	実施する。
ナンバリング	PFi-209

講義科目名称： 行動科学とりハビリテーション

授業コード： 4P057

英文科目名称： Behavioral Science and Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
岡崎 大資			

授業形態	講義8回	担当者
授業計画	1. 講義 オリエンテーション、行動科学とは 2. 講義 社会心理学、認知心理学の概説 3. 講義 行動分析学の概説 4. 講義 行動療法の実際 5. 講義 認知行動療法の実際 6. 講義 アクセプタンス&コミットメント・セラピーの実際 7. 講義 事例1 意欲のない対象者への介入方法 8. 講義 事例2 思考にとらわれた対象者への介入方法	岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎 岡崎
科目の目的	行動科学とは、人のさまざまな行動を科学的に探究する学問である。リハビリテーションの対象者への支援において必要となる社会心理学、認知心理学、行動分析学などの心理学を概説し、それらの知識を基盤とした行動療法、認知行動療法、アクセプタンス&コミットメント・セラピーとしての介入の重要性について講義する。また、保健医療福祉の現場における事例検討を通して、リハビリテーションにおける行動科学的介入方法を講義する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. リハビリテーション領域における行動科学の重要性を説明できる。 2. 社会心理学、認知心理学、行動分析学の概略を説明できる。 3. 認知行動療法、行動療法、アクセプタンス&コミットメント・セラピーなどの具体的実践方法の概略を理解する。 4. 事例検討を通して、保健医療福祉の現場における行動科学的介入方法を理解する。	
関連科目	生涯発達心理学、学習・認知心理学、心理測定法、リハビリテーション概論、臨床心理学	
成績評価方法・基準	レポート100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回の講義との関連性を事前に理解して講義に臨むこと。講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。(1コマあたり180分程度)	
教科書	指定しない。必要な資料を準備する。	
参考書	指定しない。	
オフィス・アワー	月曜日 担当教員の研究室にて12時-13時	
国家試験出題基準	《専門基礎》Ⅰ-4-A~B, Ⅱ-5-A-b~c	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	PFi-301	

講義科目名称： 病理学

授業コード： 4P058

英文科目名称： Pathology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病理学序論・医学における病理学の位置付け 病理学の定義と他領域との関連性 第2回 病理学の基本四分類と細胞障害 アポトーシス、壊死 第3回 炎症（基礎編） 炎症の原因と変化 第4回 腫瘍（基礎編） 腫瘍の特徴と分類 第5回 循環障害（基礎編） 循環障害の原因と結果 第6回 変性（基礎編） 代謝異常、 第7回 遺伝子と免疫の異常（基礎編） 遺伝病、自己免疫疾患等 第8回 病理学まとめ（中間） これまでに学んだ病理学等について小論文を作成 第9回 炎症（応用編） 代表的な炎症性疾患について概説 第10回 腫瘍（応用編）1 代表的な腫瘍とその診断、治療法について概説 第11回 腫瘍（応用編）2 代表的な腫瘍とその診断、治療法について概説 第12回 循環障害（応用編） 代表的な循環障害について概説 第13回 変性（応用編） 脳神経変性疾患 第14回 遺伝性疾患、免疫疾患（応用編） 代表的な遺伝性疾患、免疫疾患を紹介 第15回 病理学総まとめ（期末） 本講義で習得した病理学の知識等について最終的に小論文を作成する。	田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一 田村遵一
科目の目的	病理学とは疾病の原因、発生メカニズムなど、疾病の本態を解明する学問である。病理学総論として代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について疾病で生じる変化、経過、疾病の予後を捉え、理解ができるようにする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 疾病の原因、経過、治療法、予後を説明できる。 2. 疾病の検査事項を説明できる。 3. 疾病の病理所見を説明できる。	
関連科目	解剖学総論	
成績評価方法・基準	定期試験成績（80％）と出席点（20％）成績を評価する。試験形態は筆記試験とする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習、復習を行うこと。準備学習に必要な時間は1時間程度とする。	
教科書	教科書：講師が配布する資料（授業ごとに配布する） 参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
参考書	参考書：なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 小林正伸著 南山堂	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-2-A～C	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	特になし	

講義科目名称： 薬理学

授業コード： 4P059

英文科目名称： Pharmacology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 薬理学とは 薬理学の基本知識。薬物治療に影響を与える因子。 第2回 薬物動態 投与経路と薬の吸収、分布、代謝、排泄。 第3回 麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬。局所麻酔薬。中枢興奮薬。 第4回 解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬。麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬。 第5回 向精神薬と抗痙攣薬 向精神薬。抗痙攣薬（抗てんかん薬）。 筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用。パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用。 第6回 自律神経薬 自律神経の基礎知識。コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬。アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬。 第7回 オータコイド オータコイドの種類とその作用。プロスタグランディンの臨床応用。 第8回 強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与法。ジギタリスの副作用とその対策。	栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕 栗田昌裕
科目の目的	<p>ディプロマ・ポリシーとの関連では、「基本的知識と技術」をキーワードとする「DP2 理学療法の実践に向かうための基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的な知識および技術」の必要性に基づき、その基本的知識を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適応に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、理学療法の実践に必要とされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておく。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約4時間。	
教科書	教科書：使用しない。	
参考書	参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。	
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-3-B, 《専門》-Ⅰ-3-M	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。	
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず	
ナンバリング	PFj-201	

講義科目名称： 臨床薬学

授業コード： 4P060

英文科目名称： Clinical Pharmacy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与方法、不整脈の分類と治療、抗不整脈薬の種類、	栗田昌裕
	第2回 利尿薬と降圧薬 利尿薬の臨床的応用、降圧薬、抗動脈硬化薬、	栗田昌裕
	第3回 消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬、健胃・消化薬、消化管運動促進薬、 制吐薬、下痢と止痢薬、潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬、駆虫薬	栗田昌裕
	第4回 呼吸器病薬 呼吸器病薬、抗結核薬	栗田昌裕
	第5回 内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬	栗田昌裕
	第6回 第13回 血液病薬と抗癌薬 貧血の薬、止血薬、抗血栓療法薬、	栗田昌裕
	第7回 化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬、抗ウイルス剤、免疫について、免疫療法、	栗田昌裕
	第8回 消毒薬 滅菌・消毒法、消毒薬の濃度と殺菌速度、	栗田昌裕
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「基本的知識と技術」をキーワードとする「DP2 理学療法の実践に向かうための基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的な知識および技術」の必要性に基づき、その基本的知識を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、理学療法の実践に必要なとされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約4時間。	
教科書	教科書：使用しない。	
参考書	参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。	
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	【理学療法士】 《専門基礎》Ⅱ-2-B-e	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。	
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず	
ナンバリング	PFj-202	

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 4P061

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一	木村 朗		

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。</p> <p>第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。</p> <p>第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。</p> <p>第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。</p> <p>第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。</p> <p>第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。</p> <p>第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。</p> <p>第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。</p> <p>第9回 健康危機管理(1) 食品衛生・食の安全について概説する。</p> <p>第10回 健康危機管理(2) 感染症発生時や災害時の対応について概説する。</p> <p>第11回 院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。</p> <p>第12回 成人・精神保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。</p> <p>第13回 生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。</p> <p>第14回 保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。</p> <p>第15回 がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。</p>	<p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p>
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。 	
関連科目	生命倫理、環境学、社会学、情報処理、理学療法概論、地域理学療法学	
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり4時間（実時間180分）	
教科書	<p>【教科書】 初めて学ぶやさしい疫学 日本疫学会標準テキスト（南江堂）</p> <p>【教科書】 実践活動学、木村 朗（三共出版）</p>	
参考書	特になし。	
オフィス・アワー	講義の前後に講義室にて質問を受け付ける（木村博一・木村朗） e-mail（木村博一）：h-kimura@paz.ac.jp；木村朗：a-kimura@paz.ac.jp e-mail（木村朗）：a-kimura@paz.ac.jp	
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-3-F, 《専門基礎》-II-4-A-c, 《専門基礎》-III-1-B, 《専門》-V-3-A~B	
履修条件・履修上		

の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。
ナンバリング	PFj-102

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	加藤 英樹	今尾 仁	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 臨床検査学総論 臨床検査の必要性	三浦 佑介
	第2回 検体検査 (1) 一般検査の種類と実際	三浦 佑介
	第3回 検体検査 (2) 臨床血液検査の種類と実際	三浦 佑介
	第4回 検体検査 (3) 臨床化学検査の種類と実際	三浦 佑介
	第5回 検体検査 (4) 免疫検査・ホルモン検査の種類と実際	三浦 佑介
	第6回 検体検査 (5) 感染症検査・病理検査の種類と実際	三浦 佑介
	第7回 生体検査 (1) 心電図検査の測定の意義	三浦 佑介
	第8回 生体検査 (2) 呼吸機能検査・脳波検査の意義	三浦 佑介
	第9回 画像診断学総論	加藤 英樹
	第10回 頭部の画像診断	加藤 英樹
	第11回 胸部の画像診断 1 肺	加藤 英樹
	第12回 胸部の画像診断 2 心臓・大血管	加藤 英樹
	第13回 骨・関節の画像診断 (脊椎・脊髄を含む)	加藤 英樹
	第14回 肝胆膵の画像診断 (消化管を含む)	今尾 仁
	第15回 泌尿器・生殖器の画像診断	今尾 仁
科目の目的	ディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】を修得することを目的とする科目である。多様な病気の正確な診断に、臨床検査・画像診断学は欠かせないものとなっている。特に生体検査として、X線、CT、MRI、超音波検査(US)、核医学(SPECT、PET)など多くの画像診断法が開発され、発展している。これらの画像検査によって正常解剖の理解が深まり、病気の発生による解剖学的異常や生体内の変化を目で見る事が出来るようになった。一方、血液、尿・便、喀痰等の検体検査の測定法も日々進化し、臨床判断に大いに寄与している。本科目を学習することにより、正常解剖・生理学を分かりやすく理解するとともに、病気の診断に臨床検査・画像診断がどのように利用されているかを知ることが出来る。	
到達目標	1. 血液検査など検体検査で何が判るか理解する。 2. 理学療法士として、臨床検査の重要性を十分把握する。 3. X線、CT、MRI、超音波検査 (US)、核医学検査 (SPECT) ・PETの原理を習得する。 4. 正常解剖画像、代表的な病気の典型的な画像を理解する。 5. 正確な病気の診断に画像診断がどのように利用されているか、その役割を理解する。	
関連科目	関連し合う教養科目－情報処理、生物学、化学、物理学 この科目が基盤となる専門基礎科目－運動器解剖学、臓器解剖学、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、病理学、薬理学、内科学、臨床医学関連領域論、整形外科学、神経内科学、小児科学 この科目が基盤となる専門科目－運動機能系理学療法治療学演習、神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ・Ⅱ、内部機能系理学療法治療学演習、物理療法学、スポーツ理学療法学	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%) により成績を評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。準備学習時間の目安は1時間程度とする。	
教科書	画像診断コンパクトナビ 第4版 (医学教育出版社)、教員が配布する資料	
参考書	系統看護学講座 別巻6 臨床検査 (医学書院)	

オフィス・アワー	講義終了直後に講義室で質問を受け付ける。または事前連絡のうえ各教員のゼミ室で随時対応する。 三浦：miura@paz.ac.jp 加藤：h-katou@paz.ac.jp 今尾：imao@paz.ac.jp
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-3-A
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより資料を事前配付する。PCにダウンロードして授業に持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PFj-203

講義科目名称： 臨床医学関連領域論

授業コード： 4P063

英文科目名称： Related Fields to Clinical Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真	正田 純史		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 外科領域 (1) 総論 外科領域の疾患と治療の概要について理解する。 第2回 外科領域 (2) 胸部疾患 外科領域のうち胸部疾患とその治療の概要について理解する。 第3回 外科領域 (3) 腹部疾患 外科領域のうち腹部疾患とその治療の概要について理解する。 第4回 感染症科・滅菌法・消毒法 感染症科領域における疾患と滅菌法・消毒法の概要について理解する。 第5回 耳鼻咽喉科領域 耳鼻咽喉科領域における疾患を理解する。 第6回 泌尿器科領域 泌尿器科領域における疾患を理解する。 第7回 産婦人科領域 産婦人科領域における疾患を理解する。 第8回 老年医学領域 高齢者に特徴的な症候と疾患 (皮膚科領域・眼科領域の疾患を含む) について理解する。	宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 正田 純史 正田 純史 正田 純史 正田 純史 宗宮 真
科目の目的	臨床医学のうち、外科、老年科 (老年医学)、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、感染症科・滅菌法・消毒法の概要について理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	臨床医学の各科 (外科、老年科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、感染症科・滅菌法・消毒法) で診る疾患の概要について理解し、説明できる。	
関連科目	臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、内科学、小児科学、リハビリテーション医学、救急・免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	定期試験 (筆記試験 90%)、授業中の質問や確認問題への回答 (10%)。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり4時間 (実時間数180分) の授業時間外学習の時間を確保すること。	
教科書	教科書：使用しない。	
参考書	参考書：各授業の際に適宜提示する。	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み (12時10分～50分、宗宮真、場所：1号館6階研究室)、講義終了後 (正田純史、場所：非常勤講師室)。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	<< 専門基礎 >>-Ⅱ-3-C, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-A-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-B-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-C-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-D-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-E-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-A-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-B-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-C-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-D-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-E-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-15-A-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-15-B-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-15-C-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-15-D-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-15-E-a	
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	PFj-204	

講義科目名称： 内科学

授業コード： 4P064

英文科目名称： Internal Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 俊晴			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 概論 1 ＜内科疾患の分類、薬物療法、食事療法＞内科疾患の分類、薬物療法の実際。薬物の作用、濃度。処方箋、医薬品に関する法令。薬用量。食事療法の目的。栄養と疾患の関係。各種病態と食事療法の基本方針。病院食とは。嚥下と栄養補給。	岩崎
	第2回 概論 2 一般検査。血液検査。生化学検査。内分泌検査。感染症検査。免疫的検査。腫瘍マーカーとは。生理学的検査。画像検査。	岩崎
	第3回 消化器疾患 1 消化器疾患の食事・栄養療法。口腔、食道、胃疾患、腸疾患。	岩崎
	第4回 消化器疾患 2 肝、胆のう、膵臓疾患。腹膜疾患。急性腹症。	岩崎
	第5回 呼吸器疾患 1 呼吸器疾患総論、感染性呼吸器疾患、気管支疾患、産業性呼吸器疾患、他。	岩崎
	第6回 呼吸器疾患 2 間質性肺炎、COPD、肺腫瘍、肺循環障害、サルコイドーシス、他	岩崎
	第7回 アレルギー、自己免疫疾患。 アレルギーとは。アレルギー性鼻炎。気管支喘息。アレルギー性肺炎。膠原病。	岩崎
	第8回 循環器疾患 1 心不全。不整脈。	岩崎
	第9回 循環器疾患 2 虚血性心疾患。弁膜症。心筋炎。リウマチ熱。	岩崎
	第10回 循環器疾患 3 高血圧症。大動脈疾患。末梢動脈疾患。静脈・リンパ系の疾患。	岩崎
	第11回 内分泌・代謝疾患 1 内分泌疾患の特徴。間脳、下垂体疾患。甲状腺、副甲状腺疾患、副腎疾患。	岩崎
	第12回 内分泌・代謝疾患 2 糖代謝異常（糖尿病、低血糖）	岩崎
	第13回 内分泌・代謝疾患 3 脂質代謝異常。尿酸代謝異常。その他の代謝異常。	岩崎
	第14回 血液疾患 血液量の異常。脱水。貧血、多血症。血小板の異常。白血球の異常。	岩崎
	第15回 内科学における遺伝性疾患。環境因子と内科疾患。 遺伝性疾患の形式。家族性高コレステロール血症について。公害病について。原発事故における健康被害。	岩崎
科目の目的	臨床医学の中で内科学はすべての疾患を知る上で重要な学問である。特に、疾患の病理生理、診断、治療を学ぶことは臨床の現場で患者の状況を理解し、的確な判断に基づいて検査、治療を施す上で重要である。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	疾病の病態生理、診断、治療を一連の流れの中で理解する力を養う。国家試験に役立つ疾患について理解を深め、実際の問題に対応できるようにする。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、病理学、生理学Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	試験とレポートの総合評価（レポート30%、ミニテスト30%、試験40%） [2023.4.25 訂正]	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭にしておくこと。講義前に授業資料に目を通し、どのような流れの授業なのかを把握しておくこと。授業内容を深く理解するためには30分以上の予習が必要である。	
教科書	なし	
参考書	「病気が見える」シリーズ	
オフィス・アワー	講義の後20分ほど非常勤講師室に滞在している。講義した内容に質問があれば出席表を利用する。	
国家試験出題基準	＜専門基礎＞-Ⅱ-12-A-a~h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-B-a~h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-C-a~h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-D-a~h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-E-a~h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-13-A-a~i, ＜専門基礎＞-Ⅱ-13-B-	

	a～i, <<専門基礎>>-II-13-C-a～i, <<専門基礎>>-II-13-D-a～i, <<専門基礎>>-II-13-E-a～i, <<専門基礎>>-II-14-A-a, <<専門基礎>>-II-14-B-a, <<専門基礎>>-II-14-C-a, <<専門基礎>>-II-14-D-a, <<専門基礎>>-II-14-E-a,
履修条件・履修上の注意	特になし。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PFj-205

講義科目名称： 整形外科学

授業コード： 4P065

英文科目名称： Orthopedics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 整形外科総論 運動器の基礎知識(基本構造と機能)と評価・診察・検査・治療について学ぶ。 第2回 整形外科疾患総論1 骨関節・軟部組織の感染症、関節リウマチとその類縁疾患について学ぶ。 第3回 整形外科疾患総論2 退行性疾患、代謝・内分泌性疾患について学ぶ。 第4回 整形外科疾患総論3 骨・軟部腫瘍、先天性骨系統疾患、循環障害と阻血壊死性疾患について学ぶ。 第5回 外傷性疾患1 骨折・脱臼の分類、症状、診断、治療、合併症について学ぶ。 第6回 外傷性疾患2 上肢・体幹の骨折について学ぶ。 第7回 外傷性疾患3 下肢の骨折について学ぶ。 第8回 外傷性疾患4 脊髄損傷について学ぶ。 第9回 外傷性疾患5 末梢神経損傷について学ぶ。 第10回 整形外科疾患各論1 頸椎疾患について学ぶ。 第11回 整形外科疾患各論2 胸椎疾患・腰椎疾患について学ぶ。 第12回 整形外科疾患各論3 股関節疾患について学ぶ。 第13回 整形外科疾患各論4 膝関節疾患・足関節疾患について学ぶ。 第14回 整形外科疾患各論5 肩関節疾患について学ぶ。 第15回 整形外科疾患各論6 肘関節疾患・手関節と手の疾患について学ぶ。	宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真
科目の目的	整形外科疾患の病態、症状、検査、診断、治療についての知識を習得する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	整形外科疾患の病態、症状、検査、診断、治療およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、運動学、運動学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、神経内科学、リハビリテーション医学	
成績評価方法・基準	定期試験(筆記試験。90%)、授業中の質問や確認問題への回答(10%)。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり1時間(実時間数45分)の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書	教科書：使用しない。	
参考書	参考書：「標準整形外科学(第15版)」井樋栄二 ほか(医学書院)	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み(12時10分～50分、場所：6階研究室)。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-7-A-a~1, 《専門基礎》-Ⅱ-7-B-a~1, 《専門基礎》-Ⅱ-7-C-a~1, 《専門基礎》-Ⅱ-7-D-a~1, 《専門基礎》-Ⅱ-7-E-a~1, 《専門基礎》-Ⅱ-8-A-a~e, 《専門基礎》-Ⅱ-8-B-a~e, 《専門基礎》-Ⅱ-8-C-a~e, 《専門基礎》-Ⅱ-8-E-a~e	
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 神経内科学

授業コード： 4P066

英文科目名称： Neurology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 総論 神経症候と神経学的診察法の概要について学習する。</p> <p>第2回 脳血管障害1 脳血管障害の概要と脳出血について学習する。</p> <p>第3回 脳血管障害2 脳梗塞1 病態と症候を中心に学習する。</p> <p>第4回 脳血管障害3 脳梗塞2 検査と治療を中心に学習する。</p> <p>第5回 脳血管障害4および外傷性疾患 くも膜下出血と頭部外傷について学習する。</p> <p>第6回 神経変性疾患1 認知症疾患について学習する。</p> <p>第7回 神経変性疾患2 大脳基底核障害（錐体外路系疾患）1 パーキンソン病を中心に学習する。</p> <p>第8回 神経変性疾患3 大脳基底核障害（錐体外路系疾患）2 パーキンソン病以外の疾患について学習する。</p> <p>第9回 神経変性疾患4 脊髄小脳変性症について学習する。</p> <p>第10回 神経変性疾患5 運動ニューロン疾患について学習する。</p> <p>第11回 脱髄疾患 多発性硬化症などの脱髄疾患について学習する。</p> <p>第12回 末梢神経障害 ギラン・バレー症候群などの末梢神経障害について学習する。</p> <p>第13回 筋疾患 筋ジストロフィーなどの筋疾患について学習する。</p> <p>第14回 神経筋接合部疾患、機能性疾患 重症筋無力症などの神経筋接合部疾患、てんかんなどの機能性疾患について学習する。</p> <p>第15回 感染性疾患 髄膜炎・脳炎などの感染性疾患について学習する。</p>	<p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p>
科目の目的	神経内科疾患の病態、症状、検査、診断、治療についての知識を習得する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	神経内科疾患の病態、症状、検査、診断、治療およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。	
関連科目	臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、内科学、整形外科学、小児科学、リハビリテーション医学	
成績評価方法・基準	定期試験（筆記試験。90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり1時間（実時間数45分）の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書	教科書： 使用しない。	
参考書	参考書1：「神経内科学テキスト（改訂第4版）」江藤文夫、飯島節（南江堂） 参考書2：「神経疾患のリハビリテーション（初版）」江藤文夫、和田直樹（南山堂）	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、場所：6階研究室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	<< 専門基礎 >>-Ⅱ-9-A-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-B-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-C-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-D-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-E-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-A-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-B-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-C-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-D-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-E-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-A-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-B-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-C-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-D-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-13-E-a~i, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-A-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-B-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-C-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-D-a, << 専門基礎 >>-Ⅱ-14-E-a	

履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する必要があるため、前回の配布資料を持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PFj-207

講義科目名称： 小児科学

授業コード： 4P068

英文科目名称： Pediatrics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
秋元 かつみ			

授業形態	講義形式 (15コマ) 講義の前後にプレテスト、ポストテストを施行 講義の最後に問題を1問作成		担当者
授業計画	第1回	小児科学概論 成長発達、神経反射、小児と成人の相違（構造、生理）、健康診断	秋元かつみ
	第2回	新生児、低出生体重児 低出生体重児、早産児の生理と合併症、マスキリーニング、母児感染	秋元かつみ
	第3回	先天異常 染色体異常、遺伝子異常、代謝異常などの原因と診断と治療	秋元かつみ
	第4回	神経、筋、骨疾患 てんかん、先天性の筋疾患や骨系統疾患の診断と治療	秋元かつみ
	第5回	循環器 先天性の構造異常、川崎病、不整脈などの病態と診断と治療	秋元かつみ
	第6回	感染症 小児期に罹患しやすい感染症の特徴と治療と予防法、ワクチン	秋元かつみ
	第7回	血液、腫瘍 小児の白血病などの血液疾患と固形腫瘍の特徴と治療と予後	秋元かつみ
	第8回	自己免疫疾患、アレルギー アトピー性皮膚炎、喘息、食物アレルギーなどの最近の知見をふまえた病因や治療	秋元かつみ
	第9回	消化器 先天性の構造異常や炎症性腸疾患の診断と治療	秋元かつみ
	第10回	外科疾患 先天性消化器、生殖器疾患などの病態や脳腫瘍など後天性疾患の治療、整形外科疾患の診断と治療	秋元かつみ
	第11回	呼吸器疾患 感染症やアレルギーを基礎にした疾患と先天性構造異常疾患などの病態と診断および治療	秋元かつみ
	第12回	腎・泌尿器疾患 先天性や遺伝性腎泌尿器疾患、ネフローゼ症候群やIgA血管炎などの後天性疾患の診断と治療	秋元かつみ
	第13回	代謝、内分泌 低身長や性分化疾患などの内分泌異常やウイルソン病などの代謝異常の診断と治療	秋元かつみ
	第14回	精神疾患 自閉症スペクトラム、ADHD、トウレット症候群、神経性やせ症などの概要と診断	秋元かつみ
	第15回	脳性麻痺、医療的ケア児、在宅医療 脳性麻痺の病態と診断、在宅医療を含めた医療的ケア児の治療	秋元かつみ
科目の目的	理学療法士として小児の訓練を行う場合、基礎として、小児の生理・病理を理解し、疾患の病態について学び、将来他の医療スタッフと業務の上で協調できる能力をもつことを目的とする。 ディプロマポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1) 小児の成長・発達を学び、小児の疾患についても総合的に学ぶ。2) 個々の疾患を覚えるのではなく、各疾患の特異性を理解し学習することを目標とする。3) 患者の問題点について深く考え、医療チームで発言できるスキルを身につける。		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、人間発達学、内科学、精神医学 臨床病態学		
成績評価方法・基準	定期試験 100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	配布された資料を前日までに目を通しておくこと。1コマの授業に1時間ほどかけて要点を理解し疑問点を列記しておくこと。		
教科書	教科書：使用しない		
参考書	「標準理学療法学・作業療法学小児科学(第6版)」奈良勲/鎌倉矩子 2023年1月発行 医学書院 病気が見える vol.15小児科 第1版 2022年10月発行 メディックメディア		
オフィス・アワー	授業の前後10分間を講義室で待機します。		

国家試験出題基準	<専門基礎>II -6-E ~I-, k、II-11-A-E- α -e <専門>III-3-I-a-f, III-8-D-a-i
履修条件・履修上の注意	授業開始5分後までは出席扱い。その後は遅刻とします。
アクティブ・ラーニングの実施	症例をグループで検討しポイントや問題点の理解を深める
ナンバリング	PFj-208

講義科目名称： リハビリテーション医学

授業コード： 4P069

英文科目名称： Rehabilitation Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 リハビリテーション診療の概要 障害学、病期別リハビリテーション、診察、評価、検査、治療について学ぶ。</p> <p>第2回 障害の病態生理と評価・治療（1） 廃用症候群について学ぶ。</p> <p>第3回 障害の病態生理と評価・治療（2） 循環機能障害、呼吸機能障害について学ぶ。</p> <p>第4回 障害の病態生理と評価・治療（3） 運動障害、歩行障害について学ぶ。</p> <p>第5回 障害の病態生理と評価・治療（4） 摂食・嚥下障害について学ぶ。</p> <p>第6回 障害の病態生理と評価・治療（5） 高次脳機能障害について学ぶ。</p> <p>第7回 障害の病態生理と評価・治療（6） 老化による障害（老年症候群）、発達障害について学ぶ。</p> <p>第8回 疾患とリハビリテーション（1） 脳血管障害について学ぶ。</p> <p>第9回 疾患とリハビリテーション（2） 脊髄損傷について学ぶ。</p> <p>第10回 疾患とリハビリテーション（3） 神経筋疾患について学ぶ。</p> <p>第11回 疾患とリハビリテーション（4） 骨関節疾患について学ぶ。</p> <p>第12回 疾患とリハビリテーション（5） 切断と義肢について学ぶ。</p> <p>第13回 疾患とリハビリテーション（6） 呼吸器疾患、循環器疾患について学ぶ。</p> <p>第14回 疾患とリハビリテーション（7） 内部障害、悪性腫瘍について学ぶ。</p> <p>第15回 疾患とリハビリテーション（8） 小児疾患（脳性麻痺など）について学ぶ。</p>	<p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p> <p>宗宮 真</p>
科目の目的	<p>1. 運動障害、廃用症候群、循環・呼吸機能障害、嚥下障害、高次脳機能障害、老年症候群、発達障害などの病態生理・評価・リハビリテーションの概要や注意点について理解する。</p> <p>2. 脳血管障害、脊髄損傷、神経筋疾患、骨関節疾患、切断と義肢、呼吸器疾患、循環器疾患、内部障害、悪性腫瘍、小児疾患などの疾患の病態とリハビリテーションの概要や注意点について理解する。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>リハビリテーションの対象となる障害や疾患の病態生理・評価およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。</p>	
関連科目	<p>運動器解剖学、臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、臨床医学関連領域論、内科学、整形外科学、神経内科学、小児科学</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期試験（筆記試験。90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり、4時間（実時間数180分）の授業外学習の時間を確保すること。</p>	
教科書	<p>教科書：使用しない。</p>	
参考書	<p>参考書：各授業の際に適宜提示する。</p>	
オフィス・アワー	<p>講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、場所：6階研究室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。</p>	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》-Ⅱ-4-A-a~b, 《専門基礎》-Ⅱ-4-B~H, 《専門基礎》-Ⅱ-9-A-a~g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-B-a~g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-C-a~g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-D-a~g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-E-a~g, 《専門基礎》-Ⅱ-10-A-a~c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-B-a~c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-C-a~c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-D-a~c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-E-a~c, 《専門基礎》-Ⅱ-12-A-a~h, 《専門基礎》-Ⅱ-12-B-a~h, 《専門基礎》-Ⅱ-12-C-a~h, 《専門基礎》-Ⅱ-12-D-a~h, 《専門基礎》-Ⅱ-12-E-a~h</p>	

履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する必要があるため、前回の配布資料を持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PFj-209

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	萩原 英子	高橋 あゆ子	

授業形態	講義15コマ	担当者
授業計画	<p>第1回 理学療法士と作業療法士の臨床と救急・免疫・感染 これらの知識と技術がなぜ必要で、どう役立つのか</p> <p>第2回 救急医療の概念 我が国における救急医療の概要及び救急患者とその家族の特徴について学習する</p> <p>第3回 救急医療の現場で理学療法士・作業療法士に求められる知識と役割 主要な病態に対する観察、アセスメントと救急処置について学習する</p> <p>第4回 免疫学総論Ⅰ 主に自然免疫について</p> <p>第5回 免疫学総論Ⅱ 主に獲得免疫について</p> <p>第6回 免疫異常症各論Ⅰその1 免疫不全とアレルギーについて</p> <p>第7回 免疫異常症各論Ⅰその2 免疫不全とアレルギーについて</p> <p>第8回 免疫異常症各論Ⅱその1 自己免疫疾患の定義と分類、自己抗体の種類、主な自己免疫疾患の病態など</p> <p>第9回 免疫異常症各論Ⅱその2 自己免疫疾患の定義と分類、自己抗体の種類、主な自己免疫疾患の病態など</p> <p>第10回 感染症総論 感染症の定義、感染経路、院内感染、感染対策など</p> <p>第11回 細菌感染症総論 細菌の特徴と分類、抗菌薬の分類、薬剤耐性メカニズムなど</p> <p>第12回 細菌感染症各論Ⅰ 主に小児の感染症</p> <p>第13回 細菌感染症各論Ⅱ 主に成人の感染症</p> <p>第14回 ウイルスと真菌感染症総論 ウイルスの特徴と種類、抗ウイルス薬の分類、ウイルス感染のメカニズム、真菌症についてなど</p> <p>第15回 ウイルスと真菌感染症各論 主なウイルスと真菌感染症など</p>	<p>佐藤</p> <p>萩原</p> <p>萩原</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p> <p>高橋</p>
科目の目的	<p>〔救急法〕 提供者と受益者の視点から見た日本の救急医療の特徴、救急医療における理学療法士、作業療法士の役割を理解する。傷病者の反応の確認と救急処置の実践について理解を深める。 〔免疫・感染症〕 生体防御機構を中心とした免疫システムの基礎知識を習得し、免疫異常症の理解を深める。また、細菌やウイルスを中心とした病原体による感染症の種類、感染経路、感染予防法など臨床現場で必要となる感染における知識を身につける。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急激に生命が危険にさらされる呼吸器障害・心血管障害・脳血管障害が説明できる。 2. 救命の連鎖について説明できる。 3. 細胞性免疫と液性免疫を理解する 4. 自己免疫疾患と自己抗体の関係を理解する 5. アレルギーの種類と特徴を理解する 6. 主な細菌感染症とウイルス感染症について理解する 7. 感染経路と感染対策法を理解する。 	
関連科目	<p>〔救急法〕 臓器解剖学・運動器解剖学・生理学Ⅰ・生理学Ⅱ・病理学・公衆衛生学 〔免疫・感染症〕 生理学Ⅰ・生理学Ⅱ・病理学・内科学</p>	
成績評価方法・基準	<p>〔免疫・感染症〕 定期試験（80%） 〔救急法〕 定期試験（20%） これらを合算して生成を判定する。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>授業計画を参照して講義を受講する前に準備学習を行うこと。さらに毎回の講義で学んだことを十分に復習すること。これらの学習時間の目安は概ね1時間とする。</p>	
教科書	<p>〔免疫・感染症〕 病気が見える⑥ 免疫・膠原病・感染症（メディックメディア） 〔救急法〕 教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
参考書	<p>わかる 身につく 病原体・感染・免疫（南山堂）</p>	

オフィス・アワー	佐藤：木曜12:10～13:00（開講教室内）、17:50～18:30（1号館611研究室） 萩原、高橋：講義終了後の30分、開講教室内もしくは各教員の研究室
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-3-E, 《専門基礎》-II-12-A-a～b, 《専門基礎》-II-12-B-a～b, 《専門基礎》-II-12-C-a～b, 《専門基礎》-II-12-D-a～b, 《専門基礎》-II-12-E-a～b, 《専門基礎》-III-1-A-h, 《専門》-III-8-I, 《専門》-IV-9-I, 《専門》-V-3-A～B
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	予定していない
ナンバリング	PFj-302

講義科目名称： 栄養学

授業コード： 4P071

英文科目名称： Nutrition

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 栄養学の目的 健康と進化と食事 食と私たち これ以上に大事な学問はない 食育の必要性</p> <p>第2回 献立と主食 献立の立て方と主食、糖質について</p> <p>第3回 タンパク質と脂質 たんぱく質と脂質について</p> <p>第4回 ビタミンとミネラル ビタミンとミネラルの詳細</p> <p>第5回 糖質の代謝 これが運動のエネルギー源である だから人間は進化できた</p> <p>第6回 使ったエネルギー量の算出 と摂取エネルギーの計算 エネルギー収支について</p> <p>第7回 時間栄養学とスポーツ栄養学 時間によって変わるエネルギー代謝</p> <p>第8回 まとめ とテスト 1-7回のまとめ</p>	<p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p>
科目の目的	<p>捕食という行動は全てを中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に漬ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善する為に、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基礎的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。 ・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。 ・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。 ・NSTを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。 ・生涯にわたって栄養分野を探究し、その発展に貢献する意欲を持っている。 ・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。 ・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。 	
関連科目	①運動器解剖学・臓器解剖学 ②生化学 ③生理学Ⅰ・Ⅱ ④病理学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校の生物学および、解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。20分予習する。	
教科書	教科書：オールガイド食品成分表2024（実教出版）	
参考書	参考書：新体系看護学 人体の構造と機能2 栄養生化学（メジカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆 編著（医歯薬出版）	
オフィス・アワー	講義の前後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅰ-2-K-g,《専門基礎》-Ⅰ-2-N,《専門基礎》-Ⅱ-3-D,《専門基礎》-Ⅱ-14-A-i,《専門基礎》-Ⅱ-14-B-i,《専門基礎》-Ⅱ-14-C-i,《専門基礎》-Ⅱ-14-D-i,《専門基礎》-Ⅱ-14-E-i	
履修条件・履修上		

の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	適宜グループディスカッションなどを行います
ナンバリング	PFj-103

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	田辺 将也 小林 剛	齋藤 龍生	本多 昌子

授業形態	講義1-15コマ	担当者
授業計画	<p>1 第1部 緩和医療学総論 (齊藤 龍生) 緩和医療の歴史と緩和医療の基本的考え方を講義すると共に、がん患者さんが抱えている問題点を提示します。その中で、「末期がんの患者さんと如何に話すか?」、「患者さんが人間らしく生きるために何ができるか?」について、一緒に考えていく講義を予定しています。患者さんとのコミュニケーションスキルの向上を目指し、基本的な技術を紹介いたします。</p> <p>2 第1部 緩和医学各論 (小林 剛) 疼痛緩和の考え方 鎮痛剤の使い方・副作用対策</p> <p>3 第1部 緩和医学各論 (小林 剛) オピオイドローテーションについて 事例を提示し疼痛緩和について考えていく</p> <p>4 第1部 緩和ケアの実際 ・疼痛緩和の看護 (本多) 疼痛マネジメントにおける看護の役割について 効果的な疼痛マネジメントのためのアセスメントと援助方法について事例を提示し考えていく</p> <p>5 第1部 緩和ケアの実際 ・他の症状緩和の看護 ・全人的苦痛の緩和 (本多) 他の症状マネジメントにおける看護の役割 効果的な疼痛マネジメントのためのアセスメントと援助方法について事例を提示し考えていく 全人的苦痛の緩和 精神的苦痛と霊的苦痛 (スピリチュアルペイン) のケアについて</p> <p>6 第1部 緩和ケアの実際 ・家族ケア ・遺族ケア (本多) 緩和ケア病棟における終末期患者の家族ケアと遺族ケアの実際について</p> <p>7 第1部 緩和的リハビリテーション 緩和医療におけるチームアプローチ (本多) 緩和ケア病棟における終末期患者のリハビリテーション 緩和ケア病棟におけるチーム医療 チームにおける看護の役割と多職種との役割と機能</p> <p>8 第1部 第一部のまとめ もし、あなたが今、肺がんの末期と診断された場合、何をどう考えどのようになりたいですか。また、残された時間をどのように過ごしたいですか。(死生観)</p> <p>9 第2部 悪性腫瘍のリハビリテーション (木村 朗) 悪性腫瘍 (ガン) のリハビリテーションについて 過去と現在を概観する</p> <p>10 第2部 緩和医療とリハ総論 (木村 朗) 緩和医療 (ケア) の歴史 リハビリテーションの理念と緩和医療の接点 ライフサイクルと終末期、生死学</p> <p>11 第2部 緩和医療とリハ 各論 1 (木村 朗) 疼痛緩和 疼痛の考え方1 鎮痛剤、除痛ラダー、鎮静について 終末期の理学療法介入の実際 死を目前にした人との会話について 緩和ケア病棟での事例 (障害別) を提示し、理学療法の役割について考える 緩和ケアにおけるチーム医療 心の苦痛 全人的苦痛の緩和 精神的苦痛と霊的苦痛 (スピリチュアルペイン) について 緩和ケア病棟における終末期患者の家族ケアと遺族ケアの実際について</p> <p>12 第2部 緩和医療とリハ 各論 2 (田辺) 終末期の理学療法介入の実際 疼痛の考え方2 死を目前にした人との会話について 緩和ケア病棟での事例 (障害別) を提示し、理学療法の役割について考える 緩和ケアにおけるチーム医療</p> <p>13 第2部 理学療法実技 (田辺) 体位排痰およびポジショニング 呼吸介助 浮腫に対するリンパマッサージ</p> <p>14 第2部 緩和医療とリハ 各論 3 (木村 朗) ALSとコミュニケーションエイド</p> <p>15 第2部 緩和医療とリハ 各論 4 (木村 朗) 看取り</p>	<p>齊藤 龍生</p> <p>小林 剛</p> <p>小林 剛</p> <p>本多</p> <p>本多</p> <p>本多</p> <p>本多</p> <p>本多</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>田辺 将也</p> <p>田辺 将也</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p>
科目の目的	<p>第一部では、緩和医療 (ケア) について、終末期に限らず医療のさまざまな分野で必要であることが認識され、癌医療における早期導入、慢性疾患への対応など応用範囲が広がりつつあることを中心に、がん患者への積極的な全人的医療として身体的・精神的・社会的・霊的苦痛の緩和、家族・遺族への支援についての理論や援助方法を学習する。また、チーム医療の必要性、緩和ケア・ホスピスケアの実際、チームにおける多職種の役割や機能について学習する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】を滋養する。</p> <p>第二部では、最初に悪性腫瘍 (ガン) のリハビリテーションについてその概要を示し、他疾患との</p>	

	相違、特徴などを理解する。実際の緩和医療の現場で活躍する理学療法士・作業療法士を講師に迎え、リハビリテーションの視点から、緩和医療・終末期医療の歴史と現状、ホスピス医療の実際について学習する。また、緩和医療における理学療法介入の技術を学習する。 DPとの関連：「知識・理解」に対応。
到達目標	緩和医療（ケア）の歴史と緩和医療（ケア）の基本的考えを理解する。緩和医療を取り巻くシステムと問題点を知る。緩和医療における治療理念と倫理的問題を含め治療方法および援助方法を理解する。終末期における心理的問題と家族ケア遺族ケアの重要性を理解する。緩和ケアにおけるチーム医療の必要性とチームにおける多職種の役割や機能について理解する。リハビリテーション医療と緩和医療の接点について理解する。疼痛について理解する。理学療法（作業療法士としても必要な）介入の実際について知る。地域・在宅での緩和医療におけるリハビリテーション介入の実際を知る。学部カリキュラムポリシー4、及び学科では3に該当するポリシーに含まれることを理解する。
関連科目	関連し合う科目－生命倫理、地域社会学、臨床心理学、リハビリテーション工学、栄養学、カウンセリング、社会福祉・地域サービス論、リハビリテーション関連領域論 この科目が基礎となる科目－理学療法管理学
成績評価方法・基準	レポート50%、授業中の課題25%、共通試験25%（5月29日訂正）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	生と死ということについて、各自考えておくこと。90分以上を目安とする。準備学習時間の設定が困難である。
教科書	教科書 指定せず
参考書	参考書 Elisabeth Kubler-Ross：死ぬ瞬間-死とその過程について（中公文庫）．中央公論新社. 石飛 幸三：「平穏死」のすすめ 口から食べられなくなったらどうしますか．講談社 聖路加国際病院看護部緩和ケア検討会症状マネジメントグループ：がん疼痛マネジメントマニュアル．医学書院 資料の配布は講義前にAAAなどでダウンロードするものについて告示する。
オフィス・アワー	火or水12:10～12:50(木村研究室)
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-13-A-a～i,《専門基礎》-II-13-B-a～i,《専門基礎》-II-13-C-a～i,《専門基礎》-II-13-D-a～i,《専門基礎》-II-13-E-a～i,《専門基礎》-II-14-A-k,《専門基礎》-II-14-B-k,《専門基礎》-II-14-C-k,《専門基礎》-II-14-D-k,《専門基礎》-II-14-E-k
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。
ナンバリング	PFj-303

講義科目名称： リハビリテーション概論

授業コード： 4P073

英文科目名称： Introduction to Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	村田 和香	白坂 康俊	

授業形態	講義14回、グループディスカッション1回		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション リハビリテーションを取り巻く知識の整理 障害学、クライアント中心、健康、生活	村田 和香
	第2回	リハビリテーションの定義の変遷 歴史的変遷、定義と目的	佐藤 満
	第3回	病気と障害 病気とは、障害とは	佐藤 満
	第4回	障害のとらえ方 国際疾病分類（ICD）から国際障害分類（ICDH）、そして国際生活機能分類（ICF）へ	佐藤 満
	第5回	人間の活動と発達 発達とは、ライフサイクル、ノーマライゼーション、発達障害	佐藤 満
	第6回	リハビリテーションの諸領域 医学的・教育・職業・社会的・地域リハビリテーション、地域包括ケアシステム	佐藤 満
	第7回	リハビリテーションの流れと分野1 医療現場におけるリハビリテーション、急性期、回復期、生活期、終末期、理学療法	佐藤 満
	第8回	リハビリテーションの流れと分野2 地域リハビリテーション、保健・介護・福祉分野との連携、生活、作業療法	村田 和香
	第9回	自分らしく生きる 社会参加、社会貢献	村田 和香
	第10回	就労支援 職業的リハビリテーション、障害者雇用	村田 和香
	第11回	人生をまとめる 老年期・終末期 加齢と老化の視点、人生100年時代の課題	村田 和香
	第12回	言語障害・聴覚障害・コミュニケーションの障害 言語障害と生活・参加	白坂 康俊
	第13回	食の楽しみと摂食・嚥下障害 QOLと人権確保	白坂 康俊
	第14回	リハビリテーションとチーム医療 言語聴覚療法の役割と連携について チームアプローチにおけるコミュニケーション	白坂 康俊
	第15回	社会参加を支援する意味 グループディスカッション 社会参加、社会貢献、生活の意味	村田 和香
科目の目的	本講義では、リハビリテーションの理念と原則を踏まえて、医学および社会における包括的なリハビリテーション、ならびに障害学の基本概念を習得することを目標とする。理学療法士・作業療法士として必要な障害学の内容と評価・治療方法の要点、国際生活機能分類（ICF）、リハビリテーションのプロセス、各専門職とリハビリテーションチーム医療のあり方、さらには保健・福祉行政における社会的資源とリハビリテーションの関わり等についての基礎知識を理解する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	リハビリテーションの基本理念と原則を理解し、障害の概念と分類、リハビリテーションの諸相とその過程、リハビリテーションの進め方、障害と心理、さらにはリハビリテーション障害学の基礎、そして保健医療福祉制度・関係法規とリハビリテーションとの関連について獲得する。具体的には下記の通りである。 ①リハビリテーションの概念および定義を説明することができる。 ②リハビリテーションの歴史を説明することができる。 ③国際生活機能分類（ICF）を説明できる。 ④リハビリテーションの多職種連携の重要性を説明できる。 ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の果たす役割を説明できる。		
関連科目	理学療法概論、チーム医療とリハビリテーション、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	定期試験（100%）：到達目標の達成程度を確認する筆記試験を行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は各回の項目について配布資料・その他各種メディアを通じて自分なりの問題意識を抱き、復習は講義内容のレビューを行い疑問点を解消して自分の言葉で平易に正しく説明できるようにすること。 必要な学習時間（予習と復習）の目安は概ね60分程度である		
教科書	特に定めず、講義資料を活用する。		

	その他講義内容により資料等配布有り。
参考書	中村隆一編「入門リハビリテーション概論（第7版補訂）」（医歯薬出版）
オフィス・アワー	講義当日18時まで。それ以外はアポイントメント取得の上、研究室で。
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-1-A～C, 《専門基礎》-Ⅱ-4-A-a, 《専門基礎》-Ⅱ-4-B-b～e, 《専門基礎》-Ⅱ-4-D～H, 《専門基礎》-Ⅲ-1-C～D, 《専門基礎》-Ⅲ-2-A～F
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	授業内で提示した課題について、グループディスカッションを行う
ナンバリング	PFk-101

講義科目名称： チーム医療とリハビリテーション

授業コード： 4P074

英文科目名称： Team Approach to Health Care and Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資	浅田・加茂 三浦・丹下	村田・馬場	岡田・神山

授業形態	講義（3）、演習（5）		担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 総論（講義） チーム・アプローチの必要性、保健医療チームの特徴、チームのタイプ</p> <p>第2回 リハビリテーション・チームの役割（講義） 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割</p> <p>第3回 グループ・ワークについて（講義） グループ課題情報共有、グループ分け</p> <p>第4～7回 グループワーク（演習4回） 課題を担当するグループを決定し、グループでの役割分担、情報収集、分析、ディスカッション、発表準備を行う。</p> <p>第8回 グループ発表（演習） グループ・ワークの結果をまとめ、その学習成果をポスター等により発表し、ディスカッションを行う。</p>	<p>村田・岡崎・神山</p> <p>神山・岡崎・馬場</p> <p>岡崎・神山・馬場</p> <p>岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p> <p>岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p>	
科目の目的	リハビリテーション学部のディプロマ・ポリシーで謳われている「多様化する地域社会の諸問題を理解し、多職種と連携してリハビリテーションを実践できる能力」を目指し、リハビリテーション学部の3学科の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。「リハビリテーション概論」の学修に基づき、学科横断的に編成するグループによる課題解決の過程を通して、チームの概念、チームワークの難しさと効果、リーダーシップ、他者理解の上での交流の在り方、組織管理について学修する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	<p>①チーム医療の意味を説明できる。</p> <p>②リハビリテーション・チームの役割を説明できる。</p> <p>③グループ・ワークに積極的に参加することができる。</p> <p>④他者の意見を聞くこと、自らの意見を話すことができる。</p>		
関連科目	多職種理解と連携、リハビリテーション概論、理学療法概論、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	グループ・ワークの発表（50%）およびディスカッションを含めた課題をレポートにまとめる（50%）。レポートのフィードバックは学科担当教員が行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容、およびグループでの作業を理解し、積極的にグループ・ワークに参加すること。準備学習に必要な時間の目安は180分程度である。		
教科書	特に定めない。		
参考書	特に定めない。		
オフィス・アワー	講義担当教員：水曜日12：00-13：00 各研究室にて グループワーク担当教員：水曜日12：00-13：00 各研究室にて		
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-1-B-a, 《専門基礎》-III-1-A-d		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	5回の演習では、グループに分かれ与えられた課題を基に、能動的にグループワークを実施する。		
ナンバリング	PFk-102		

講義科目名称： 臨床心理学

授業コード： 4P075

英文科目名称： Clinical Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
伊藤 栞			

授業形態	講義（一部ワークやグループワークを行う）		担当者
授業計画	第1回	臨床心理学とは何か 臨床心理学とは、こころをよりよい状態にすることを旨とし、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な分野である。本講義では、臨床心理学の歴史や構造について学ぶ。（教科書第1章）	伊藤 栞
	第2回	心理アセスメントとは 臨床心理アセスメントは、対象となる事例の心理的側面に関する情報（データ）を収集し、その情報を統合し、事例の心理的問題についての総合的な査定を行う作業である。臨床心理アセスメントが精神医学的診断と同一のものとして混同されることがあるが、本質的には臨床心理アセスメントは精神医学的診断とは異なる特徴を持っている。本講義では、臨床心理アセスメントの技法について学び、精神医学的診断との違いについて理解を深める。（教科書第2章）	伊藤 栞
	第3回	心理検査 心理アセスメントの一つである心理検査とは何か、どんな検査があるのかについて知る。また、臨床場面での心理検査の実際について事例を通じて理解するとともに、被検査者体験をし（予定）、理解を深める。（教科書第3章）	伊藤 栞
	第4回	心理カウンセリング 臨床において面接は心理アセスメントと不可分の基本的な専門行為であり、カウンセリングまたは心理療法と称されることが多い。本講義では、心理カウンセリングを面接の基本と位置づけてその要諦を概説する。（教科書第4章）	伊藤 栞
	第5回	心理療法1 心理療法は精神分析の開祖フロイト（Freud, S.）を出発点としている。本講義では、三大心理療法の一つである、精神分析療法の概要を説明する。精神分析療法における理論や基本的な考え方について理解する。（教科書第4章）	伊藤 栞
	第6回	心理療法2 三大心理療法の一つである、行動療法および認知・行動療法の概要を説明する。行動療法および認知・行動療法における理論や基本的な考え方について理解する。（教科書第5章）	伊藤 栞
	第7回	心理療法3 三大心理療法の一つである、来談者中心療法の概要を説明する。来談者中心療法における理論や基本的な考え方について理解する。（教科書第5章）	伊藤 栞
	第8回	日本が発祥の心理療法 日本発祥の独自の心理療法である、内観療法、森田療法、臨床動作法について、それぞれの技法の特徴と、その治療機序について知る。（教科書第6章）	伊藤 栞
	第9回	家族療法、集団心理療法、臨床心理的地域援助 個別ではなく集団を対象とした介入について知る。家族や地域への介入では、その対象が2人以上の集団であり、社会心理学の知見に見られるように、集団のなかの個人は集団の影響を重層的に受ける。そこでクライアントを生活者としてみる場合における、集団を社会システムととらえてクライアントを理解しようとする方法について学ぶ。（教科書第7章）	伊藤 栞
	第10回	臨床心理学をとりまく概念 臨床心理学の取り扱う範囲は広がりをもってきている。そのような状況ではあるが、臨床心理学の基本的なところは、大きくは異ならないといえよう。本講義では、臨床心理学での基本的なテーマを具体的なエピソードを混じえながら、取りあげ、臨床心理学への理解を深めることを目的とする。（教科書第8章）	伊藤 栞
	第11回	子どもをとりまく問題 子どもをとりまく問題として、発達障害、不登校などを取りあげ、これらの問題が乳幼児期・児童期という発達段階にどのように関連しながら現れてくるのか、さらにその対応について理解を深める。（教科書第9章）	伊藤 栞
	第12回	思春期・青年期をとりまく問題 思春期・青年期をとりまく問題として、摂食障害、非行などを取りあげ、これらの問題が思春期・青年期という発達段階にどのように関連しながら現れてくるのか、さらにその対応について理解を深める。（教科書第10章）	伊藤 栞

	第13回 成人期をとりまく問題 成人期は自分と他者のために、居場所を安定して維持することに取り組まねばならない時期であり、この時期におけるこころの問題について理解を深める。(教科書第11章)	伊藤 栞
	第14回 高齢期をとりまく問題 高齢期の身体・心理・社会的特徴について生物・心理・社会モデルに基づいて理解する。そのうえで、この時期におけるこころの問題について知るとともに、どのような心理支援が行われているのか理解を深める。(教科書第12章)	伊藤 栞
	第15回 臨床心理学の学習と倫理・法律、今後に向けて これまでの講義を通して学んだ知識や身に着けた技法について振り返り、自らの専門にどのように活かしていくかを検討する。(教科書第13章)	伊藤 栞
科目の目的	臨床心理学とは、こころをより良い状態に導くために、心理学の理論や知識そして心理学的技法を用いて専門的援助を行う心理学の応用的な一分野である。本講義では、臨床心理学の基礎について理解し、保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得する。なお、第12・13回目の講義は初級バラスポーツ指導員の基準カリキュラム「各障がいの理解(精神障がい)」に該当する(講義実施時間は合計3.0時間)。 ディプロマポリシー:【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 臨床心理学で用いられる基本的な心理支援の理論と方法を説明することができる。 2. 臨床心理学で対象となる悩みや障害について、その特徴や心理支援について説明することができる。 3. 保健医療領域におけるサービスに必要な知識と基礎的な技術を習得し、対人支援に活用することができる。 4. 治療場面における患者の心理と患者とのコミュニケーションの方法について理解を深め、患者と良好な関係を築けるようになる。	
関連科目	【教養・共通基盤科目群】心理学, 教育学, 教育心理学, 生命倫理, 哲学, 人間と宗教, 社会学, 生活文化と医療, 大学の学び入門, 大学の学び-専門への誘い-, 多職種理解と連携 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ, 発達心理学, 公衆衛生学, 保健統計, カウンセリング 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ, 公衆衛生学, 保健統計, 人間関係・コミュニケーション論 【専門科目群】全科目	
成績評価方法・基準	定期試験(レポート形式・55%)に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価(45%)を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次の講義の冒頭に行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書の該当章を読み、どのような内容について学ぶのか事前におさえておく。不明な点や気になる点があれば、授業時に理解がすすむようにノートなどにまとめるなど準備しておく。予習時間は45分程度。	
教科書	横田正夫(編)(2016)「ポテンシャル臨床心理学」サイエンス社	
参考書	内山靖・藤井浩美・立石雅子(編)(2020)「リハベーシック心理学・臨床心理学」医歯薬出版株式会社	
オフィス・アワー	講義の前夜	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-5-A~D《専門》-Ⅰ-3-E~F	
履修条件・履修上の注意	講義中の私語、スマートフォン・携帯電話の使用、講義と関係のない作業(他の科目の学習等)は禁止します。注意しても止めない場合や、それらの行為が頻回に見られる場合は退室を命じ、その回の講義の出席を認めない場合もあります。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施する	
ナンバリング	PFk-201	

講義科目名称： 安全管理

授業コード： 4P076

英文科目名称： Security Management

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田村 遵一			

授業形態	講義11回 演習4回		担当者
授業計画	第1回	医療安全対策（1） 安全管理に関する諸制度・法律・規範など	田村遵一
	第2回	医療安全対策（2） 理学療法士が守るべき法律や規範など	田村遵一
	第3回	医療安全対策（3） 患者の権利擁護・医療倫理など	田村遵一
	第4回	外部講師講演（1） 世界保健機関（WHO）における医療（患者）安全管理の動向と方向性	田村遵一
	第5回	医療安全対策各論（1） ヒューマンエラー、ハインリッヒの法則	田村遵一
	第6回	医療安全対策各論（2） インシデントアクシデントレポート総論/各論	田村遵一
	第7回	医療安全対策各論（3） リハビリテーション医療における安全管理・推進のためのガイドライン	田村遵一
	第8回	医療安全対策各論（4） 理学療法士の職場と安全管理、障害者スポーツでの安全管理	田村遵一
	第9回	危険予知トレーニング（1） 成人例での実習	田村遵一
	第10回	臨床とリハビリテーション（1） 臨床的な諸問題とリハビリテーション医療との関連演習（1）	田村遵一
	第11回	医療安全対策各論（5） 個人情報、インフォームドコンセントなど	田村遵一
	第12回	外部講師講演（2） 群馬県における医療監視の実際	田村遵一
	第13回	危険予知トレーニング（2） 小児例での実習	田村遵一
	第14回	臨床とリハビリテーション（2） 臨床的な諸問題とリハビリテーション医療との関連演習（2）	田村遵一
	第15回	安全管理講義のまとめ 医療人としての態度を含む総まとめ	田村遵一
科目の目的	医療を取り巻く環境の変化に伴い医療提供者として安全で良質なサービスの提供を追求しなければならない。医療における安全管理は、患者を守るだけでなくサービスを提供する職員の安全を守ることでもある。理学療法士として何をなすべきかを考え、エラーを最大限回避することができるようなシステムを構築することが重要である。安全な職場環境を作るための知識や態度を身につけることを目的とする。これまで身につけた理学療法士としての知識、技術、態度の統合を図ることをねらいとしている。【思考・判断】		
到達目標	1. 「人は誰でも間違える」ことを理解する 2. 医療だけでなく生活環境に潜む「危険」を予測した、回避行動を理解する 3. ニアミス进行分析し、予防行動の必要性を理解する 4. 医療事故被害者の思いを想像し、医療人としての態度を理解する		
関連科目	理学療法概論 理学療法管理学 法学		
成績評価方法・基準	授業時間内にテーマを与えて小論文形式で自分の考え方を解答する試験（80％）を主に、日頃の講義で提出を求めるコメントシート（20％）を加味して、総合判断する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	2時限続けた講義であり、当日の講義に備えて参考図書や配布資料を1時間予習し、授業後は復習1時間行うこと		
教科書	使用しない。授業ごとに資料を配布します。		
参考書	リハパーシック 安全管理学・救急医療学、内山 靖ほか 医歯薬出版		
オフィス・アワー	授業時間の前後（講義室にて）		
国家試験出題基準	【理学療法士】 《専門基礎》 III-1-A-abc		
履修条件・履修上の注意	単位取得後、「公益財団法人日本パラスポーツ協会」に申請することにより、初級パラスポーツ指導員の申請が可能になる科目である		

アクティブ・ラーニングの実施	特になし
ナンバリング	PFk-401

講義科目名称： 医療統計学

授業コード： 4P077

英文科目名称： Medical Statistics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	富田 浩		

授業形態	講義1-15コマと演習1-15コマ すべて講義と演習の併用		担当者
授業計画	第1回	計学のあらし データと集め方 統計学を学ぶ意味、データと集め方を理解する。	木村 朗
	第2回	1変数 1つの事柄を分析するための方法を理解する。平均・中央値・最頻値を理解する。	富田 浩
	第3回	分布の散布度 分布の散布度、不偏分散を理解する。	富田 浩
	第4回	母集団での平均値の推定 割合 母集団での平均値の推定、正規分布、割合2グループの母割合、母平均の差の検定	富田 浩
	第5回	2グループの母割合、母平均の差の検定 2グループの母割合、母平均の差の検定を理解する。	富田 浩
	第6回	母分散が等分散しないときの母平均の差の検定 母分散が等分散しないときの母平均差の検定を理解する。	富田 浩
	第7回	2変数についての解析 相関図 回帰直線と相関係数 順位データの相関係数 2変数についての解析 相関図 回帰直線と相関係数 順位データの相関係数を理解する。	富田 浩
	第8回	クロス表 クロス表とカイ二乗値を理解する。	富田 浩
	第9回	分散分析 分散分析 いくつかの要素の効果を判定するための方法を理解する。	富田 浩
	第10回	その他の分析方法 ノンパラメトリックによる検定 多変量解析 ノンパラメトリックによる検定 多変量解析のあらしを理解する。	富田 浩
	第11回	医療・疫学統計データの理解 分割表による検査と疾患データを用いた感度、特異度、尤度のあらしを理解する。	木村 朗
	第12回	コンピュータによる平均値および頻度に関する検定 RとRG、PCを活用し、t検定および χ^2 二乗検定を経験する。	木村 朗
	第13回	コンピュータによる回帰分析 RとRG、PCを活用し単回帰および重回帰分析を経験する。	木村 朗
	第14回	コンピュータによる分割表を用いた医療統計分析 実データを用いた医療統計に使われる分割表による代表値の信頼区間の利用方法を理解する。	木村 朗
	第15回	コンピュータによる医療統計分析の実際 研究論文を例にどのように医療統計を行っているのかを経験する。	木村 朗
科目の目的	医療に携わる者として、大学教養レベルの統計学の基本的な知識を身につけ、医療に関連する課題に対する正しい統計手法の適応について理解し、生涯にわたり医療における不確実な課題に統計学を応用できる態度を滋養すること。 DPに則した知識・理解に関して医療統計学の基本を学び「多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している」ようになるための知識と能力を身につけること。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】を滋養する。		
到達目標	1. 学生はデータの概念を説明できるようになること。 2. 学生は主な統計手法について説明できるようになること。 3. 学生は医療の課題で用いられる代表値と記述統計について統計検定3級程度の問題が解けるようになること。 4. 学生は分散分析、点推定、区間推定、検定について医療研究において頻出する適応例を挙げるができるようになること。 5. 学生は統計ソフトウェアRの基本的な操作をアシスタントツールの操作経験をすること。		
関連科目	情報処理、基礎統計、公衆衛生学、卒業研究		
成績評価方法・基準	期末時筆記テスト100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・シラバスに示された、初めて聞く単語について、書き出し、ネット等で可能な範囲で内容を理解できるようにしておくこと。予習にかかる目安の時間は微積・統計を高校で履修した者は予習30分、履修していない者は90分程度、授業中にPC操作が完了した者の復習目安時間は30分、それ以上かかった者は本人の能力に応じて60分から120分。 ・授業の課題として早稲田大学向後研究室の統計学e-learningコンテンツからt検定及び単回帰式の例題を解くこと。		

教科書	教科書：ナースのための統計学. 医歯薬出版
参考書	参考サイト：kimuakilabo、早稲田大学向後研究室統計学集サイト、統計学入門 東大出版会
オフィス・アワー	講義日の12:10~12:50(木村朗研究室・富田研究室)
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-4-A-c, 《専門基礎》-Ⅲ-1-A-f, 《専門》-Ⅰ-1-G
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	後半1/3において、課題を提示するので、学生自らがそこまで学習した内容を再構築して解決方法を提案するものを実施する。
ナンバリング	PFk-202

講義科目名称： 社会福祉・地域サービス論

授業コード： 4P078

英文科目名称： Social Welfare and Community Services

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
金谷 春代	魚屋 真佐江	坂井 勉	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 社会福祉とは 自己紹介、授業目的、今後の授業の進め方、テキスト説明などオリエンテーション テキストP2からP12まで	金谷 春代
	第2回 社会福祉の歩み テキストP13からP28まで	金谷 春代
	第3回 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 テキストP29からP44まで	金谷 春代
	第4回 子どもと家庭福祉 テキストP48からP69まで	坂井 勉
	第5回 障害者福祉 テキストP70からP87まで	魚屋 真佐江
	第6回 高齢者福祉 テキストP89からP102まで	魚屋 真佐江
	第7回 介護保険と介護保険制度 テキストP104からP120まで	魚屋 真佐江
	第8回 低所得者福祉 テキストP121からP134まで	坂井 勉
	第9回 地域福祉 テキストP135からP149まで	坂井 勉
	第10回 医療福祉・精神保健福祉 テキストP152からP177まで	魚屋 真佐江
	第11回 社会福祉施設の役割・社会福祉を担う人々 テキストP180からP199まで	坂井 勉
	第12回 相談援助の目的と方法 テキストP200からP208まで	坂井 勉
	第13回 社会福祉の実践事例 テキストP213からP220まで	魚屋 真佐江
	第14回 保健医療福祉に関する諸問題 テキストP222からP227まで	金谷 春代
	第15回 まとめ	金谷 春代
科目の目的	社会福祉的考え方の重要性、人を相手とする職業で必要な人権や権利擁護意識、在宅生活を支える地域包括ケアシステム制度や社会保障制度の理解、地域連携・多職種連携など「連携」の意義について学ぶ。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 社会福祉全般について理解すること。 2. 人を支援するプロフェッショナルになる自覚を促す。	
関連科目	なし	
成績評価方法・基準	全講義終了後の筆記試験のみ (100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に次回講義部分を熟読しておくこと。 1コマ約1時間	
教科書	「コメディカルのための社会福祉概論第5版（講談社出版）」	
参考書	随時配付	
オフィス・アワー	講義終了後	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅲ-1-C~D, 《専門》-Ⅱ-4-A	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

ナンバリング

PFk-203

講義科目名称： 理学療法概論

授業コード： 4P079

英文科目名称： Introduction to Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	木村 朗		

授業形態	講義（14）・演習（1）	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション・イントロ 講義概要の説明・理学療法を知ったきっかけを話題としたグループワーク（GW）</p> <p>第2回 理学療法とは1 「理学療法・士とは何か」理学療法の定義と歴史、ルーツの解説 「治らないものを治すとは？」</p> <p>第3回 理学療法とは2 理学療法の役割と職域、「理学療法に求められていることは何か」身近な話題からGW</p> <p>第4回 理学療法とは3 理学療法の対象の理解・身体の不自由な人は、どのように社会と歴史を生きてきたか（小説やドキュメンタリー、映画から感じる障害と考える障害を知る）</p> <p>第5回 理学療法とは4 「障害とは」（社会の中の理学療法、リハビリテーションの中での理学療法の位置づけ）</p> <p>第6回 理学療法と社会の関わり 各種理学療法技術の歴史・理学療法を作ってきた人々1・世界の理学療法1 GW</p> <p>第7回 理学療法技術の歩み1 理学療法を作ってきた人々2・世界の理学療法2 GW</p> <p>第8回 理学療法技術の歩み2 関連職種の法律と理学療法士法（医師法・保助看法・理学療法士及び作業療法士法）・公衆衛生と理学療法</p> <p>第9回 理学療法と法律 理学療法の法規 理学療法の実際（関連施設、学内の理学療法士と語る）</p> <p>第10回 理学療法と管理・チームワーク 理学療法士に求められる倫理観（劇画、映像等）を基に語るGW</p> <p>第11回 理学療法士のルーツ1 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。</p> <p>第12回 理学療法士のルーツ2 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。</p> <p>第13回 理学療法士のルーツ3 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。</p> <p>第14回 理学療法士のルーツ4 理学療法（学）の歩み、理学療法学徒として知っておくべき治療家の資料を収集しディスカッションを行う。</p> <p>第15回 理学療法の実際を知る（実践場面のPVを視聴する） 実践場面の視聴を通して感じたこと、考えたことを授業の最初に考えたことと比べ、話し合う</p>	<p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p>
科目の目的	<p>理学療法士を目指す学生にとって、理学療法を俯瞰し、現在、過去未来の我が国の理学療法像のみならず、世界の理学療法を理解することで、生涯にわたり障害のもつ人の課題に取り組む態度を滋養すること。</p> <p>DP2 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術、</p> <p>DP3 地域に根差したリハビリテーションの必要性と多職種連携による問題解決の重要性の理解、</p> <p>DP4 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力、に対応。</p>	
到達目標	<p>1. 学生は理学療法の定義、対象、業務、歴史、保健医療福祉と社会的役割の点から理学療法を説明できるようになること。</p> <p>2. 学生は理学療法技術の構成要素が言えるようになること。</p> <p>3. 学生は今後の学習に必要な学習内容を説明できるようになること。</p>	

	4. 学生はグループワークの中で自分の役割を果たし、かつ意見交換の記録を報告することができるようになること。 学部カリキュラムポリシー1.2. PT学科ポリシー1.2. に含まれる学修であることを理解する。
関連科目	リハビリテーション概論、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、日常生活活動学ほか
成績評価方法・基準	ジャーナル（毎回の講義の振り返り）の提出（10%）、プレゼンテーション（20%）、授業内確認テスト（約70%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義題目内容に対し、教科書・参考書の該当部分を読み、理解しづらい単語や概念をノートに記載し、調べておくこと。各回につき予習45分、復習45分を目安とする。
教科書	教科書：理学療法概論テキスト（第4版） 細田多穂他 南江堂
参考書	参考書：理学療法のルーツ 武富由雄 共同医書出版 参考書：理学療法原論 日本理学療法士協会 資料の配布は講義前にAAAなどでダウンロードするものについて告示する。
オフィス・アワー	火or水12:10～12:50(木村研究室)
国家試験出題基準	《専門》- I -1-A～C, 《専門》- I -1-D-a, 《専門》- I -1-H, 《専門》- I -2-A～G
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける
ナンバリング	PS1-101

講義科目名称： 障害と理学療法

授業コード： 4P080

英文科目名称： Disability and Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満			

授業形態	講義15回	担当者
授業計画	<p>第1回 疾病の帰結として見た障害・健康の構成要素から見た障害 障害の多面的なとらえ方を理学療法の観点から理解する</p> <p>第2回 医学モデルと社会モデル 個人の問題としての障害と社会の問題としての障害の観点を理解する</p> <p>第3回 身体構造に関する生活機能と障害 生活機能としての身体構造を理学療法の観点から理解する</p> <p>第4回 心身機能に関する生活機能と障害 生活機能としての心身機能を理学療法の観点から理解する</p> <p>第5回 活動に関する生活機能と障害 生活機能としての活動を理学療法の観点から理解する</p> <p>第6回 参加に関する生活機能と障害 生活機能としての参加を理学療法の観点から理解する</p> <p>第7回 環境因子と生活機能および障害 生活機能の背景因子としての環境を理学療法の観点から理解する</p> <p>第8回 個人因子と生活機能および障害 生活機能の背景因子としての個人的因子を理学療法の観点から理解する</p> <p>第9回 ICFを用いた理学療法評価と課題設定 ICFコアセットの概念と理学療法の観点から見た活用方法を理解する</p> <p>第10回 身体構造と生活機能分類 身体構造に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する</p> <p>第11回 心身機能と生活機能分類 心身機能に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する</p> <p>第12回 活動と生活機能分類 活動に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する</p> <p>第13回 参加と生活機能分類 参加に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する</p> <p>第14回 環境因子と生活機能分類 環境に関する生活機能分類の構成を理学療法の観点から理解する</p> <p>第15回 小児・高齢者にとっての生活機能 多様な年代における生活機能のとらえ方を理学療法の観点から理解する</p>	<p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p>
科目の目的	<p>障害の概念をICF（国際生活機能分類）で理解する。理学療法の対象者として代表的な疾患群（骨関節障害・神経系障害・呼吸循環代謝系障害）での障害をICFの第2レベル、第3レベルの分類で理解する。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】</p> <p>【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. ICFの生活機能各ドメインと因子の概念図の関係性を説明できる</p> <p>2. ICFの生活機能各ドメインと因子と内容と特徴を説明できる</p> <p>3. 心身機能、身体構造、活動と参加、環境因子の第2レベル分類を用いて模擬症例の状態を説明できる</p> <p>4. ICFコアセットを用いて模擬症例の状態を説明できる</p>	
関連科目	<p>基礎となる科目・・・理学療法概論</p> <p>将来繋がる科目・・・全ての専門科目</p>	
成績評価方法・基準	提出課題40%+試験60%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	ICFテキストの各回該当部分の復習と事前学習（あわせて45分程度）	
教科書	教科書；ICF国際生活機能分類－国際障害分類改訂版．障害者福祉研究会（編）、中央法規出版	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	日時:講義日の17:50~18:20 場所:1号館6階611研究室	
国家試験出題基準	《専門》- I -1-D-b~c, 《専門》- I -1-E~F, 《専門》- I -3-A~D	
履修条件・履修上の注意	特になし	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PS1-102

講義科目名称： 理学療法総合演習

授業コード： 4P081

英文科目名称： General Practice of Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
目黒 力	理学療法学科教員全員		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 解剖学 解剖学の知識を総括する	目黒力、富田浩
	第2回 生理学 生理学の知識を総括する	目黒力、富田浩、洞口貴弘
	第3回 運動学 運動学の知識を総括する	目黒力、富田浩、高橋正明
	第4回 内科学 内科学の知識を総括する	目黒力、富田浩、宗宮真
	第5回 外科学 外科学の知識を総括する	目黒力、富田浩、城下貴司
	第6回 臨床心理学 臨床心理学の知識を総括する	目黒力、富田浩、岡崎大資
	第7回 薬理学、精神医学、人間発達学 その他の基礎・臨床医学の知識を総括する	目黒力、富田浩、橋口優
	第8回 基礎理学療法学 基礎理学療法学の知識を総括する	目黒力、富田浩、浅田春美
	第9回 基礎理学療法学 基礎理学療法学の知識を総括する	目黒力、富田浩、鈴木学
	第10回 理学療法評価学 理学療法評価学の知識を総括する	目黒力、富田浩、加茂智彦
	第11回 理学療法評価学 理学療法評価学の知識を総括する	目黒力、富田浩、田辺将也、林翔太
	第12回 理学療法治療学 理学療法治療学（運動療法）の知識を総括する	目黒力、富田浩、黒川望
	第13回 理学療法治療学 理学療法学（内部理学療法、地域理学療法学など）の知識を総括する	目黒力、富田浩、木村朗、佐藤満
	第14回 模擬試験1回目 基礎医学系模擬試験を実施し講義内容をリファレンスする	目黒力、富田浩、衣川隆
	第15回 模擬試験2回目 理学療法模擬試験を実施し講義内容をリファレンスする	目黒力、富田浩、岩城翔平
科目の目的	4年間大学と臨床実習などで学んだ知識を総括し、卒業後に備え理学療法学の全般的総合的探求を行う 1. 理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養	

	2. 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術 3. 地域に根差したリハビリテーションの必要性と多職種連携による問題解決の重要性の理解 4. 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力
到達目標	理学療法士国家試験に合格することを目標としアクティブラーニングを用いより実践的に知識を活用することを目標とする
関連科目	解剖学、生理学、運動学、臨床医学全般、理学療法診断学、日常生活活動学 治療学全般
成績評価方法・基準	講義内課題（100%）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予復習併せて時間前後1時間～2時間程度
教科書	なし
参考書	なし
オフィス・アワー	各担当者の講義日12：10～13：00研究室にて
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	履修前の全必修単位修得済みを条件とする。講義などはオムニパスの形式をとるため講師は都度発表する
アクティブ・ラーニングの実施	グループ討議を主に実施する予定である
ナンバリング	PS1-401
実務経験のある教員による授業	
実務経験	目黒 力（理学療法士）
授業の概要	これまでの学習した理学療法の対象、評価法、介入法について、総合臨床実習Ⅰ及びⅡでの経験を基に、今後職業として実践する理学療法について整理・統合するとともに、専門職としての理学療法のある方、理学療法研究の意味を確認する。

講義科目名称： 理学療法研究論

授業コード： 4P082

英文科目名称： Physiotherapy Research

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	佐藤 満	田辺 将也	

授業形態	講義12コマと演習3コマ		担当者
授業計画	第1回	研究の必要性（木村）【講義】 理学療法の研究の必要性、理学療法における有名な研究、研究における倫理、理学療法で用いられる4大研究手法	木村 朗
	第2回	理学療法研究入門 1（木村）【演習】 実験研究入門 データを取得し、統計をとることでわかることを経験する	木村 朗
	第3回	理学療法研究入門 2（木村）【講義】 疫学研究入門 記述疫学と分析疫学の相違点 観察研究	木村 朗
	第4回	理学療法研究入門 3（木村）【演習】 実験データに確率を適応する	木村 朗
	第5回	理学療法研究入門 4（佐藤）【演習】 定性的、質的研究における計画立案法、テーマの決定方法	佐藤 満
	第6回	調査研究基礎 1（佐藤）【講義】 質的研究のあらまし アンケート調査法、質問紙法	佐藤 満
	第7回	調査研究基礎2（佐藤）【講義】 SD法、質問一回答の作成法 データセットの作成法	佐藤 満
	第8回	調査研究基礎 3（佐藤）【講義】 調査研究におけるフィッシュボーンの見え方	佐藤 満
	第9回	調査研究基礎 4（田辺）【演習】 アンケート作成演習 1 テーマ設定 グループワーク	田辺 将也
	第10回	調査研究基礎 5（田辺）【演習】 アンケート作成演習 2 Rを活用した記述統計演習 重回帰分析演習	田辺 将也
	第11回	症例研究基礎 1（田辺）【講義】 症例研究とは シングルケーススタディ ケースシリーズスタディ	田辺 将也
	第12回	症例研究基礎2（田辺）【講義】 ケーススタディ（成功例と苦渋例）の具体例解説	田辺 将也
	第13回	疫学研究基礎 1（木村）【講義】 集団の健康特性を扱う学問としての疫学 疫学研究とは 疫学研究デザイン PICOの解説	木村 朗
	第14回	疫学研究基礎2（木村）【講義】 臨床医学、理学療法研究の読み方（研究疑問、疑問の構造化、オッズを算出し、判断を示す）	木村 朗
	第15回	研究リテラシー資源と活用法（木村）【演習】 本学 図書館 ネット活用方法など 研究の情報の収集方法、活用方法を学ぶ	木村 朗
科目の目的	理学療法における研究の意義を理解すること。 生涯にわたり理学療法の改良と人間の健康について探求心をもつこと。 DP1 理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養、 DP3 地域に根差したリハビリテーションの必要性和多職種連携による問題解決の重要性の理解、 DP4 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力、に対応		
到達目標	1. 学生は理学療法士が取り組むべき課題について、研究種別を理解し、それぞれの長所と短所、共有点と特異点が言えるようになること。 2. 学生は理学療法を介する健康課題をテーマとして、その問題の特性、要因について適切な種別を選択することができるようになること。 3. 学生は自ら興味をもった理学療法関連の研究論文を構造的に説明できるようになること。		
関連科目	運動学、臨床運動学、臨床心理学、理学療法概論、障害と理学療法、理学療法診断学、各系理学療法診断学・治療学、物理療法学、日常生活活動学		
成績評価方法・基準	試験(75%)、授業振り返りジャーナル(25%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義内容部分について、新しく目にした単語・概念・計算式等について、教科書およびWeb上で可能な限り調べ、ノートを準備の上、確認しておく。45分		
教科書	教科書：最新理学療法講座 理学療法研究論（医歯薬出版）		
参考書	特になし 講義の中で紹介する資料の配布は講義前にAAAなどでダウンロードするものについて告示する。		

オフィス・アワー	火or水12:10～12:50(木村研究室)、火or水12:10～12:50(田辺研究室：助教室)
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-4-A-c, 《専門》-I-2-H
履修条件・履修上の注意	演習時には充電を完了したPCを持参すること
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。
ナンバリング	PS1-301

講義科目名称： 障害者スポーツ・レクリエーション論

授業コード： 4P083

英文科目名称： Adapted Sports and Recreation Therapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義（8コマ）、演習（7コマ）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション、概論：障がい者スポーツとは（講義） 授業の紹介	城下
	第2回	概論：障がい者スポーツとは（講義）	城下
	第3回	障がい者スポーツに関する諸施策（講義） 関連法律、障害者手帳とその判定などの福祉制度と障がい者スポーツの位置づけ（障がい者スポーツに関する施策）とそれに関わる施策の動向について学ぶ。	城下
	第4回	障がい者スポーツの意義と理念（講義） 障がい者スポーツの定義や社会的役割を学ぶ上で、障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解する。	城下
	第5～7回	各障がいの理解（講義） 各障がいの主な特性や、実際のスポーツ活動場面で活かせる各障がいに関する知識と指導上の配慮点を身につける。	城下
	第8回	障がい者スポーツ推進の取り組み（講義） 障がい者スポーツ指導者制度を紹介し、資格を取得した後に、地域で行われている教室や大会等へ積極的に関わられるように、地域の障がい者スポーツ振興の現状について学ぶ。	城下
	第9回	全国障害者スポーツ大会概要（講義） 全国障害者スポーツ大会の基本理念など大会の概要及び大会開催の目的や意義について学び、大会がスポーツ未経験者や初心者のスポーツ参加の動機づけになっていること、地域のスポーツ振興を進める契機となっていることを学ぶ。	城下
	第10回	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質（講義） ボランティアとは、その魅力、心得について学ぶ→障害者スポーツ指導者制度を紹介する	城下
	第11, 12回	障がいに応じたスポーツの工夫（演習） 障害に応じたスポーツの工夫を考え実技をする 例）車椅子に乗車してのボールパスなど	城下
	第13～15回	障がい者との交流（演習） シドニーパラリンピック銅メダリスト塚本京子さん上村知佳さんをゲストスピーカーに招聘し交流をする	城下
科目の目的	「障害のない人はスポーツをした方がよいが、障害がある人はスポーツをしなければならない」というHeinz Freiの言葉からも障害者にとってスポーツは必修である、その障がい者のためのスポーツを理学療法の立場から、その基地知識を学ぶ。 *ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	各々の障害レベルに合わせたスポーツ指導を体験する		
関連科目	【教養科目群】心理学、生命倫理、大学の学び入門 【専門基礎科目群】生理学Ⅰ・Ⅱ、人間発達学、神経内科学、精神医学、小児科学、リハビリテーション医学、リハビリテーション概論、臨床心理学、安全管理 【専門科目群】地域ボランティア活動論、運動機能系理学療法診断学演習、神経機能系理学療法診断学演習、内部機能系理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、脊髄疾患理学療法学演習、スポーツ理学療法学、神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ、神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ、内部機能系理学療法評価治療学演習、発達支援理学療法学、作業療法理論		
成績評価方法・基準	課題レポート100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に1時間（実時間45分）程度の学修時間が必要となる		
教科書	特になし。		
参考書	参考書：障害者スポーツ指導教本 初級・中級 新刊 株式会社ぎょうせい		

	参考書：全国障害者スポーツ大会競技規則集（解説付）公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00 場所：603研究室
国家試験出題基準	特になし
履修条件・履修上の注意	<p>ボランティア体験をレポートとするため、ボランティアに参加する意思がないものは履修しないこと。実技がある動きやすい服装で望むこと。下記単位を取得し、かつ授業を全て出席した場合、「公益財団法人日本障がい者スポーツ協会」に「障がい者スポーツ指導員初級」を申請、登録費用を納めることにより資格取得が可能となる。</p> <p>《取得要件科目》</p> <p>科目名，開講学年・学期，必修・選択</p> <p>「障害者スポーツ・レクリエーション論」，1学年・前期，選択</p> <p>「臨床心理学」，1学年・後期，必修</p> <p>「安全管理」，4学年・後期，必修</p>
アクティブ・ラーニングの実施	各種の身体障害の障がい者スポーツを体験学習をする。
ナンバリング	PS1-103

講義科目名称： 生体計測工学

授業コード： 4P084

英文科目名称： Biomeasurement Engineering

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
目黒 力	仲保 徹	富田 浩	

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 生体の何を測るのか／尺度水準と誤差 生体計測工学の定義と領域、生体を計測するにあたっての主体について学ぶ。データの持つ意味・性質や誤差について学ぶ。</p> <p>第2回 筋力に関わる基礎知識 筋活動や筋力の計測にあたり、理解すべき事柄について学ぶ</p> <p>第3回 筋電図 筋活動の計測法として筋電図とその見方について学ぶ</p> <p>第4回 筋力計測機器 等速性筋力評価訓練器と徒手筋力測定器について学ぶ</p> <p>第5回 重心動揺計 重心・足圧中心と重心動揺計について学ぶ</p> <p>第6回 三次元動作解析装置概論 動作解析とその手法ならびに測定手法について学ぶ</p> <p>第7回 三次元動作解析装置演習 1 現在用いられる最もポピュラーな手法である三次元動作解析装置について学ぶ</p> <p>第8回 三次元動作解析装置演習 2 実際に三次元動作解析装置を用いてどのように測定するかその手法を学ぶ</p>	<p>目黒</p> <p>富田</p> <p>富田</p> <p>富田</p> <p>富田</p> <p>仲保徹</p> <p>仲保徹</p> <p>仲保徹</p>
科目の目的	<p>医療の現場や基礎医学の授業・実習で使われるヒトの機能や形態を計測する機器の基本的な原理や使用方法を理解するために、対象から客観的な情報を抽出するために必要な基準と手法、代表的な人間の身体に関する物理量を取り上げ、これら諸量の生理学的意義と計測の目的、計測法の原理などについて学ぶ。</p> <p>1. 心身の障害の有無によらず、家族、多職種との適切な対人関係を作るコミュニケーション能力と協調性</p> <p>2. 複雑な人間行動を理解するために論理的に思考する科学的視点と対象者の個別で多様な生活を洞察する能力</p> <p>3. 求められる問題の解決に向けて、問いを立て続ける能力</p> <p>4. 作業療法学の発展と社会に貢献する活動や研究に主体的に従事しようとする姿勢</p>	
到達目標	計測はどのように自然を客観的に記述するかを考える基礎的な作業であり、事実仮説を検証するための定量的表現を与える作業である。本講では、代表的な人間の身体に関する物理量を取り上げ、これら諸量の生理学的意義と計測の目的、計測法の原理などについて理解する。	
関連科目	運動学 運動学実習 支援工学 臨床動作解析学	
成績評価方法・基準	筆記試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	資料と参考書による事前学習が望ましい。各回事前・事後学習あわせて180分程度。	
教科書	使用しない	
参考書	<p>「計測法入門」内山靖・小林武・間瀬教史</p> <p>「初学者のための生体機能の測り方」加藤 象二郎・大久保 堯夫（日本出版サービス）</p> <p>「First Stageシリーズ 電気・電子入門」日高邦彦・清水五男（実教出版）</p>	
オフィス・アワー	講義日12：10～12：50	
国家試験出題基準	<p>専門 II-3-C</p> <p>専門 IV-1-H</p>	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	演習問題の実施	
ナンバリング	PS1-302	

講義科目名称： 支援工学

授業コード： 4P085

英文科目名称： Wellbeing Science and Assistive Technology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
目黒 力			

授業形態	講義8回		担当者
授業計画	第1回	支援工学とは 支援工学をはなにか、世界はどのように取り組んでいるか、またそれに関わる領域について学ぶ	目黒
	第2回	車椅子 車いすを工学的に解析する手法について検討する	目黒
	第3回	電動車椅子 一般的な電動車いすの区分とその特徴について学ぶ	目黒
	第4回	福祉車両 障害者や高齢者が利用する車両とその特徴について学ぶ	目黒
	第5回	視・聴覚障害者に対するアプローチ 視覚・聴覚障害者に対するリハビリテーション工学の実際と課題を検討する	目黒
	第6回	義肢装具とシーティング 近年開発が著しい義肢装具とその最新状況と姿勢保持装置について学ぶ	目黒
	第7回	コミュニケーション機器他 コミュニケーション分野におけるリハビリテーション?学からのアプローチについて学ぶ	目黒
	第8回	私の考える支援機器（研究発表会） 学んだ事から各自興味をもった最新のリハビリテーション工学についてまとめる	目黒
科目の目的	支援工学とは、工学的手法をリハビリテーションに応用するものであり、その応用範囲はとても広く、リハビリテーションの評価、治療、装具、生活支援など様々なものに応用されている。本科目では、この中でも、身体機能の評価に用いられる工学的手法について扱い、利用できるようなことを目的とする。 1. 理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養 2. 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術 3. 地域に根差したリハビリテーションの必要性和多職種連携による問題解決の重要性の理解 4. 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力		
到達目標	高齢者・障害者に対する工学からのアプローチを理解し、その概要を理解する。		
関連科目	運動学 生活環境学 日常生活活動学		
成績評価方法・基準	講義内発表(50%) 課題提出 (50%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	シラバスに沿って予習すること。(15) 事前・事後学習あわせて180分程度		
教科書	教科書：使用しない		
参考書	参考書：リハビリテーション工学と福祉機器（リハビリテーションMOOK） 金原出版		
オフィス・アワー	講義日もしくは月曜日12：00～13：00 講義担当者の研究室にて		
国家試験出題基準	II-3-G-k		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	発表会を行う予定である		
ナンバリング	PS1-303		

講義科目名称： 国際理学療法学

授業コード： 4P086

英文科目名称： International Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
高橋 正明	橋口 優	黒川 望	

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス マレーシアマレーシア研修の意義と目的 わが国における理学療法教育の国際性</p> <p>第2回 徒手筋力検査法について英語の資料で学習 1</p> <p>第3回 徒手筋力検査法について英語の資料で学習 2</p> <p>第4回 徒手筋力検査法について英語の資料で学習 3</p> <p>第5回 PNFについて英語資料で学習 1</p> <p>第6回 PNFについて英語資料で学習 2</p> <p>第7回 税関を通るときに必要な英語 学生同士が英語でロールプレイ</p> <p>第8回 英語でプレゼンにチャレンジ</p>	<p>高橋正明 橋口優 黒川望</p> <p>高橋正明 橋口優 黒川望</p> <p>高橋正明 橋口優 黒川望</p> <p>高橋正明 橋口優 黒川望</p> <p>高橋正明 橋口優 黒川望</p> <p>高橋正明 橋口優 黒川望</p> <p>高橋正明 橋口優 黒川望</p> <p>高橋正明 橋口優 黒川望</p>
科目の目的	<p>大学の一つの目的「国際社会へ貢献できる人材育成」に基づき、世界に通じる豊かな人間性と幅広い教養、国際的諸問題への関心と国際的に通じる専門知識、また異文化、他言語でのコミュニケーション能力の向上に資するために海外研修プログラムが組まれている。通訳無しで現地の学生や教師と直接交流するプログラムの場合は、たとえ片言の英語でも専門用語を使ってコミュニケーションを図ることが肝心で、それを実現するために科目「国際理学療法」を設けた。【基本的知識と技術】 【自己研鑽と探求力】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネイティブが理解できる英語の発音ができる。 2. 理学療法にかかわる基本的な専門用語を英語で言うことができる。 3. 英語で他国の理学療法士と交流がすることができる。 4. 理学療法士にとって英語が重要であることを説明できる。 	
関連科目	英語リーディング、医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話	
成績評価方法・基準	英語でのプレゼンを教員が評価する(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習、復習を合わせて90分の時間が必要である。	
教科書	プリントを適宜配付する	
参考書	「リハビリテーション英会話」三木貴弘、他 メディカルビュー	
オフィス・アワー	高橋と橋口ともに授業開講日の昼休み(12:10-12:50)	
国家試験出題基準	国家試験の対象外	
履修条件・履修上の注意	英語の音読は何度も繰り返して慣れることが必要	
アクティブ・ラー	英語でのコミュニケーションを図り、それを学生同志でコメントし合う。	

ニングの実施	
ナンバリング	PS1-201

講義科目名称： 事例研究法

授業コード： 4P087

英文科目名称： Case Study Methods

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
村田 和香			

授業形態	講義（2）および演習（6）		担当者
授業計画	第1回	事例研究と事例報告 エビデンスを使う、伝える、作る	村田和香
	第2回	事例分析 理論背景とリーズニング	村田和香
	第3回	事例分析 1	村田和香
	第4回	事例分析 2	村田和香
	第5回	事例分析 3	村田和香
	第6回	事例分析と発表 1	村田和香
	第7回	事例分析と発表 2	村田和香
	第8回	事例分析と発表 3	村田和香
科目の目的	事例研究および事例報告の読み方について学んだ後、文献等で公表されている事例報告の分析に取り組む。この過程を通して、報告目的の絞り方、表題やキーワードの効果的な付け方、評価や方針の記述方法、経過や結果に示すべき情報の取捨選択、考察の表現方法などについて学習することを目的とする。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例研究と事例報告の関係を説明できる。 2. 根拠に基づく実践の意味を理解し、説明できる。 3. 公表された事例を分析し、理論背景を見つけることができる。 4. 分析結果を他者に理解できるよう発表する。 		
関連科目	理学療法治療学の各科目、および地域リハビリテーション、チーム医療とリハビリテーション		
成績評価方法・基準	事例分析の報告（ルーブリック評価）80%、および個人レポート20%。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	提供された事例報告にあるわからない用語等を確認しておくこと。180分程度。		
教科書	理学療法研究論で使用したもの等の利用		
参考書	特になし		
オフィス・アワー	授業のお昼休み、もしくは18時まで。村田研究室。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク中心に展開する。		
ナンバリング	PS1-304		

講義科目名称： 卒業研究

授業コード： 4P088

英文科目名称： Graduation Studies

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
木村 朗	理学療法プロパー教員		
授業形態	演習		担当者
授業計画	第1回 卒業研究のあらまし 進め方 第2回～29回 研究の計画立案実施 30回 研究発表 論文提出		木村 朗 担当教員 担当教員全員 担当教員全員
科目の目的	理学療法を学ぶ中で疑問や課題を見つけ、その解決の方法について基本的な考え方や技法を習得した上で、卒業研究を遂行し、論文作成までの一連の実践、経験を通して考える力につけること。 DP4 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力、に対応		
到達目標	1. 個人または共同作業によって、自ら研究疑問を見つけることができるようになること。 2. 見つけた研究疑問に対し適切な調査・実験の計画を立てられるようになること。 3. 計画に従ってデータの取得を行い、分析し、研究成果として発表し、論文を書き上げることができるようになること。これらの1～3をすべて遂行できること。		
関連科目	理学療法研究論・医療統計学・他理学療法関連科目のすべて		
成績評価方法・基準	研究発表時の完成度（50%）、提出された論文の内容(50%)で評価する。研究における目的に沿った方法であるか、分析方法の適切さ、結果の解釈と意義についての言及の内容などを評価対象項目として、指導にあたった教員が評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	研究課題の決定、計画からデータ収集、分析、まとめ、発表資料作成、卒業論文完成の各パートにおいてそれぞれ10時間程度、計60時間を必要とする。このパートにおいて個人及び共同で作業を実施する際にはおおよそ各パートでこれに加え30時間が必要である。		
教科書	特になし		
参考書	各指導教員の指定する参考文献、資料、テキストを参考にすること 各指導教員によっては資料の配布はこの授業の中でAAAなどでダウンロードするものについて、実施前あるいは実施後に告示される。		
オフィス・アワー	各指導教員の指定する時間帯となる。単位認定者の木村における対応可能な時間は火曜日12時15分から12時55分である。		
国家試験出題基準	特になし		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	学生が主体となって自らテーマを設定し、行動する形態となるため、アクティブラーニングとなる。		
ナンバリング	PS1-402		
実務経験のある教員による授業			
実務経験	木村 朗（理学療法士）		
授業の概要	卒業後、自ら研究する姿勢と能力を養うことを目的に、専門科目担当教員の指導の下、テーマを定めて研究に取り組む。具体的には、研究の必要性の理解、研究課題の設定、文献検索、具体的研究テーマと目的の設定、研究方法の選択（実験研究、臨床研究）、倫理的配慮、研究計画書の作成、データの収集・集計・分析・考察、論文作成して発表する。		

講義科目名称： 理学療法管理学

授業コード： 4P089

英文科目名称： Physiotherapy Management

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資	江口勝彦	富田浩	

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 自己管理とキャリアデザイン	江口
	第2回 リスク管理	江口
	第3回 診療録	江口
	第4回 臨床実習教育方法論	江口
	第5回 職場に於ける人間関係	江口
	第6回 保健医療福祉機関の管理運営1 ゲストスピーカー：保健医療福祉施設より3名（松本 田嶋 赤池）	江口
	第7回 保健医療福祉機関の管理運営2 ゲストスピーカー：保健医療福祉施設より3名（松本 田嶋 赤池）	江口
	第8回 患者からみた理学療法のあり方	岡崎 富田
	第9回 セラピストが負うべき責任	岡崎 富田
	第10回 医療従事者の資質の向上	岡崎 富田
	第11回 使える心理学1 集団における社会心理学	岡崎 富田
	第12回 使える心理学2 行動生起のためのきっかけづくり	岡崎 富田
	第13回 使える心理学3 セルフマネジメントの方法	岡崎 富田
	第14回 使える心理学4 思考と行動の融合	岡崎 富田
	第15回 キャリアデザイン	岡崎 富田
科目の目的	理学療法の質の保証、および適切な理学療法提供システムを理解するために、効率的な財政的・物質的・人的資源確保について、計画・組織および運用方法に関し医療機関内理学療法、施設内理学療法、および地域理学療法それぞれにおけるマネジメントについて学ぶ。また、理学療法士として必要な職能性（関係法規、施設基準、診療報酬、介護報酬、リスク管理など）について講義する。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	1. 理学療法に必要な管理について概略を説明できる。 2. 自身のキャリア形成と人を育てる臨床教育の側面から人的管理について理解する。 3. 健康保険診療のルールに沿って、リスク管理、情報管理などの業務管理について理解する。 4. 臨床実習指導者として、臨床教育に関わる心構えを身につける。 5. 人間関係力について理解する。	
関連科目	安全管理、理学療法関連領域論、社会福祉・地域サービス論、人間関係・コミュニケーション論、リハビリテーション概論、理学療法概論	
成績評価方法・基準	レポート50%、定期試験50%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	評価学実習で学んだ理学療法業務について復習しておくこと。また、各講義の復習を行い、自らの理学療法士像について模索しつつ授業に臨むこと。 1コマあたり180分を目途に授業該当箇所の予習と復習を行う。	
教科書	教科書は指定しない。 必要に応じて資料を配付する。	
参考書	特に指定しない。	
オフィス・アワー	岡崎・富田：月曜日12時～13時 各研究室にて 江口：金曜日12時～13時 非常勤講師室にて	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅲ-1-A, 《専門》-Ⅱ-1-A～C, 《専門》-Ⅱ-2-A～E, 《専門》-Ⅱ-3-A～E, 《専門》-Ⅵ-1-A～I	

履修条件・履修上の注意	臨床実習で学んだ理学療法業務について理解しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PSm-301

講義科目名称： 理学療法診断学

授業コード： 4P090

英文科目名称： Physiotherapy Diagnostics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
加茂 智彦	黒川 望	橋口 優	

授業形態	講義3回、演習12回	担当者
授業計画	<p>第1回 【講義】理学療法診断の概念・目的</p> <p>第2回 【講義】理学療法における診断の種類（時期と対象）、問題解決のための評価過程 講義</p> <p>第3回 【講義】一般的評価項目、意識障害</p> <p>第4回 【演習】バイタルサイン、形態計測 血圧、脈拍、形態測定</p> <p>第5回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）1</p> <p>第6回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）2</p> <p>第7回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）3</p> <p>第8回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）4</p> <p>第9回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（上肢・頸部）5</p> <p>第10回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）1</p> <p>第11回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）2</p> <p>第12回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）3</p> <p>第13回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）4</p> <p>第14回 【演習】関節可動域測定 関節可動域測定（下肢・胸腰部）5</p> <p>第15回 【演習】バイタルサイン、形態計測、関節可動域測定のとまとめ 理学療法診断の流れ、重要事項を整理して理解する</p>	<p>加茂</p> <p>加茂</p> <p>加茂</p> <p>加茂</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p> <p>加茂、黒川、橋口</p>
科目の目的	<p>1. 理学療法診断の意義、目的、評価の過程を知ること。</p> <p>2. 一般的評価事項および形態測定、関節可動域測定の知識と技術を取得すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療専門職としての基本的知識と、社会人としての教養を身につけている。 ・多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 理学療法診断の意義、目的、その過程を言及できる。</p> <p>2. 診断時に理学療法士が配慮すべき点を列挙できる。</p> <p>3. 形態測定、関節可動域測定を中心とした検査測定および評価項目が実施できる。</p>	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、運動学、臨床運動学、理学療法概論、表面解剖学と触診法、基礎理学療法診断学演習、基礎運動療法、運動機能系理学療法診断学演習・治療学演習、神経機能系理学療法診断学演習・治療学演習、内部機能系理学療法診断学演習・治療学演習、見学実習、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験（40％）、授業内筆記試験（20％）、授業内実技試験（40％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>身体のランドマーク、関節可動域測定の基本軸、移動軸、参考可動域を演習実施までに全て暗記すること。</p> <p>各演習前には必ず実技の予習を、各演習後には必ず実技の復習を行い、知識と技術を習得すること。</p> <p>必要な学習時間の目安は、1コマあたり60分。</p>	
教科書	「理学療法評価学改訂第6版」松澤正、江口勝彦著（金原出版）	
参考書	特に指定しない。理学療法評価に関する書籍全般。	
オフィス・アワー	加茂：講義日の昼休み 黒川：講義日の昼休み 橋口：講義日の昼休み	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》-Ⅱ-3-A-a, 《専門基礎》-Ⅲ-1-A-e, 《専門》-Ⅲ-2-A~I, 《専門》-Ⅲ-3-A~E, 《専門》-Ⅲ-3-F-a~e, 《専門》-Ⅲ-6-A~C, 《専門》-Ⅵ-1-A~I</p>	

履修条件・履修上の注意	演習時は測定しやすい・されやすい服装、測定器具を準備する。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
ナンバリング	PSn-101

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
黒川 望	浅田 春美	加茂 智彦	林 翔太

授業形態	講義（4回）、演習（11回）	担当者
授業計画	<p>第1回 総論 講義1 理学療法における記録方法と情報収集/筋力測定の意義と目的</p> <p>第2回 総論 講義2 骨格筋の運動生理</p> <p>第3回 総論 講義3 徒手筋力検査法の基礎知識</p> <p>第4回 各論 演習1 徒手筋力検査測定演習：基礎知識の確認、実技の導入</p> <p>第5回 各論 演習2 徒手筋力検査測定演習：肩関節</p> <p>第6回 各論 演習3 徒手筋力検査測定演習：肘関節・前腕</p> <p>第7回 各論 演習4 徒手筋力検査測定演習：手関節・手指</p> <p>第8回 各論 演習5 徒手筋力検査測定演習：肩甲帯・頭頸部</p> <p>第9回 各論 演習6 徒手筋力検査測定演習：前半のまとめ</p> <p>第10回 総論 講義4 臨床で求められるセラピストとしての接遇</p> <p>第11回 各論 演習7 徒手筋力検査測定演習：股関節</p> <p>第12回 各論 演習8 徒手筋力検査測定演習：股関節・膝関節</p> <p>第13回 各論 演習9 徒手筋力検査測定演習：足関節・足指</p> <p>第14回 各論 演習10 徒手筋力検査測定演習：体幹・骨盤・胸腰部</p> <p>第15回 各論 演習11 徒手筋力検査測定演習：後半のまとめ</p>	<p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>加茂、林</p> <p>加茂、林</p> <p>加茂、林</p> <p>加茂、林</p> <p>黒川、加茂、林</p> <p>浅田 春美</p> <p>黒川、林</p> <p>黒川、林</p> <p>黒川、林</p> <p>黒川、林</p> <p>黒川、加茂、林</p>
科目の目的	<p>解剖学・運動学で学んだ知識を再確認しながら、筋力検査の方法について理論と技術を学ぶ。評価技術の基本となる筋力検査として徒手筋力検査(MMT)を中心に学習し、1年時に学習した基本的な検査・測定技術を再確認し、確実に習得することを目的とする。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】</p> <p>【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 理学療法の記録や患者オリエンテーションの内容を臨床上に適切な言動や態度で説明できる。</p> <p>2. 筋力検査の目的・意義・代表的な測定方法を説明できる。</p> <p>3. MMTを実施できる（注意点や代償運動を説明できることを含む）。</p> <p>4. 形態測定・関節可動域測定・筋力測定を他者に実施できる。</p>	
関連科目	<p>運動器解剖学、表面解剖学と触診法、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、運動学、運動学実習、理学療法概論、理学療法診断学、運動機能系理学療法診断・治療学演習、神経機能系理学療法診断・治療学演習、内部機能系理学療法診断・治療学、見学実習、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ</p>	
成績評価方法・基準	<p>筆記試験(7割)及び実技試験(3割)とする。筆記試験を成績判定の基礎とするが、そのためには実技試験の合格が前提となる。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>演習が始まるまでに作用する筋の起始・停止、神経支配、髓節を全て復習しておくこと。各演習の前には必ず実技の予習を行うこと。授業後、予習と合わせて復習も行うこと。（予習・復習の目安：1コマあたり1時間）</p> <p>講義の部分においては、アクティブアカデミーにより資料を事前配付する（配付期間：前回授業翌日から当該日まで）。各自印刷あるいはPCにダウンロードの上、授業に持参すること。</p>	
教科書	<p>・「理学療法評価学 第6版補訂版」松澤 正著（金原出版株式会社）</p> <p>・「新・徒手筋力検査法 原著第10版」Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery著、津山直一・他訳（協同医書出版社）</p>	
参考書	<p>・「PT・OTのための測定評価DVD series3 MMT-頭部・頸部・上肢 第2版」伊藤 俊一監修（三輪書店）</p> <p>・「PT・OTのための測定評価DVD series4 MMT-体幹・下肢 第2版」伊藤 俊一監修（三輪書店）</p>	
オフィス・アワー	<p>講義日の昼休みおよび授業後（黒川：608研究室、浅田：610研究室、加茂：601研究室）</p>	

国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-3-F-f～j, 《専門》-Ⅲ-3-G～H
履修条件・履修上の注意	演習時は検査しやすい・されやすい服装を準備すること。詳細は初回講義にて説明する。
アクティブ・ラーニングの実施	アクティブアカデミーにより授業後に復習ポイントを提示する。
ナンバリング	PSn-201
実務経験のある教員による授業	
実務経験	黒川 望（理学療法士）、浅田 春美（理学療法士）、加茂 智彦（理学療法士）、林 翔太（理学療法士）
授業の概要	対象者の問題を解決するための理学療法的前提は的確な理学療法診断がなされることであり、理学療法ゴールと方針が導かれる礎となるものである。演習では、理学療法診断を含む記録方法について学び、適切な診断項目の選定も含め科学的な診断の考え方を理解する。技術としては、人間の動きを生み出す力源である筋力の測定方法について重点的に学ぶ。具体的には徒手筋力検査法及び筋力検査機器による測定方法を習得する。

講義科目名称： 運動機能系理学療法診断学演習

授業コード： 4P092

英文科目名称： Practice of Physiotherapy Examination for musc...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義 (9.5コマ) 、演習 (5.5コマ)	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 運動機能系理学療法診断学の概念 (講義) 科目の概要・講義スケジュール 整形外科疾患とその評価法</p> <p>第2回 運動機能系理学療法診断学の総論、主観的評価と客観的評価 (講義) ボディーチャートを中心に実技と講義を行う。</p> <p>第3回 痛み (講義) 運動器系理学療法における「痛み」の考え方とそのメカニズムについて学ぶ。</p> <p>第4回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に股関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら股関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第5回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に膝関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら膝関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第6回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に膝関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら膝関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第7回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に足関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら足関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第8回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に肩関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら肩関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第9回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に肘関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら肘関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第10回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に手指、手関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら手指、手関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第11回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に頸椎関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら頸椎関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第12回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に胸椎関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら胸椎関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第13回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に腰椎関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら腰椎関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第14回 運動機能系理学療法機能診断学 実技 下肢 (主に仙腸関節) 事前課題あり (講義と演習) 課題についてフィードバックしながら仙腸関節に対する機能診断学の演習を行う。</p> <p>第15回 機能診断の概論、痛みのメカニズム、運動機能系理学療法診断学各論の復習と小テスト 試験後に回答を公開し、答え合わせを行い理解度を確かめる。</p>	<p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p>
科目の目的	<p>理学療法士は医師が行う病態診断よりも運動機能の診断を担当する。そのためレントゲンやMRIといった画像診断等を手掛かりにした病態診断よりも、理学療法士としての専門性を生かした運動機能系の基礎を理解した機能診断を理解し、遂行できる必要がある。よって本授業は基本的な運動器疾患に対する理学療法機能診断学を学ぶことを目的とする。 *ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	

到達目標	運動機能診断学の基礎を理解し、基本的な症状ごとの理学療法機能診断が遂行できる。
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、表面解剖学と触診法、生理学ⅠおよびⅡ、運動学、臨床運動学、運動学実習、整形外科学、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、脊髄疾患理学療法演習、スポーツ理学療法学、障がい者スポーツレクリエーション論
成績評価方法・基準	定期試験80%、中間試験10%、課題レポート10% 定期試験は100点満点で実施するが80点満点に換算する、中間試験は100点満点で実施するが10点満点に換算する、課題はすべて期限内に提出されていれば10点満点とする。合算したのちに100点満点に換算して成績評価を行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学修に1時間（実時間45分）程度は必要となる。
教科書	教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 上肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 下肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 脊柱編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：中村 利孝ほか：標準整形外科学 15版. 医学書院 教科書：中村隆一ほか 基礎運動学 第6版改定版 (医歯薬出版) 教科書：奈良 勲 (監修) 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第5版 (医学書院)
参考書	参考書：松澤 正ほか 理学療法評価学改訂第6版 (金原出版株式会社) 参考書：「新・徒手筋力検査法 原著第8版」Helen J. Hislop, Jacqueline Montgomery著, 津山直一・他訳 (協同医書出版社)
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00 場所は603研究室
国家試験出題基準	《専門》-Ⅰ-3-K, 《専門》-Ⅲ-8-A, 《専門》-Ⅲ-8-0, 《専門》-Ⅲ-8-P-b
履修条件・履修上の注意	授業範囲は広範となる、独自に授業ノートを作成し知識を整理しておくこと。 講義資料があるときは講義の前日までに603研究室前引出しにあるので週番が取りに来て全員に配布しておくこと。実技練習を複数回実施する、実技の出来る服装で臨むこと。
アクティブ・ラーニングの実施	第4回から14回まで授業は反転授業形式を基本とする。
ナンバリング	PSn-202
実務経験のある教員による授業	
実務経験	城下 貴司 (理学療法士)
授業の概要	理学療法の対象となる障害のうち、多くの割合を占める運動器系（骨・関節、筋、末梢神経、軟部組織）の疾患・障害の理学療法診断学を学ぶ。具体的には、筋力検査や関節可動域検査などの基本的な運動器の検査技術の理解の上に立ち、運動器系疾患・障害に固有な検査・測定方法、日本整形外科学会の判定基準、骨・関節や筋及び軟部組織のX線やMRI及び超音波による画像による診断技術を講義と実技を通じて学ぶ。

講義科目名称： 神経機能系理学療法診断学演習

授業コード： 4P093

英文科目名称： Practice of Physiotherapy Examination for Neur...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学	加茂 智彦	林 翔太	黒川 望
	田辺 将也	浅田 春美	

授業形態	講義, 実技	担当者
授業計画	第1回 神経疾患理解の基礎 神経疾患とは, 筋紡錘と腱紡錘の機能	鈴木 学
	第2回 各種神経系疾患の理論と実技 (1) 片麻痺の運動機能検査: ブルンストローム回復段階検査	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第3回 各種神経系疾患の理論と実技 (2) 片麻痺の運動機能検査: ブルンストローム回復段階検査, 上田式12段階検査	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第4回 各種神経系疾患の理論と実技 (3) 片麻痺の運動機能検査: 上田式12段階検査	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第5回 各種神経系疾患の理論と実技 (4) 片麻痺の運動機能検査: SIAS, その他の検査	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第6回 各種神経系疾患の理論と実技 (5) 筋緊張検査, 反射検査(腱反射)	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第7回 各種神経系疾患の理論と実技 (6) 反射検査検査: クローヌス, 原始反射, 病的反射	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第8回 実技演習 (1) ブルンストローム回復段階検査, 反射検査 感覚検査: 表在検査, 複合検査	鈴木 学, 黒川望, 田 辺将也, 加 茂智彦, 林 翔太, 浅田 春美
	第9回 実技演習 (2) ブルンストローム回復段階検査, 反射検査	鈴木 学, 黒川望, 田 辺将也, 加 茂智彦, 林 翔太, 浅田 春美
	第10回 各種神経系疾患の理論と実技 (7) 感覚検査: 表在感覚	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第11回 各種神経系疾患の理論と実技 (8) 感覚検査: 深部感覚	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第12回 各種神経系疾患の理論と実技 (9) 協調性検査	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第13回 各種神経系疾患の理論と実技 (10) 正常姿勢反応検査, 各種バランス検査 (FR, FBS, TUG, その他)	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第14回 各種神経系疾患の理論と実技 (11) 脳神経検査	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太
	第15回 各種神経系疾患の理論と実技 (12) 精神機能検査: 意識障害, 注意障害意欲、知能検査	鈴木 学

科目の目的	脳神経など末梢神経疾患と中枢神経系疾患に生じる障害の評価のための各種検査の理論およびその実技について学習する。検査の理論については目的、意味、注意事項および結果の解釈を、実技については検査手技を学習する。さらに検査結果を如何に統合解釈し、問題点を抽出し、目標を設定していく過程につなげていく。具体的には、片麻痺機能テスト、筋緊張検査、深部腱反射検査、病的反射検査、感覚検査、姿勢反射検査、協調性検査、高次脳機能検査などを取り上げ、それらの検査の意義、正常と異常の違いなどを学習する。さらに各種検査所見を統合し、その結果から問題点の抽出、目標設定を行う能力を養う。 これらは理学療法学科のディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】、【基本的知識と技術】、【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】、【自己研鑽・探求力】能力を向上させる。
到達目標	1. 神経系疾患に生じる障害の機能評価としての各種検査法を実施することができる。 2. 疾患に即した検査方法を理解し、選択することができる。 3. 検査結果を統合・解釈し、問題点を抽出、目標を決定することができる。
関連科目	臓器解剖学 運動器解剖学 生理学Ⅰ・Ⅱ 生理学実習 運動学 精神医学 神経内科学 リハビリテーション医学 理学療法診断学 日常生活活動学 神経機能系理学療法治療学演習Ⅰ 神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ 装具学 見学実習 評価学実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ
成績評価方法・基準	筆記試験 100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	神経系の解剖学, 生理学の知識をもっていることが望ましい。 準備時間: 30分
教科書	田崎義昭 斎藤伊雄 著 坂井文彦 改訂: ベッドサイドの神経の診かた 南山堂 松澤正著: 理学療法評価学 金原出版株式会社 パワーポイント資料をPDFファイルにて配布予定
参考書	鈴木則宏編: 神経診察クローズアップ メジカルビュー社 内山靖, 小林武, 潮見泰三編: 臨床評価指標入門 適用と解釈のポイント 協同医書出版 シグネ・ブルンストローム著, 松村秩訳: 片麻痺の運動療法 医師薬出版
オフィス・アワー	水曜日12:30~13:00 605研究室
国家試験出題基準	《専門Ⅲ》-8-B-a, b, c, d, e, f, g, h, i 《専門Ⅲ》-8-C-a~f 《専門Ⅲ》-8-H-a, b 《専門Ⅲ》-8-P-a, c
履修条件・履修上の注意	中枢神経および脳神経の解剖学, 生理学の知識が乏しいと内容の理解が難しくなるのでこれらの基礎を把握することが重要である。 神経機能系理学療法治療学演習ⅠおよびⅡの内容の基礎となる。講義資料は前週にActive academyにて配布し、PCまたは紙媒体で持参する。
アクティブ・ラーニングの実施	実施せず
ナンバリング	PSn-203
実務経験のある教員による授業	
実務経験	鈴木 学 (理学療法士)、浅田 春美 (理学療法士)、黒川 望 (理学療法士)、加茂 智彦 (理学療法士)、林 翔太 (理学療法士)、田辺 将也 (理学療法士)
授業の概要	脳神経など末梢神経疾患と中枢神経系疾患に生じる障害を評価する検査法と、検査結果を如何に統合解釈し、問題点を抽出し、目標を設定していくかを学習する。具体的には、片麻痺機能テスト、筋緊張検査、深部腱反射検査、病的反射検査、感覚検査、姿勢反射検査、協調性検査、高次脳機能検査などを取り上げ、それらの検査の意義、正常と異常の違いなどを学習する。さらに各種検査所見を統合し、その結果から問題点の抽出、目標設定を行う能力を養う。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田辺 将也	加茂 智彦	木村 朗	

授業形態	講義10回 演習3回 実技2回		担当者
授業計画	第1回	呼吸器疾患の現状，呼吸器の概要、呼吸器系解剖学 社会における呼吸器疾患の位置づけを疫学的視点から考察し、呼吸リハビリテーションの必要性を説明する。 呼吸に関与する骨・筋、肺の形態、構造を理解し、その機能から呼吸のメカニズムを的確に把握する。	田辺 将也
	第2回	呼吸器系の運動生理学、呼吸不全 呼吸器の解剖学的・生理学的知識を学び、胸郭の構造と胸郭運動の特徴から呼吸のしやすさ・しにくさを運動学的に理解する。さらに、換気やガス交換の意味とメカニズム、血液ガスの正常値とその異常によって生じる病態、呼吸不全の定義とガス交換障害と換気障害の違い、呼吸不全を呈する代表的な呼吸器疾患の発生機序や身体症状、そして呼吸困難の症状や呼吸困難感について理解する。	田辺 将也
	第3回	呼吸リハビリテーションにおける評価① 呼吸リハビリテーションにおける評価の目的を理解し、必要な情報収集の内容を把握する。フィジカルアセスメントの内容を理解し適切に実施する。	田辺 将也
	第4回	呼吸リハビリテーションにおける評価② 呼吸不全患者に適したADL・QOLの評価法や、運動負荷試験の意義・目的、適応について理解する。呼吸困難感の評価スケールについて理解する。呼吸器疾患の胸部X線画像やCT画像などの画像所見の基本を理解する。	田辺 将也
	第5回	呼吸リハビリテーションにおける評価③(演習) 肺気量分画を理解し、呼吸機能検査を適切な手順で実施、その結果を正しく解釈する。	田辺 将也
	第6回	吸引(実技) 吸引の手技を理解する。	田辺 将也
	第7回	循環器系の運動生理学 心不全を呈する疾患とその病態の特徴を把握し、循環器系理学療法の目的を理解する。	加茂 智彦
	第8回	循環器系の理学療法の評価① フィジカルアセスメント(実技)	加茂 智彦
	第9回	循環器系の理学療法の評価② 臨床心電図の読解①、運動負荷試験(演習)	加茂 智彦
	第10回	循環器系の理学療法の評価③ 臨床心電図の読解②	加茂 智彦
	第11回	循環器系の理学療法の評価④ 臨床心電図の読解③および基本的な治療のあらまし	加茂 智彦
	第12回	代謝系の代表疾患 糖尿病 糖尿病の疫学、合併症 糖尿病の病態の特徴を把握し、代謝系理学療法の目的を理解する。	木村 朗
	第13回	代謝系の理学療法の評価① 血糖コントロールのあらまし 食事と運動・身体活動、PTと強く関連する臨床検査、薬物療法	木村 朗
	第14回	代謝系の理学療法の評価② 自己血糖測定のあらまし(演習)	木村 朗
	第15回	代謝系の理学療法の評価③ 糖尿病の運動処方、運動療法の目的、意義、方法について概要を理解する。	木村 朗
科目の目的	本科目は、患者に対し、内部機能系疾患に対する治療およびリハビリテーションにおいて必要な評価項目を選択し、適切に実施できる能力を身に付けます【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】。		
到達目標	呼吸・循環・代謝を運動学、解剖学、生理学の知識で理解し、その運動を構造的側面、機能的側面で説明することができる。 内部機能系疾患患者に対する運動療法・リハビリテーションの標準的な検査測定・評価法・リハビリテーションの適応と禁忌の判断、リスク管理、理学療法に対する効果判定を説明することができる。		
関連科目	専門基礎科目群：生理学Ⅰ・Ⅱ，運動器解剖学，臓器解剖学，運動学，リハビリテーション医学，		

	内科学 専門科目群：内部機能系理学療法治療学演習
成績評価方法・基準	成績評価は授業内で行う小テスト(10%)、定期試験(90%)とする。小テストはそれまでの学習の確認テストに位置付ける。試験範囲は事前に授業内で連絡する。定期試験はの試験範囲は全ての範囲とする。また講義資料だけでなく、講義内容、教科書の指定範囲を含める。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に各回の講義内容部分について、新しく目にした単語・概念、または既に学習済みであっても忘れていた内容について調べる。講義内で分からなかった用語については、講義後に適宜調べる。予習復習合わせて1時間。
教科書	教科書：内部障害理学療法学 高橋哲也 編著(医歯薬出版) 教科書：Crosslink理学療法学テキスト運動療法学(メジカルビュー)
参考書	参考書：「標準理学療法 運動療法総論」(医学書院)
オフィス・アワー	木村：講義日の昼休み(研究室613) 加茂、田辺：講義日の昼休み(研究室601)
国家試験出題基準	《専門》-I-3-M-d, 《専門》-I-3-N, 《専門》-III-8-E~G, 《専門》-III-8-J~K, 《専門》-III-8-N, 《専門》-IV-9-K~L
履修条件・履修上の注意	講義資料については、講義日前日までに指示する。
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習やグループディスカッションを中心に各課題が与えられる。
ナンバリング	PSn-301
実務経験のある教員による授業	
実務経験	田辺 将也(理学療法士)、木村 朗(理学療法士)、加茂 智彦(理学療法士)
授業の概要	呼吸・循環・代謝系の病態に対して、カルテ情報や画像情報・問診・観察によって標準的な理学療法の適応判断が求められる生理的機能、心理的影響等において理学療法士が行う診断学を学習する。内部疾患に対して病態改善のみならず、合併症として運動負荷によるリスクが生じる状況について固有の検査・測定技術・評価データの解釈、内部機能を改善する理学療法を学ぶ。

講義科目名称： 高次脳機能評価学

授業コード： 4P095

英文科目名称： Higher Brain Disfunction Assessment

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
竹原 敦			

授業形態	講義15時間	担当者
授業計画	<p>第1回 高次脳機能障害の症状と分類</p> <p>第2回 失語の症状と評価</p> <p>第3回 失行、遂行機能障害、社会行動障害の症状と評価</p> <p>第4回 失認の症状と評価</p> <p>第5回 注意障害の症状と評価</p> <p>第6回 記憶障害の症状と評価</p> <p>第7回 認知症の評価：予防的視点とMCI</p> <p>第8回 認知症の評価：認知症の症状と評価</p>	<p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p>
科目の目的	<p>脳の機能全般とその障害像を理解し、臨床の理学療法に必要な知識と評価方法を学ぶ。特に、認知機能障害の全体像を把握するための必要な評価手段を理解し、適切な検査方法を選択することを学ぶ。脳損傷によって生じる失語・失認・失行・記憶障害・認知症などの高次脳機能障害について、画像診断を含めた診断法、神経心理学的評価法と解釈、リハビリテーションに関して学習する。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<p>1. 高次脳機能障害の分類を説明することができる</p> <p>2. 高次脳機能障害の症状を理解することができる</p> <p>3. 失語・失認・失行・記憶障害の評価方法を理解することができる</p> <p>4. 認知症の症状と評価法を理解することができる</p>	
関連科目	理学療法診断学、神経機能系理学療法治療学演習	
成績評価方法・基準	筆記試験（70%）、レポート（30%） なお、試験、レポートは、ActiveAcademy、メールあるいは口頭にてフィードバックする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・参考書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。 予習および復習に必要な学習時間の目安は1コマあたり4時間（180分）。	
教科書	教科書：石川朗・編：高次脳機能障害、中山書店、東京、2023.	
参考書	授業で紹介します。	
オフィス・アワー	昼休み12：10～13：00 竹原研究室	
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-3-J～L, 《専門》-Ⅲ-8-M	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	課題解決学習、グループ・ワーク等を実施	
ナンバリング	PSn-302	

講義科目名称： 基礎運動療法

授業コード： 4P096

英文科目名称： Basic Therapeutic Exercise

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
田辺 将也	加茂 智彦		

授業形態	講義12回、演習3回	担当者
授業計画	<p>第1回 【講義】オリエンテーション、運動療法の概念と実際 運動療法の概要</p> <p>第2回 【講義】関節可動域運動 関節可動域の異常</p> <p>第3回 【講義】関節可動域運動 関節可動域運動の種類</p> <p>第4回 【演習】関節可動域運動 関節可動域運動の実際（上肢、下肢の関節）</p> <p>第5回 【講義】ストレッチング ストレッチングの理論、注意点</p> <p>第6回 【演習】ストレッチング ストレッチングの実際</p> <p>第7回 【講義】筋力増強運動 随意運動のメカニズム</p> <p>第8回 【講義】筋力増強運動 筋力の異常・廃用症候群</p> <p>第9回 【講義】筋力増強運動 筋力増強運動および持久力運動</p> <p>第10回 【講義】バランスの獲得・改善 バランスの構成要素</p> <p>第11回 【講義】姿勢保持の改善 姿勢観察および異常姿勢の影響</p> <p>第12回 【講義】基本動作の獲得・改善 基本動作の獲得・改善の進め方</p> <p>第13回 【講義】協調性運動 協調性運動の概要</p> <p>第14回 【演習】バイタルチェック バイタル正常値理解および測定</p> <p>第15回 【講義】リスク管理 運動療法実施時の注意点など</p>	田辺 田辺 田辺 田辺、加茂 田辺 田辺、加茂 田辺 田辺 田辺 田辺 田辺 田辺 田辺 田辺 田辺
科目の目的	<p>運動療法の概念と基礎知識、運動の種類、基本的な運動療法の知識を習得し、基本的な運動療法の技術を習得する。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療専門職としての基本的知識と、社会人としての教養を身につけている。 ・多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・自己研鑽に励み、わからないことを明らかにしようとする探求力を身につけている。 	
到達目標	<p>運動療法の基礎知識・技術を整理・理解・習得し、より専門的な理学療法治療学（運動機能系・神経機能系・内部障害系・高齢者・スポーツ理学療法学・日常生活活動学・身体活動学）を学ぶための基礎知識・技術を習得する。</p>	
関連科目	<p>運動器解剖学・臓器解剖学、生理学Ⅰ・Ⅱ、運動学、臨床運動学、表面解剖学と触診法、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法診断学演習・治療学演習、脊髄疾患理学療法学演習、神経機能系理学療法診断学演習・治療学演習Ⅰ・Ⅱ、内部機能系理学療法診断学演習・治療学演習、身体活動学、スポーツ理学療法学、日常生活活動学、高齢者理学療法学演習、見学実習、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ</p>	
成績評価方法・基準	小テスト（20%）、期末テスト（80%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>各回授業範囲の教科書内の内容を事前に読み、理解しておくこと。</p> <p>各演習の前には必ず実技の予習を、各演習の後には必ず実技の復習を行い、知識と技術を習得すること。</p> <p>必要な学習時間の目安は1コマあたり1時間。</p>	
教科書	<p>教科書：</p> <p>「標準理学療法学専門分野運動療法学総論」吉尾雅春編集（医学書院）</p> <p>「運動療法学」柳澤健編集（金原出版）</p> <p>「基礎運動学」中村隆一、齋藤宏、長崎浩著（医歯薬出版）</p>	
参考書	<p>参考書：</p> <p>「理学療法ゴールド・マスター・テキスト2 運動療法学」柳澤健編（メジカルビュー社）</p> <p>「理学療法Ⅲ 運動療法Ⅰ」千住秀彰監修河元岩男、溝田勝彦編集（神陵文庫）</p>	

オフィス・アワー	講義日の昼休み（研究室601）
国家試験出題基準	《専門》-IV-1-A～C, 《専門》-IV-2-A, 《専門》-IV-4-A-e, 《専門》-IV-5-A-a～b, 《専門》-IV-5-A-d～f, 《専門》-IV-5-B～C
履修条件・履修上の注意	演習時は運動療法に適した服装を準備する。講義資料は前日までにAAAにて配布予定。印刷・ダウンロードは任意の方法でかまわない。
アクティブ・ラーニングの実施	双方向性の学習や体験学習を交えながら授業を展開する。
ナンバリング	PSo-201

講義科目名称： 運動機能系理学療法治療学演習

授業コード： 4P097

英文科目名称： Practice in Physiotherapy approach for Muscu...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義 (12.5コマ)、演習 (2.5コマ)	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション と 運動機能系疾患の概論 (講義)</p> <p>第2回 股関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 股関節(主に外傷疾患)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第3回 股関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 股関節(変形性股関節症、大腿骨頭壊死)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第4回 膝関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 膝関節(半月板損傷、靭帯損傷)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第5回 膝関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 膝関節(変形性膝関節症など)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第6回 膝関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 膝関節(膝蓋大腿関節症など)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第7回 膝関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 膝関節(オスグッド・シュラッター病などの骨端症)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第8回 下腿部疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 足関節(下腿骨折、天蓋骨折など)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第9回 足関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 足関節(アキレス腱周囲炎、足底筋膜炎、外反母趾など)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第10回 下肢疾患の基礎知識と診断学の復習と小テスト 試験後に回答を公開し、答え合わせを行い理解度を確かめる。</p> <p>第11回 肩関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 肩関節疾患(主に肩関節周囲炎、投球障害)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第12回 肘関節疾患(小児) 事前課題あり (講義と一部演習) 肘関節疾患(上腕骨顆上骨折)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第13回 肘関節疾患(成人) 事前課題あり (講義と一部演習) 肘関節疾患(上腕骨内側上顆炎、上腕骨外側上顆炎など)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第14回 前腕部疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 前腕疾患(ガレアッチ骨折、モンテジア骨折)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p> <p>第15回 手指、手関節疾患 事前課題あり (講義と一部演習) 手関節疾患(橈骨遠位端骨折など)：課題について詳細なフィードバックと講義を行う。</p>	<p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p>
科目の目的	<p>臨床における運動運動機能系の疾患は多数ある。その一部を学習しても断片的な知識となり整理がつかない。本授業はそれらの疾患を幅広く浅く学習することで、理学療法士がそれらの疾患の対応方法と理学療法の根拠を裏付ける理論をどのように構築しているかを紹介しその能力を修得する。</p> <p>*ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	理学療法士が運動運動機能系の疾患に対する科学的根拠に基づいた考え方を構築すること。	

関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、表面解剖学と触診法、生理学 I および II、運動学、臨床運動学、運動学実習、整形外科学、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法診断学、脊髄疾患理学療法演習、スポーツ理学療法学、障がい者スポーツ・レクリエーション論
成績評価方法・基準	定期試験80%、中間試験10%、課題レポート10% 定期試験は100点満点で実施するが80点満点に換算する、中間試験は100点満点で実施するが10点満点に換算する、課題はすべて期限内に提出されていれば10点満点とする。合算したのちに100点満点に換算して成績評価を行う。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学修に1時間（実時間45分）程度は必要となる。
教科書	教科書：中村 利孝ほか：標準整形外科学 15版. 医学書院 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 上肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 下肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 脊柱編 ブイツーソリューション 星雲社
参考書	参考書：林 典雄ほか：関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 参考書：堀尾重治：骨・関節X線写真の撮りかたと見かた 第8版. 医学書院
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00 場所は603研究室
国家試験出題基準	《専門》-IV-1-C, 《専門》-IV-5-E, 《専門》-IV-9-A, 《専門》-IV-9-N～0
履修条件・履修上の注意	配付資料があるときは事前に連絡する、603研究室前に引出しにあるので週番が取りに来て全員に配布しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	第2回から9回まで、第10回から15回まで反転授業形式を基本とする。各疾患の問題解決方法をまとめる必要がある。
ナンバリング	PSo-202
実務経験のある教員による授業	
実務経験	城下 貴司（理学療法士）
授業の概要	運動器系理学療法学の治療学に関して講義と演習を通じて理論と実践について学ぶ。具体的には、幅広い運動器系疾患の中から、大腿骨頸部骨折、変形性膝関節症、慢性関節リウマチ、切断、熱傷、骨盤底筋群不全を取り上げる。これらについて、講義に加え、一部問題解決型学習とデモンストラーションの演習を行い、運動器系疾患に対する理学療法士としての対応能力を修得する。

講義科目名称： 脊髄疾患理学療法学演習

授業コード： 4P098

英文科目名称： Practice in Physiotherapy for Spinal cord Dise…

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義（13コマ）、演習（2コマ）		担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション(学習法と授業の進め方) (講義)</p> <p>第2回 脊髄損傷 概論① 障がい者スポーツ含む (講義)</p> <p>第3回 脊髄損傷 概論② 障がい者スポーツ含む (講義)</p> <p>第4回 脊髄損傷 評価① 障がい者スポーツ含む (講義)</p> <p>第5回 脊髄損傷 評価② 障がい者スポーツ含む (講義)</p> <p>第6回 脊髄損傷 治療① 障がい者スポーツ含む (講義)</p> <p>第7回 脊髄損傷 治療② 障がい者スポーツ含む (講義)</p> <p>第8回 脊髄損傷 評価 (演習) ASIAを使用した実技指導</p> <p>第9回 脊髄損傷 治療 (演習) トランスファーやプッシュアップの実技指導</p> <p>第10回 外傷性脊髄損傷の復習および小テスト</p> <p>第11回 頸椎疾患① 事前課題あり (講義)</p> <p>第12回 頸椎疾患② 事前課題あり (講義)</p> <p>第13回 胸椎疾患 事前課題あり (講義)</p> <p>第14回 腰椎疾患① 事前課題あり (講義)</p> <p>第15回 腰椎疾患② 事前課題あり (講義)</p>		<p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p> <p>城下</p>
科目の目的	理学療法の対象となる脊髄疾患は外傷性脊髄損傷だけでなく、幅広く脊髄疾患の理学療法を学修することで、それらの疾患に対する基本的な理学療法機能診断学と理学療法の展開方法の考え方を習得する。 *ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	理学療法に関わるための脊柱疾患の各疾患別理学療法の基礎知識の獲得をする。		
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、表面解剖学と触診法、生理学ⅠおよびⅡ、運動学、臨床運動学、運動学実習、整形外科学、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、スポーツ理学療法学、障がい者スポーツレクリエーション論		
成績評価方法・基準	定期試験80%、中間試験10%、課題レポート10% 定期試験は100点満点で実施するが80点満点に換算する、中間試験は100点満点で実施するが10点満点に換算する、課題はすべて期限内に提出されていれば10点満点とする。合算したのちに100点満点に換算して成績評価を行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学修に1時間（実時間45分）程度は必要となる。		
教科書	教科書：中村 利孝ほか：標準整形外科学 15版. 医学書院 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 上肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 下肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 脊柱編 ブイツーソリューション 星雲社		
参考書	参考書：島田洋一、高橋仁美：術後理学療法プログラム メジカルビュー 参考書：林 典雄ほか：関節機能解剖学に基づく整形外科運動療法ナビゲーション 参考書：図解 理学療法技術ガイド 第3版 文光堂		
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00		
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-8-A, 《専門》-Ⅲ-8-B-h, 《専門》-Ⅳ-9-A		

履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	一部反転授業形式を採用する。その課題には各疾患の基礎知識から解剖学、生理学、運動学の知識を整理してまとめる必要がある。
ナンバリング	PSo-301
実務経験のある教員による授業	
実務経験	城下 貴司（理学療法士）
授業の概要	脊髄疾患は理学療法的主要な対象疾患である。脊髄疾患には外傷性の脊髄損傷と、疾病による脊髄腫瘍や血管障害及び進行性難病がある。疾病による脊髄疾患は神経系疾患で取り扱うので、本講義では、脊髄疾患の基本的な症状を示す脊髄損傷に関して重点的に学ぶ。具体的には、脊髄損傷の疫学、病理と臨床像、障害タイプの分類と予後、合併症とその管理について理解した上で、脊髄損傷に対する理学療法診断学と治療学について学ぶ。

講義科目名称： 神経機能系理学療法治療学演習 I

授業コード： 4P099

英文科目名称： Practice of Physiotherapy Approach for Neur... I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学	加茂 智彦	林 翔太	黒川 望
	田辺 将也		

授業形態	講義, 実技	担当者
授業計画	第1回 片麻痺の病態 (1) 片麻痺の病態と内科的外科的治療	鈴木 学
	第2回 片麻痺の病態 (2) 片麻痺の機能障害と回復過程	鈴木 学
	第3回 片麻痺への治療介入の考え方 回復期ごとの治療介入および中枢神経障害の治療の原則	鈴木 学
	第4回 片麻痺の急性期理学療法の評価と治療介入 ベッドサイド評価と治療介入の実際 (リスク管理含む)	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太
	第5回 片麻痺の急性期理学療法の治療介入と回復期評価 ベッドサイド治療介入の実際, 回復期の評価とゴール設定	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太
	第6回 片麻痺の回復期評価2 片麻痺の動作観察と分析	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太
	第7回 片麻痺の回復期理学療法の治療介入 (1) 各種起居動作獲得練習の介入理論と手技: 体幹・上下肢近位筋への介入	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太, 田辺将也
	第8回 片麻痺の回復期理学療法の治療介入 (2) 各種起居動作練習: 寝返り・座位獲得の介入理論と手技	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太, 田辺将也
	第9回 片麻痺の回復期理学療法の治療介入 (3) 各種起居動作練習: 臥位からの起き上がり, 四つ這い位, 座位からの四つ這い位への体位変換	鈴木 学, 加茂智彦, 林翔太, 黒川望
	第10回 片麻痺の回復期理学療法 (4) 各種起居動作練習: 膝立ち位, 膝立ち位への体位変換, 膝歩き練習	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太, 黒川望
	第11回 片麻痺の回復期理学療法 (5) 立ち上がり動作練習	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太
	第12回 片麻痺の回復期理学療法 (6) 各種分離運動獲得の介入理論と手技	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太
	第13回 片麻痺の回復期理学療法 (7) 立位保持練習, 椅子からの立ち上がり, 歩行練習	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太
	第14回 片麻痺のADL指導 (1) 片麻痺の各種移乗動作と車いす操作指導	鈴木 学, 加茂 智彦, 林 翔太

	第15回 片麻痺のADL指導 (2) 片麻痺の各条件下での歩行指導, Self care指導	鈴木 学
科目の目的	中枢神経系疾患、特に脳血管障害片麻痺に生じる障害の評価のための検査法と検査結果を如何に統合解釈し、問題を抽出し、目標を設定していくかを学習する。具体的には、急性期、回復期および維持期について、それぞれ評価内容、治療の考え方および進め方、治療技術の理論と実技を獲得させる。 これらは理学療法学科のディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】、【基本的知識と技術】、【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】、【自己研鑽・探求力】能力を向上させる	
到達目標	1. 脳血管障害に生じる障害について説明できる。 2. 脳血管障害による片麻痺や四肢麻痺の急性期、回復期および維持期に対する理学療法における評価、治療プログラム作成、理学療法実施方法について説明および実践できる。 3. 脳血管障害に片麻痺や四肢麻痺の理学療法を実施する上でのリスク管理について説明できる	
関連科目	臓器解剖学 運動器解剖学 生理学Ⅰ・Ⅱ 生理学実習 運動学 精神医学 神経内科学 リハビリテーション医学 理学療法診断学 日常生活活動学 神経機能系理学療法診断学演習 神経機能系理学療法治療学演習Ⅱ 装具学 見学実習 評価学実習 総合臨床実習Ⅰ 総合臨床実習Ⅱ	
成績評価方法・基準	筆記試験 100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	神経系の解剖学, 生理学の知識をもっていることが望ましい。 準備時間: 40分	
教科書	教科書 「理学療法テキスト神経障害理学療法Ⅰ」石川朗 総編集 (中山書店) 「神経内科学テキスト (改訂第3版)」江藤文夫、飯島節 (南江堂) パワーポイント資料をPDFファイルにて配布予定	
参考書	「Steps to Follow」 P. M. デービス著 (シュプリンガー・フェアラーク東京) 「脳卒中理学療法の理論と実技」原寛美、吉尾雅春 編 (メジカルビュー社) 「ここがポイント 脳卒中の理学療法」河村廣幸 編 (金原出版)	
オフィス・アワー	水曜日12:30~13:00 605研究室	
国家試験出題基準	《専門Ⅳ》-1-C-a~g 《専門Ⅳ》-5-D-a~c, 《専門Ⅳ》-5-G-a~e 《専門Ⅳ》-9-B-a~i 《専門Ⅳ》-9-C-a~f 《専門Ⅳ》-9-H-a, b 《専門Ⅳ》-9-M-a, b 《専門Ⅳ》-9-P-a~c	
履修条件・履修上の注意	中枢神経および脳神経の解剖学, 生理学の知識が乏しいと内容の理解が難しくなるのでこれらの基礎を把握することが重要である。 神経機能系理学療法診断学演習の内容が基礎となり神経機能系理学療法治療学演習Ⅱの内容と合わせて治療学が完結する。講義資料は前週にActive academyにて配布し、PCまたは紙媒体で持参する。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施せず	
ナンバリング	PSo-203	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	鈴木 学 (理学療法士)、黒川 望 (理学療法士)、加茂 智彦 (理学療法士)、林 翔太 (理学療法士)、田辺 将也 (理学療法士)	
授業の概要	脳梗塞・脳出血などの脳血管障害、パーキンソン病・脊髄小脳変性症などの変性疾患、脳性麻痺など各種神経疾患の症状と、それに伴う障害についての知識を学び習得する。また、上記各疾患・障害に対する理学療法、とりわけ運動療法の原理、診断と治療体系、目標設定とその実現のための問題点の抽出、治療計画の立案方法について学習する。さらに、各疾患における重要なリスク管理方法や理学療法の効果判定についての考え方と方法論を学ぶ。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学	加茂 智彦	橋口 優	

授業形態	講義, 実技	担当者
授業計画	<p>第1回 高次脳機能障害の病態と評価 失語, 失認, 失行</p> <p>第2回 片麻痺の回復を阻害する因子とその対処1 肩の痛み, 肩手症候群, 嚥下障害, 排尿障害</p> <p>第3回 片麻痺の回復を阻害する因子とその対処2, 片麻痺の日常生活活動 (ADL) 指導 半側空間無視, 押す人症候群, 移乗動作</p> <p>第4回 片麻痺の生活期の理学療法と予後予測 生活期 (維持期) の治療の進め方</p> <p>第5回 錐体外路系の運動制御機能 錐体外路系の伝導路とその機能, 神経難病とは</p> <p>第6回 CVA以外の原因による片麻痺の理学療法 頭部外傷および脳腫瘍による片麻痺の病態と治療介入</p> <p>第7回 各種神経変性疾患の理学療法 (2) パーキンソン病の病態と理学療法介入 (1)</p> <p>第8回 各種神経変性疾患の理学療法 (3) パーキンソン病の病態と理学療法介入 (2)</p> <p>第9回 各種神経変性疾患の理学療法 (4) 失調症の病態と理学療法介入 (1)</p> <p>第10回 各種神経変性疾患の理学療法 (5) 失調症の病態と理学療法介入 (2)</p> <p>第11回 各種神経変性疾患の理学療法 (6) 筋萎縮性硬化症の病態と理学療法介入</p> <p>第12回 各種神経変性疾患の理学療法 (7) 多発性硬化症の病態と理学療法介入</p> <p>第13回 各種神経変性疾患の理学療法 (8) 神経筋接合部疾患と成人筋疾患の病態と理学療法介入</p> <p>第14回 各種神経変性疾患の理学療法 (9) 脊髄疾患および末梢神経疾患の病態と理学療法介入</p> <p>第15回 各種神経変性疾患の理学療法 (10) めまいの理学療法介入</p>	<p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学, 橋口優, 加茂 智彦</p> <p>鈴木 学, 橋口優, 加茂 智彦</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学, 橋口優, 加茂 智彦</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学, 橋口優, 加茂 智彦</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>加茂 智彦</p>
科目の目的	<p>2年次の神経機能系理学療法診断学演習および治療学演習Ⅰの継続内容として高次脳機能障害や片麻痺で頻発する問題点への対応, 片麻痺のADL指導および維持期の理学療法, 予後予測について網羅する。また脳血管障害以外の原因 (頭部外傷, 脳腫瘍) による片麻痺, およびパーキンソン病, 脊髄小脳変性症などの神経系疾患の症状とそれに伴う障害についての知識を習得するとともに, それらの理学療法 (運動療法の原理, 治療体系, 評価, 問題点抽出, 目標設定, 治療計画立案, リスク管理) について学習する。治療体系については技術面の習得も演習を実施する。各種神経筋疾患の進行段階に合わせた理学療法, 非進行性疾患に対する理学療法の能力の習得を目指し, 評価から効果判定まで効果的な理学療法ができるようにする。</p> <p>これらは理学療法学科のディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】能力を向上させる</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高次脳機能障害や頻発する問題点について理解する。 2. 片麻痺のADL指導について理解する。 3. 片麻痺の維持期理学療法および予後予測について理解する。 4. 頭部外傷, 脳腫瘍などに生じる障害および評価, 治療プログラム作成, 理学療法実施方法について説明できる。 5. パーキンソン病, 失調症 (脊髄小脳変性症含む), 多発性硬化症, 筋萎縮性側索硬化症などの中枢神経疾患及び多発性神経炎 (ギランバレー症候群含む), 皮膚筋炎などの末梢神経疾患に対する理学療法における評価, 治療プログラム作成, 理学療法実施方法について説明できる。 6. パーキンソン病, 失調症 (脊髄小脳変性症含む), 多発性硬化症, 筋萎縮性側索硬化症などの中枢神経変性疾患及び多発性神経炎 (ギランバレー症候群含む), 皮膚筋炎などの末梢神経疾患に対する理学療法を実施する上でのリスク管理について説明できる。 	
関連科目	臓器解剖学 運動器解剖学 生理学Ⅰ・Ⅱ 生理学実習 運動学 精神医学 神経内	

	科学 リハビリテーション医学 理学療法診断学 日常生活活動学 神経機能系理学療法診断学演習 神経機能系理学療法治療学演習 I 装具学 見学実習 総合臨床実習 I 総合臨床実習 II 神経機能系理学療法診断学演習 神経機能系理学療法治療学演習 I 装具学 見学実習 神経機能系理学療法診断学演習 神経機能系理学療法治療学演習 I 装具学 見学実習 神経機能系理学療法診断学演習 神経機能系理学療法治療学演習 I 装具学 見学実習 神経機能系理学療法診断学演習 神経機能系理学療法治療学演習 I 装具学 見学実習
成績評価方法・基準	筆記試験 100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	神経解剖学, 神経生理学の知識をもっていることが望ましい 準備時間: 30~60分
教科書	「理学療法テキスト 神経障害理学療法Ⅱ」石川朗 総編集 (中山書店) 「神経内科学テキスト (改訂第3版)」江藤文夫、飯島節 (南江堂) パワーポイント資料をPDFファイルにて配布予定
参考書	系統理学療法学 神経障害系理学療法学」丸山仁司 編 (医歯薬出版) 理学療法学ゴールドマスターテキスト5「中枢神経系理学療法学」柳澤 健編集 (メジカルビュー社) 「Crusslink理学療法学テキスト 神経障害理学療法Ⅱ」鈴木俊明、中山恭秀 編 (メジカルビュー社)
オフィス・アワー	木、金曜日12:30~13:00 605研究室
国家試験出題基準	《専門Ⅳ》-1-C-a~g 《専門Ⅳ》-5-D-a~c, 《専門Ⅳ》-5-G-a~e 《専門Ⅳ》-9-B-a~i 《専門Ⅳ》-9-C-a~f 《専門Ⅳ》-9-H-a, b 《専門Ⅳ》-9-M-a, b 《専門Ⅳ》-9-P-a~c
履修条件・履修上の注意	中枢神経および脳神経の解剖学, 生理学の知識が乏しいと内容の理解が難しくなるのでこれらの基礎を把握することが重要である。 神経機能系理学療法診断学演習の内容が基礎となり神経機能系理学療法治療学演習 I の内容と合わせて治療学が完結する。講義資料は前週にActive academyにて配布し、PCまたは紙媒体で持参する。
アクティブ・ラーニングの実施	実施せず
ナンバリング	PSo-302
実務経験のある教員による授業	
実務経験	鈴木 学 (理学療法士)、橋口 優 (理学療法士)、加茂 智彦 (理学療法士)
授業の概要	「神経機能系理学療法診断学演習」及び「神経機能系理学療法治療学演習 I」で学んだ治療体系について技術面の演習を行う。具体的には脳血管障害の急性期・回復期・慢性期それぞれに対応した治療アプローチを習得する。また、進行性神経難病の進行段階に合わせた理学療法を実施できる能力の習得を目指す。診断から効果判定まで系統的な理学療法が実践できるよう具体的な事例で演習を行う。

講義科目名称： 内部機能系理学療法治療学演習

授業コード： 4P101

英文科目名称： Practice in Physiotherapy Approach for Cardio...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	加茂 智彦	田辺 将也	

授業形態	演習1-15コマ・講義1-15コマ 併用15コマ		担当者
授業計画	第1回	I. 内部機能系障害のリハビリテーションと理学療法 内部障害のリハビリテーションの疫学 理学療法（士）の役割	木村 朗
	第2回	循環器系アセスメントと理学療法 1 PTが行うべき心臓機能の評価のフレームワーク	加茂 智彦
	第3回	循環器系アセスメントと理学療法 2 P波とQRS波 危険な波形を示す病態の評価と運動療法	加茂 智彦
	第4回	循環器系アセスメントと理学療法 3 除脈に関連する波形を示す病態の評価と運動療法	加茂 智彦
	第5回	循環器系アセスメントと理学療法 4 頻脈に関連する波形を示す病態の評価と運動療法	加茂 智彦
	第6回	循環器系アセスメントと理学療法 5 ECG4 十二誘導によるECGモニタリングを必要とする病態の評価と運動療法	加茂 智彦
	第7回	呼吸器系PT1 呼吸機能の評価のフレームワーク 治療プログラム 1	田辺 将也
	第8回	呼吸器系PT2 呼吸機能の評価のフレームワーク 治療プログラム2	田辺 将也
	第9回	呼吸器系PT3 呼吸機能の評価のフレームワーク 治療プログラム3	田辺 将也
	第10回	呼吸器系PT4 呼吸機能の評価のフレームワーク 治療プログラム4	田辺 将也
	第11回	呼吸器系PT5 呼吸機能の評価のフレームワーク 治療プログラム5	田辺 将也
	第12回	代謝系PT1 PTが知っておくべき糖尿病の診断と治療方法の整理 糖尿病性合併症の機序	木村 朗
	第13回	代謝系PT1 糖尿病の運動療法 運動処方の実際 有酸素運動 レジスタンス運動 バランスエクササイズ演習	木村 朗
	第14回	代謝系PT1 身体活動測定 身体活動処方 運動強度別血糖降下急性効果の確認（SMBG）行動変容	木村 朗
	第15回	脈管系PT がんの理学療法 動脈硬化に対するPT 脈波伝搬速度の測定 がんに対する内部機能系理学療法のみ	木村 朗
科目の目的	<p>身体障害の原因として最も頻度の高い血管病変の知識を理解する。 呼吸・循環器及び代謝機能の疾患をもつ者の理学療法の実践にあたってEBM遂行上必要な基本的な知識と技術の習得を目的とする。 運動療法および身体活動が呼吸・循環・代謝機能に及ぼす影響を理解し、それらの機能の低下をきたす疾患に適応される根拠を学ぶ。 生活習慣病から動脈硬化に至る病態を理解し、現時点で標準的とされる理学療法 of 適切な介入方法を学ぶ。 理学療法分野の基本的技術を提供することができるようになる。 DP2 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術、 DP3 地域に根差したリハビリテーションの必要性と多職種連携による問題解決の重要性の理解、 DP4 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力に対応。</p>		
到達目標	<p>学生は各内部疾患(者)に生じる障害を理解し、基本的な評価項目と治療法を列挙することができる。 学生は各内部疾患(者)に対するEBMに則った理学療法プログラムの作成に必要な基本的な生理学・病理学の要点が説明できる。 学生は各内部疾患(者)・合併者のリスクとして頻出なものを挙げるができる。その理学療法上の対策を説明することができる。 学生はモニター心電図上頻出する疾患の生成機序の説明ができる。 学生はリハビリテーションを必要とする主な呼吸器・心疾患・脈管系疾患・糖尿病の診断方法と基準が説明できる。 学生は呼吸・循環・代謝系理学療法の治療を実施するためのガイドラインに示された適応禁忌の判断基準が説明できる。 学生は理学療法技術（有酸素運動の指導など）を模擬患者および健常者に対し試みることができる。</p>		

関連科目	専門基礎科目群：生理学Ⅰ・Ⅱ，運動器解剖学，臓器解剖学，運動学，リハビリテーション医学，臨床医学 専門科目群：内部機能理学療法診断学演習
成績評価方法・基準	定期試験(80%)、小テスト(10%)、課題レポート(10%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の講義内容部分について、新しく目にした単語・概念、または既に学習済みであっても忘れて いることについて、教科書およびWeb上で可能な限り調べ、ノートを準備の上、確認しておく。予習 60分を目安とする。
教科書	教科書：内部障害理学療法学 高橋哲也 編著 (医歯薬出版) 教科書：Crosslink理学療法学テキスト運動療法学 (メジカルビュー)
参考書	参考書：標準理学療法学 運動療法学 総論 第4版 (医学書院) 参考書：実践身体活動学 (三共出版)
オフィス・アワー	講義日の12:10～12:50(木村研究室)、 同 (田辺研究)、同(加茂研究室) (a-kimura@paz.ac.jp)
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-8-I, 《専門》-Ⅳ-1-C, 《専門》-Ⅳ-5-B, 《専門》-Ⅳ-9-E～G, 《専門》-Ⅳ-9-I, 《専門》 -Ⅳ-9-K～L
履修条件・履修上の注意	運動可能な服装着用のこと、参考資料等は講義実施前にAAA等にてダウンロードするなど告知する。
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げる双方向性セッション を設ける。
ナンバリング	PSo-303
実務経験のある教員による授業	
実務経験	木村 朗 (理学療法士)、田辺 将也 (理学療法士)、加茂 智彦 (理学療法士)
授業の概要	本科目では、「内部機能系理学療法診断・治療学」の理解の上に立ち、循環・代謝系疾患障害の固有の検査・測定方法、その結果の解釈、心電図や血液データの見かたを含む診断学、循環・代謝系理学療法治療学、すなわち循環機能の改善、運動耐容能の改善、エネルギー代謝の改善の総論と各論を学ぶ。さらに、生活習慣病や障害予防、喀痰の吸引について、その考え方と対応・実践方法を学ぶ。

講義科目名称： 身体活動学

授業コード： 4P102

英文科目名称： Physical Activity

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗			

授業形態	講義、演習	担当者
授業計画	第1回 身体活動の定義と意義 身体活動の定義と意義を理解する。 第2回 身体活動量測定の方法 身体活動量測定の方法を理解する。 第3回 身体活動量の測定方法1と利活用 身体活動量測定方法として調査紙法を理解する。 第4回 身体活動量の測定方法2と利活用 身体活動量測定方法として生理学的手法を理解する。 第5回 身体活動量の測定方法3と利活用 身体活動量測定方法として運動力学的手法を理解する。 第6回 身体活動量の測定方法4と利活用 身体活動量測定方法として運動幾何学的手法を理解する。 第7回 身体活動量の測定方法5と利活用 身体活動量測定方法として思い出し法を理解する。 第8回 生活習慣病予防のための身体活動処方・指導方法・モニタリング手法 生活習慣病予防のための身体活動処方・指導方法モニタリング手法を理解する。	木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗 木村 朗
科目の目的	<p>公衆衛生やリハビリテーションに必要な身体活動のあらましが説明できるようになること。 DPとの関連：1. 理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養、2. 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術に対応 DP1 理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養、 DP2 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術、に対応。</p>	
到達目標	公衆衛生やリハビリテーションに必要な身体活動量の具体的な測定方法を挙げることができるようになること。	
関連科目	内部機能系理学療法診断学演習、内部機能系理学療法治療学演習、運動学	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習90分、復習90分。	
教科書	実践身体活動学、木村 朗、三共出版	
参考書	身体活動学入門、木村 朗、三共出版	
オフィス・アワー	講義日の12時10分～50分（木村朗研究室）	
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-8-L, 《専門》-Ⅲ-9-A～B, 《専門》-Ⅳ-9-J, 《専門》-Ⅳ-10-B, 《専門》-Ⅴ-1-J	
履修条件・履修上の注意	資料は講義開始前にAAAにてダウンロードできるように告知する。	
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。	
ナンバリング	PSo-304	

講義科目名称： 発達支援理学療法学

授業コード： 4P103

英文科目名称： Developmental Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
橋口 優			

授業形態	講義・演習	担当者
授業計画	第1回 発達支援理学療法学 概論 1 発達支援に理学療法がどのように関わるかについて学習する 発達の概念を事例で考える	橋口 優
	第2回 発達支援理学療法学 概論 2 理学療法評価と治療の概要を学習する	橋口 優
	第3回 発達支援理学療法 評価 1 発達支援理学療法における各種評価を理解し、実施を通して学習する	橋口 優
	第4回 発達支援理学療法 評価 2 発達支援理学療法における各種評価を理解し、実施を通して学習する 発達支援理学療法における各種評価を理解し、実施を通して学習する	橋口 優
	第5回 脳性麻痺に対する発達支援 1 脳性麻痺に対する理学療法評価を学習する	橋口 優
	第6回 脳性麻痺に対する発達支援 2 脳性麻痺に対する理学療法評価を学習する	橋口 優
	第7回 脳性麻痺に対する発達支援 3 脳性麻痺に対する理学療法治療を学習する	橋口 優
	第8回 二分脊椎に対する発達支援 二分脊椎に対する理学療法評価・治療を学習する	橋口 優
	第9回 筋ジストロフィーに対する発達支援 筋ジストロフィーに対する理学療法評価・治療を学習する	橋口 優
	第10回 重症心身障害・てんかんに対する発達支援 重症心身障害・てんかんへの対応、支援を学習する	橋口 優
	第11回 ダウン症に対する発達支援 ダウン症に対する理学療法評価・治療を学習する	橋口 優
	第12回 神経筋疾患・先天性疾患に対する発達支援 神経筋疾患・その他先天性疾患に対する理学療法評価・治療を学習する	橋口 優
	第13回 療育における理学療法 特別支援教育における理学療法士の役割について学習する	橋口 優
	第14回 発達障がいに対する理学療法 発達障がいに対する理学療法評価・治療を学習する	橋口 優
	第15回 発達支援理学療法の臨床 ポジショニング・運動学習等、臨床について学習する 臨床における発達の障がいの現れ方の紹介・理学療法に発達学の知識を応用するメリットを理解する	橋口 優
科目の目的	発達に障害をもつ人々の障害を理学療法評価を通じて理解し、その上でその人々の運動能力改善については生活改善のための理学療法体系と方法論を理解する 本授業はディプロマポリシー1の「知識・理解を高めること」を目的とした科目である。	
到達目標	脳性麻痺・二分脊椎・筋ジストロフィー・ダウン症・発達障がい・重症心身障害に対する理学療法評価項目を説明でき、それぞれに対する理学療法の方針と内容を示すことが出来る。	
関連科目	本科目に先立って基礎となる科目…運動学・生理学・心理学・臨床心理学・公衆衛生学 本科目と関連しあう科目…小児科学・臨床神経学・臨床動作分析学・神経理学療法関連科目	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	該当テキスト部分の予習と復習 (45分程度) 該当講義資料部分の予習と復習 (45分程度)	
教科書	教科書 シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト	
参考書	使用しない	
オフィス・アワー	水曜日12:15~15:00	
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-3-I, 《専門》-Ⅲ-8-D, 《専門》-Ⅳ-9-D	

履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	授業開始時、終了時にActive Academyを利用したアンケート形式の問題を10問程度出題し、理解度の確認と各自再確認すべき項目のフィードバックを行っている。
ナンバリング	PSo-305

講義科目名称： 理学療法関連領域論

授業コード： 4P104

英文科目名称： Related Fields to Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	浅田 春美	岡崎 大資	田辺 将也

授業形態	講義	担当者
授業計画	1回 ICUでの理学療法概説	木村 朗
	2回 公衆衛生と理学療法概説	木村 朗
	3回 女性・男性特有の機能障害・健康障害と理学療法1	浅田 晴美
	4回 女性・男性特有の機能障害・健康障害と理学療法2	浅田 晴美
	5回 行動科学と理学療法1	岡崎
	6回 行動科学と理学療法2	岡崎
	7回 産業保健理学療法1	田辺
	8回 産業保健理学療法2	田辺
科目の目的	今日、発展する理学療法の適応分野に焦点を当てて、それぞれのトピックスについて理解する。併せて、【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】を滋養する。 DP3. 地域に根差したリハビリテーションの必要性と多職種連携による問題解決の重要性の理解、 DP4. 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力、に対応。	
到達目標	学習者が今日、発展する理学療法の適応分野に焦点を当てて、それぞれのトピックスについて説明できるようになること。	
関連科目	理学療法概論、理学療法研究論、理学療法診断学、地域理学療法学	
成績評価方法・基準	試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義1コマにつき、予習復習をそれぞれ2時間の自己学習の実施を目安とする。	
教科書	授業中に資料を提示する。	
参考書	授業中に資料を提示する。	
オフィス・アワー	講義日の昼休み12時15分から13時とする。（木村朗研究室）（岡崎研究室）（浅田研究室）（田辺研究室）	
国家試験出題基準	《専門》-III-8-P-d～e, 《専門》-IV-1-C, 《専門》-IV-5-G, 《専門》-IV-9-P-d～e	
履修条件・履修上の注意	資料は講義開始前にAAAにてダウンロードできるように告知する。	
アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。	
ナンバリング	PSo-306	

講義科目名称： 物理療法学

授業コード： 4P105

英文科目名称： Biophysical Agents

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
黒川 望	鈴木 学	目黒 力	岡崎 大資

授業形態	講義9回、実習6回		担当者
授業計画	<p>第1回 総論 物理療法の定義、位置付け、物理療法の原理、分類</p> <p>第2回 各論 マッサージⅠ（定義、生理学的作用、基本手技）</p> <p>第3回 実習 マッサージⅡ（マッサージ治療の臨床への応用）</p> <p>第4回 各論 温熱療法Ⅰ（定義、熱力学、生理学的作用）</p> <p>第5回 各論 温熱療法Ⅱ（温熱療法の実際）</p> <p>第6回 各論 寒冷療法（定義、分類、生理学的作用、寒冷療法の実際）</p> <p>第7回 各論 水治療法（定義、水の物理的特性、生理学的作用、治療の実際）</p> <p>第8回 各論 高周波療法（定義、原理、生理学的作用、治療の実際）</p> <p>第9回 各論 超音波療法（定義、原理、生理学的作用、治療の実際）</p> <p>第10回 実習ガイダンス 実習の進め方・課題の理解、実際使用する道具・機器の確認</p> <p>第11回 実習1 班単位で、温熱・寒冷療法、水治療法、高周波療法、超音波療法のいずれかを実習する。</p> <p>第12回 実習2 実習1とは別項目を、班単位で実施する。</p> <p>第13回 実習3 前回までとは別項目を、班単位で実施する。</p> <p>第14回 実習4 前回までとは別項目を、班単位で実施する。</p> <p>第15回 実習5 前回までとは別項目を、班単位で実施する。実習1～5を通じて、全項目を実習することとなる。</p>		<p>黒川 望</p> <p>鈴木 学</p> <p>鈴木 学</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>黒川 望</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p> <p>目黒、岡崎、黒川</p>
科目の目的	<p>物理療法学は、運動療法学と共に、理学療法の中で車の両輪をなすもので、その治療法を理解することは、疾病治療を進める上で欠かせないものである。本科目では物理療法の治療根拠と実際を学習する。物理療法の前半として、物理療法の総論と、マッサージ、温熱療法、寒冷療法、水治療法、高周波療法、超音波療法等について、その定義、分類、原理、生理学的作用、適応、禁忌、実際について、基本的事項の習得を目的とする。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>1. 臨床実習において実施可能になることを念頭に、物理療法の治療にあたり、その治療根拠を理解し、各種疾患に対し適切な治療ができる。</p> <p>2. グループワークの中で、自分の役割を果たすことができる。</p>		
関連科目	<p>生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、運動学、運動学実習、病理学、内科学、整形外科学、神経内科学、理学療法概論、障害と理学療法、評価学実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ</p>		
成績評価方法・基準	<p>筆記試験（50%）、実習レポート（50%）</p>		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>教科書ならびに実習書の該当部分を熟読した上で参加すること。 （予習の目安：1コマあたり1時間、復習の目安：1コマあたり3時間） 講義の部分においては、アクティブアカデミーにより資料を事前配付する（配付期間：前回授業翌日から当該日まで）。各自印刷およびPCにダウンロードの上、授業に持参すること。</p>		
教科書	<p>・松澤正、江口勝彦・監修：物理療法学 改訂第3版。金原出版株式会社，2021。</p>		
参考書	<p>・Michelle H. Cameron・原著，渡部一郎・訳：EBM物理療法 原著第4版。医歯薬出版株式会社，2015。</p>		
オフィス・アワー	<p>講義日の昼休みおよび授業後（黒川：608研究室，鈴木：605研究室）</p>		

国家試験出題基準	《専門》-IV-1-C, 《専門》-IV-3-A
履修条件・履修上の注意	実習においては、動ける服装で参加すること。詳細は講義にて説明する。
アクティブ・ラーニングの実施	<ul style="list-style-type: none">・グループワーク（对患者を想定しての物理療法の実施）・レポート課題（実習項目・内容についてのセルフチェック・振り返り）
ナンバリング	PSo-204

講義科目名称： 物理療法学演習

授業コード： 4P106

英文科目名称： Practice in Biophysical Agents

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
目黒 力	黒川 望	岡崎 大資	

授業形態	講義9回 実習6回		担当者
授業計画	第1回	電気生理学的基礎 電気生理学の基礎を学ぶ	黒川
	第2回	電気刺激療法 低周波刺激療法やTENSについて学ぶ	黒川
	第3回	電気刺激療法 干渉波、SSP療法など他の電気刺激療法について学ぶ	黒川
	第4回	光線療法 赤外線療法について学ぶ	黒川
	第5回	光線療法 紫外線療法について学ぶ	黒川
	第6回	超音波療法 超音波療法について学ぶ	黒川
	第7回	牽引療法 電動間歇牽引について学ぶ	黒川
	第8回	その他 その他最新の物理療法について学ぶ	黒川
	第9回	実習ガイダンス 実習における心構え、レポートの書き方、注意事項について学ぶ	目黒・黒川・岡崎
	第10回	実習1 講義で学んだ事を班に分かれ実習を行う	目黒・黒川・岡崎
	第11回	実習2 講義で学んだ事を班に分かれ実習を行う	目黒・黒川・岡崎
	第12回	実習3 講義で学んだ事を班に分かれ実習を行う	目黒・黒川・岡崎
	第13回	実習4 講義で学んだ事を班に分かれ実習を行う	目黒・黒川・岡崎
	第14回	実習5 講義で学んだ事を班に分かれ実習を行う	目黒・黒川・岡崎
	第15回	実習6 講義で学んだ事を班に分かれ実習を行う	目黒・黒川・岡崎
科目の目的	<p>物理療法は、運動療法と共に、理学療法の中で車の両輪をなすもので、その治療法を理解することは、疾病治療を進める上で欠かせないものであり、物理療法の治療根拠と実際を学習する。物理療法の後半部分で、温熱療法、水治療法、光線療法等について、その定義、分類、原理、生理学的作用、適応、禁忌、実際について基本的事項を習得させることを目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養 2. 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術 3. 地域に根差したリハビリテーションの必要性和多職種連携による問題解決の重要性の理解 4. 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力 		
到達目標	臨床実習において物理療法の治療に当り、その治療根拠を理解し、各種疾患に対し、適切な治療ができるようにすることを目標とする。なお、グループワークの中で、自分の果たす役割ができるようにすることを目指す。		
関連科目	生理学 運動学 内科学 整形外科学 基礎理学療法学		
成績評価方法・基準	筆記試験（50％）実習課題（50％）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に教科書ならびに実習書、実習要項を熟読の上参加すること。（15） 事前に90分程度の事前学習が望ましい		
教科書	教科書：「物理療法学」 金原出版		
参考書	参考書：「物理療法学実習書」 群馬パース大学編		
オフィス・アワー	講義日12：00～13：00 講義担当者の研究室にて		
国家試験出題基準	《専門》-IV-3-A		

履修条件・履修上の注意	教科書・実習書を熟読の上講義に臨むこと
アクティブ・ラーニングの実施	グループワークによる演習を実施する予定である
ナンバリング	PSo-307
実務経験のある教員による授業	
実務経験	目黒 力（理学療法士）、岡崎 大資（理学療法士）、黒川 望（理学療法士）
授業の概要	「物理療法学」で学習した基礎的知識をもとに、実際の方法を学ぶ。安全且つ適切、迅速に実践できること、ケースに対してインフォームドコンセントを確実に行えるようにすることを目標とする。各種測定機器を用いて各自物理療法による生理学的変化を測定・分析することを通じて、疾患に応じて適切な物理療法を適用する力を養う。

講義科目名称： 装具学

授業コード： 4P107

英文科目名称： Orthotics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
橋口 優			

授業形態	講義（10回）、実技演習（5回）		担当者
授業計画	第1回	装具学総論① 装具の意義・目的	橋口優
	第2回	装具学総論② 装具の関わる運動学/運動学的背景に基づく装具の役割	橋口優
	第3回	短下肢装具の役割と適応 短下肢装具の役割と適応	橋口優
	第4回	長下肢装具 長下肢装具の役割と適応	橋口優
	第5回	足底板・その他の下肢装具（橋口優） 足底板を含むその他の下肢装具の役割と適応	橋口優
	第6回	上肢装具 上肢装具の役割と適応	橋口優
	第7回	体幹装具 体幹装具の役割と適応	橋口優
	第8回	歩行補助具・自助具 歩行補助具や自助具の役割と適応	橋口優
	第9回	最新の装具 現状の臨床現場で利用されている最新の装具について	橋口優
	第10回	疾患別の装具の適応 神経系理学療法・内部障害系理学療法における装具の適応	橋口優
	第11-15回	足底板製作演習 硬質スポンジEVAを用いて、自分自身に合わせた「内側縦アーチサポート、中足骨サポート付き外側楔足底板」を製作する。	橋口優
科目の目的	運動学的背景を基に装具の役割を理解する。 それぞれの装具の適応を理解し、必要に応じた装具の選択ができる。 理学療法介入において必要となる装具の選択に関する知識と装具作成の技術を習得する。 【思考・判断】装具学分野における諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。		
到達目標	運動学・解剖学の知識を背景に、装具の役割を理解する。 臨床場面での使用例とその背景を理解し、装具の選択や適合判定が出来るようになることを目標とする。 後半には、演習として足底板の作成を行い、各自で目的に応じた作成が出来ることを目標とする。		
関連科目	運動器解剖学、運動学、運動機能系理学療法治療学演習、神経機能系理学療法治療学演習、内部機能系理学療法治療学演習、発達支援理学療法学、日常生活活動学		
成績評価方法・基準	1) 筆記試験(70%) 2) レポート課題(20%) 3) 実技演習の成果(10%)		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	第1-2講：運動学の復習（毎回60分程度） 第3-5講：下肢の解剖学（毎回30分程度） 第6-7講：脊柱・上肢の解剖学（毎回30分程度） 第8講：日常生活活動学の復習 第10講：神経機能系理学療法治療学演習、内部機能系理学療法治療学演習の復習（毎回60分程度） 第11-15講：各自の進行状況に合わせて、作業を進める（毎回30分程度）		
教科書	教科書： 整形外科医学会、日本リハビリテーション医学会監修：義肢装具のチェックポイント、医学書院		
参考書	使用しない		
オフィス・アワー	水曜日12:15-15:00		
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-7-A-b～c, 《専門》-Ⅲ-7-B, 《専門》-Ⅳ-4-A-b《専門》-Ⅳ-4-A-g		
履修条件・履修上の注意	後半（第10-15講）に実技を行うため、動きやすく汚れても良い服装を準備すること		
アクティブ・ラーニングの実施	授業開始時・終了時にActive Academyを利用したアンケート形式の問題を10問程度出題し、理解度の確認を行っている。		
ナンバリング	PSo-308		

講義科目名称： 義肢学

授業コード： 4P108

英文科目名称： Prosthesis

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
平井 正利			

授業形態	講義11コマ 実技4コマ	担当者
授業計画	第1回 義肢総論 概論 第2回 義肢総論 足継手 第3回 義肢総論 膝継手 第4回 下腿義足 P T B ・ P T S ・ K B M ・ T S B ソケット 第5回 下腿義足 アライメント・適合・異常歩行 第6回 大腿義足 四辺形・ I R C ソケット 第7回 大腿義足 アライメント・適合・異常歩行 第8回 サイム・股義足・義手 概論 第9回 下腿義足 疑似体験実習 第10回 下腿義足 組み立て実習 第11回 大腿義足 組み立て実習 第12回 大腿義足 組み立て実習 第13回 国家試験対策 過去の試験問題を理解する 第14回 国家試験対策 過去の試験問題を理解する 第15回 国家試験対策 過去の試験問題を理解する	平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利 平井 正利
科目の目的	切断後のリハビリテーションにおいて義肢は重要です。各部位に用いるパーツは様々な種類があり、その選択次第で早期社会復帰やQOL向上に大きな影響を与えます。適合判断、異常歩行を見分け迅速かつ的確に対処する知識を得るのが本講義の目的です。また国家試験を見据えた基礎知識も試験形式で学習し、定期試験によって学習度を判断します。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	症例に合った義肢の適応判断、適合判定が行える。知識的には国家試験レベルを最低ラインとします。	
関連科目	運動器解剖学，臓器解剖学，生理学，運動学，整形外科学，理学療法診断学，運動機能系理学療法治療学演習，神経機能系理学療法治療学演習，装具学，スポーツ理学療法学，他	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	テキストは講義前に配布します。内容に目を通し、分からない用語などについては事前に調べておきましょう。	
教科書	「義肢装具学テキスト」細田多穂（南江堂）	
参考書	特になし	
オフィス・アワー	講義直後（場所：非常勤講師室）	
国家試験出題基準	≪専門≫-Ⅲ-7-A-a, ≪専門≫-Ⅲ-7-A-c, ≪専門≫-Ⅳ-4-A-a, ≪専門≫-Ⅳ-4-A-g	
履修条件・履修上の注意	講義資料は配布期間内に各自印刷もしくはP Cにダウンロードして持参する。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： スポーツ理学療法学

授業コード： 4P109

英文科目名称： Physiotherapy in Sports

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
城下 貴司			

授業形態	講義(5.5コマ)、実習(9.5コマ)	担当者
授業計画	第1回 スポーツ傷害の理学療法総論(講義) 今後の講義予定 スポーツ傷害に対する演習、保険診療における絆創膏固定について	城下
	第2回 スポーツ傷害の理学療法総論(講義) スポーツ医学とアスレチックリハビリテーション 概論	城下
	第3回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) スポーツマニュアルセラピーとテーピングの巻き方、扱い方 概論	城下
	第4回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) ハムストリングズの肉離れに対するスポーツテーピング	城下
	第5回 スポーツ傷害に対する演習 グループ毎に事前課題あり(一部講義と演習) 課題について解説し、胸椎のスポーツマニュアルセラピーについて講義と実技を行う	城下
	第6回 スポーツ傷害に対する演習 グループ毎に事前課題あり(一部講義と演習) 課題について解説し、腰椎のスポーツマニュアルセラピーについて講義と実技を行う	城下
	第7回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) シンスプリントに対するスポーツテーピング	城下
	第8回 スポーツ傷害に対する演習 グループ毎に事前課題あり(一部講義と演習) 股関節に対するスポーツマニュアルセラピー	城下
	第9回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) アキレス腱周囲炎に対するスポーツテーピング	城下
	第10回 スポーツ傷害に対する演習 グループ毎に事前課題あり(一部講義と演習) 課題について解説し、肩関節に対するスポーツマニュアルセラピーについて講義と実技を行う	城下
	第11回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) ランナー膝および鷲足炎に対するスポーツテーピング	城下
	第12回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) 足関節捻挫と靭帯損傷に対するスポーツテーピング(アンダーラップとアンカー)	城下
	第13回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) 足関節捻挫と靭帯損傷に対するスポーツテーピング(アンダーラップ、アンカー、スターアップまで)	城下
	第14回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) 足関節捻挫と靭帯損傷に対するスポーツテーピング(アンダーラップ、アンカー、スターアップ、ヒールロックまで)	城下
	第15回 スポーツ傷害に対する演習(一部講義と演習) 足関節捻挫と靭帯損傷に対するスポーツテーピング(アンダーラップ、アンカー、スターアップ、ヒールロック、フィギアエイト、ヒールロックまで)	城下
科目の目的	本講座の目的は、スポーツ傷害に対する基礎知識とその理学療法の評価・治療手技の習得すること。 *ディプロマ・ポリシー：【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ傷害に関する基礎知識を列挙することができる。 ・スポーツ傷害に対する理学療法評価の意義・目的・評価過程・判断基準を列挙できる。 ・スポーツ傷害に対する基本的なスポーツマニュアルセラピーの治療手技を適正に実践できる。 ・絆創膏固定が遂行できる。 	
関連科目	運動器解剖学、局所解剖学、表面解剖学と触診法、生理学ⅠおよびⅡ、運動学、臨床運動学、運動学実習、整形外科学、理学療法診断学、基礎理学療法診断学演習、運動機能系理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、脊髄疾患理学療法学演習	
成績評価方法・基準	定期試験(筆記試験50%、実技試験40%)、課題レポート10% 筆記試験は100点満点で実施するが50点満点に換算する、実技試験は100点満点で実施するが40点満点に換算する、課題はすべて期限内に提出されていれば10点満点とする。合算したのちに100点満点に換算して成績評価を行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前にグループ単位で準備学習に1時間(実時間45分)程度は必要となる。	

教科書	教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 上肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 下肢編 ブイツーソリューション 星雲社 教科書：城下貴司 運動機能系理学療法診断学 脊柱編 ブイツーソリューション 星雲社
参考書	参考書：細田 多穂：理学療法ハンドブック第2 巻治療アプローチ 協同医書
オフィス・アワー	水曜日：12：10～13：00 場所は603研究室
国家試験出題基準	《専門》-V-1-F
履修条件・履修上の注意	運動機能系理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、脊髄疾患理学療法学演習をよく復習しておくこと
アクティブ・ラーニングの実施	第5、6、8、10回は反転授業形式を基本とする。 第3、4、7、9、11、12、13、14、15回はスポーツテーピングの体験学習形式を基本とする。
ナンバリング	PSo-310

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美			

授業形態	講義（7コマ）・演習（8コマ）	担当者
授業計画	<p>第1回 講義：ガイダンス／ADLの概念と範囲 ADL, APDLなど言葉の定義, リハビリテーションにおける範囲について 生活機能からみたADLの位置づけ</p> <p>第2回 講義：ADLの評価① ADL評価の目的・基準・尺度 ADL評価のポイント</p> <p>第3回 講義：ADLの評価② 代表的なADL評価表について</p> <p>第4回 演習：ADL評価の実際／セルフケアの構成要素① セルフケア（食事・排泄・入浴・更衣・整容）を細項目に分解する（グループワーク） 細目動作を各関節の運動で表現し、表に記入する</p> <p>第5回 演習：ADL評価の実際／セルフケアの構成要素② セルフケアの構成要素をグループごとに発表（デモンストレーションを交えて行う） 講義終了時、発表に使用した表をグループごとに1通提出</p> <p>第6回 講義：基本動作① 基本動作の定義・意味／臥位・座位・立位姿勢</p> <p>第7回 演習：基本動作② 臥位から立位までの正常動作の流れ／介助が必要な場合の介助法</p> <p>第8回 演習：移動補助具（杖・松葉杖・歩行器）① 移動補助具の定義・種類・適応／杖の合わせ方・杖歩行 課題：T字杖歩行の指導用ハンドアウトの作成A4枚＜患者さんまたは家族へ分かりやすく説明する＞ 次の講義時提出／課題のフィードバックは、返却時個人および全体へ行う</p> <p>第9回 演習：移動補助具（杖・松葉杖・歩行器）② 松葉杖の合わせ方／松葉杖歩行／歩行器歩行 実技では患者さんへ松葉杖歩行を指導するよう、分かりやすい言葉を用いて行う</p> <p>第10回 講義：移動補助具（車いす）① 車いすの基本構造と名称・種類・適応</p> <p>第11回 演習：移動補助具（車いす）② 車いすの合わせ方（身体計測）⇒自身に合った車いす寸法を計算できる／車いす操作（自操・介助）</p> <p>第12回 演習：複合動作練習 移動（床上移動動作）・移乗（車いす⇄ベッド・椅子）動作と介助法</p> <p>第13回 講義：ADL評価＜FIM＞1 FIMの理解と実践</p> <p>第14回 演習：ADL評価＜FIM＞2 運動項目と認知項目を実践しながら理解を深める</p> <p>第15回 講義：リハビリテーション支援機器 移乗関連機器・自助具</p>	浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美 浅田春美
科目の目的	日常生活活動（ADL）の概念とその範囲＜起居・移動，食事，排泄，入浴，更衣，整容＞・より広い日常生活関連動作、QOLなどの概念との関係を理解する。またADL動作の分析・評価方法、また患者さんや家族への練習・指導方法などについて学習する。さらに日常生活活動各動作の自立度の改善向上に有効な手段である歩行補助具、車いすなどの使用法、適応などについて学ぶ。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ADL・APDL・IADL・QOL の概念や範囲を説明できる。 2. 代表的なADL 評価法の目的と活用法について説明できる。 3. 基本動作を含むADL を運動学的にとらえ、模倣することができる。 4. 移動・移乗動作の指導・介助ができる。 5. 移動補助具の基本構造が説明でき、適合・指導することができる。 	
関連科目	人間発達学，障害と理学療法，運動学，臨床運動学，理学療法診断学，生活環境学，地域理学療法学，地域リハビリテーション学，運動機能系理学療法診断学演習，運動機能系理学療法治療学演習	

	習, 神経機能系理学療法診断学演習, 神経機能系理学療法治療学演習 I・II, 発達支援理学療法学, 高次脳機能評価学, 装具学, 義肢学, 福祉機器論, 見学実習, 評価学実習, 地域理学療法実習, 総合臨床実習 I, 総合臨床実習 II
成績評価方法・基準	筆記試験(80%), 演習・課題への取り組みおよび提出(20%)
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・授業前にテキストを読み、疑問点について調べる <解剖学・運動学等の復習> ・実技演習後のまとめ(教科書を参考に自筆ノートの作成など)、国家試験問題の解答などに取り組む。 1コマあたり4時間の予習・復習が必要。
教科書	1. 細田多穂監修, 河元岩男他編: シンプル理学療法学シリーズ日常生活活動学テキスト改訂第3版, 南江堂, 2020 2. 千野直一他: 脳卒中の機能評価 SIASとFIM, 金原出版株式会社, 2020
参考書	1. 勝平純司他著: 介助にいかすバイオメカニクス, 医学書院, 2011.
オフィス・アワー	610研究室: 講義開講曜日: 12:10~13:00
国家試験出題基準	<専門>-I-3-I, <専門>-I-3-Q~S, <専門>-III-4-A~E, <専門>-III-5-A~B, <専門>-IV-4-A-c~d, <専門>-IV-4-A-f, <専門>-IV-4-A-h, <専門>-IV-6-A~E, <専門>-IV-7-A~B, <専門>-IV-8-A, <専門>-IV-8-C, <専門>-V-1-L~M
履修条件・履修上の注意	実技演習の場合には、動きやすい服装で出席すること
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習, グループワーク, 問題解決学習
ナンバリング	PSo-205

講義科目名称： 高齢者理学療法学演習

授業コード： 4P111

英文科目名称： Practice in Physiotherapy for Geriatrics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資	林 翔太		

授業形態	講義6回、学内演習9回		担当者
授業計画	1. 講義	講義の概要・オリエンテーション、地域包括ケアシステムについて	岡崎
	2. 講義	フレイル予防と理学療法	岡崎
	3. 講義	高齢者に対する基本的な理学療法評価	岡崎
	4. 講義	高齢者の体力の向上に対する科学的根拠	岡崎
	5. 講義	高齢者の体力の向上に対する介入方法	岡崎
	6. 講義	介護予防事業における理学療法士の役割	岡崎
	7. 演習	介護予防事業計画の立案 高齢者の身体・心理・社会的特徴の検討（グループワーク）1	岡崎
	8. 演習	介護予防事業計画の立案 ロコモティブシンドローム、メタボリックシンドロームの検討（グループワーク）2	岡崎
	9. 演習	介護予防事業計画の立案 フレイルの検討（グループワーク）3	岡崎
	10. 演習	介護予防事業計画の立案 生活における行動マネジメントの検討（グループワーク）4	岡崎
	11. 演習	介護予防事業計画の立案 地域社会との連携の検討（グループワーク）5	岡崎
	12. 演習	介護予防事業計画の立案 自主グループ化に関する問題と展望の検討（グループワーク）6	岡崎
	13. 演習	介護予防事業計画の発表（発表会）	岡崎
	14. 演習	介護予防事業のマネジメント1（学内演習）	岡崎・林
	15. 演習	介護予防事業のマネジメント2（学内演習）	岡崎・林
科目の目的	地域理学療法学で習得した内容を基礎として、それらを実践的に活用できる思考および技術を習得する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	介護予防に関する制度や概念を理解し、説明できる。介護予防事業における事業計画を立案できる。高齢者に対する理学療法評価、理学療法介入の知識・技術を習得する。		
関連科目	日常生活活動学、地域理学療法学、生活環境学、運動機能系理学療法診断学演習・治療学演習、神経機能系理学療法診断学演習・治療学演習、内部機能系理学療法診断学演習・治療学演習、発達支援理学療法学、見学実習、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ		
成績評価方法・基準	グループワークの討議と実践（50%）、課題提出（50%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「地域理学療法学」の内容を復習する。また、前回の講義の内容を復習し、次回の講義との関連性を事前に理解して講義に臨むこと。必要な学習時間の目安は45分程度とする。		
教科書	「運動療法学各論 高齢者の機能障害に対する運動療法」市橋則明編（文光堂）		
参考書	指定しない。		
オフィス・アワー	月曜日13時-14時 岡崎研究室にて		
国家試験出題基準	《専門》-IV-10-A, 《専門》-V-1-G~H, 《専門》-V-1-J		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	高齢者に対する介護予防の知識を基に、課題を発見し、その課題を解決する方法をグループワークとして検討する。		

ナンバリング	PSo-311
実務経験のある教員による授業	
実務経験	岡崎 大資（理学療法士）、林 翔太（理学療法士）
授業の概要	理学療法の対象者において、高齢者は多くを占めている。演習では地域在住の高齢者を対象とする地域理学療法について、見学・体験実習を実施することで、医療的視点に加え生活に対する視点を持つとともに、地域における高齢者に対する理学療法士の役割について学ぶ。併せて、地域理学療法に従事するために熟知しておくべき法制度を学ぶとともに、法制度に基づく分野での理学療法の目的、現況等を、各法制度の目的や方法、制定に至った歴史的背景、具体的事例等を通して学習する。

講義科目名称： リハビリテーション栄養学

授業コード： 4P112

英文科目名称： Rehabilitation Nutrition

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	棚橋由佳		

授業形態	講義8コマ（講義内に演習時間を設ける）		担当者
授業計画	第1回	リハビリテーションと栄養 なぜリハビリテーション栄養が必要か/リハビリテーション栄養の定義	浅田春美
	第2回	運動栄養学とリハビリテーション サルコペニア、栄養と運動のタイミング、筋力・持久力を高める栄養	浅田春美
	第3回	リハビリテーション栄養チームにおけるPT・OT・STの役割/リハビリテーション栄養ケアプロセス① NSTとリハビリテーションの関連/リハビリテーション栄養ケアプロセスとは	浅田春美
	第4回	リハビリテーション栄養ケアプロセス② リハビリテーション栄養アセスメント・診断推論	浅田春美
	第5回	リハビリテーション栄養ケアプロセス③ リハビリテーション栄養診断（低栄養・過栄養のリスク状態/栄養素の不足状態など）	浅田春美
	第6回	リハビリテーション栄養ケアプロセス④	浅田春美
	第7回	主な疾患のリハビリテーション栄養1 廃用症候群、脳卒中、パーキンソン病、がん、関節リウマチ	棚橋由佳
	第8回	主な疾患のリハビリテーション栄養2 誤嚥性肺炎、褥瘡、大腿骨頸部骨折、慢性閉塞性肺疾患、慢性心不全	棚橋由佳
科目の目的	リハビリテーションの対象者における身体エネルギーや身体構造のために必要な栄養学の重要性と概要を理解する。 栄養障害・サルコペニア・栄養素摂取の評価によるリハビリテーション栄養スクリーニングやアセスメントについて学習する。運動栄養学では栄養と運動のタイミングや筋力・持久力を高める栄養など概説し、栄養不良時の栄養管理と運動や活動量の目標設定、リハ栄養介入の実施方法などを学ぶ。また栄養サポートチーム（NST）の構成員、他職種での取り組みの必要性・重要性について学び、具体的な症例について検討を行い一部演習にて理解を深める。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. リハビリテーション対象者に栄養障害が多く、栄養管理が必要であることを理解する 2. 栄養障害・サルコペニア・フレイルなどの状態と評価方法を理解する 3. リハビリテーション栄養ケアプロセスについて理解する 4. 主な疾患のリハビリテーション栄養（評価・ゴール設定・ケアプラン）について理解する		
関連科目	多職種理解と連携、臓器解剖学、生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学、公衆衛生学、整形外科学、神経内科学、リハビリテーション医学、栄養学、緩和医療学、基礎運動療法、高齢者理学療法学習、スポーツ理学療法		
成績評価方法・基準	演習での成果物40％、筆記試験60％		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	栄養学、生理学、生化学、臨床検査学などで学んだ栄養・代謝に関する内容を復習。 リハビリテーション医学で学んだ対象疾患についての復習。 事例演習では、講義内容を踏まえた予習。 1コマあたり4時間の予習・復習。		
教科書	若林秀隆著：PT・OT・STのためのリハビリテーション栄養第3版、医歯薬出版株式会社、2020		
参考書	1. 栢下淳、若林秀隆編著：リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎第3版、医歯薬出版株式会社、2023 2. 吉村芳弘編：CrossLink basicリハビリテーションテキスト栄養学・生化学、メディカルビュー、2023		
オフィス・アワー	浅田（610研究室）：水曜日12：10～13：00 講義開講曜日12：10～13：00 棚橋：講義開講曜日12：10～13：00（非常勤講師室）		
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-4-C-m、《専門》-Ⅰ-3-L、《専門》-Ⅳ-5-A-c、《専門》-Ⅳ-5-H		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学習、ディスカッション		
ナンバリング	PSo-312		

講義科目名称： 福祉機器論

授業コード： 4P113

英文科目名称： Adaptation to Assistive Device Use

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
南 征吾	近藤 健	石代 敏拓	

授業形態	講義8コマ（演習および実習、校外学習を併用して実施）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーションおよびガイダンス	南・近藤・石代
	第2回	自助具、福祉用具の総論および各論	南・近藤・石代
	第3回	自助具①（生活に困っている人に合わせて自助具を作成）	南・近藤・石代
	第4回	自助具②（生活に困っている人に合わせて自助具を作成）	南・近藤・石代
	第5回	自助具③（作成した自助具について説明）	南・近藤・石代
	第6回	福祉用具①（福祉用具の作成）	南・近藤・石代
	第7回	福祉用具②（作成した福祉用具の説明）	南・近藤・石代
	第8回	福祉機器論の総括	南・近藤・石代
科目の目的	住宅や施設で生活する対象者の日常生活を支援するため、適切な福祉用具の活用と住環境の適応について考える。なお、福祉機器によって対象者の個人にあわせた問題解決にむけて、問いを立て続ける能力を学ぶ。 特に、以下を目的に実施する。 1. 理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養 2. 理学療法の実践に向かうための必要な基礎医学、臨床医学、理学療法学の基本的知識及び技術 3. 地域に根差したリハビリテーションの必要性和多職種連携による問題解決の重要性の理解 4. 自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力		
到達目標	1) 福祉用具論に関して、福祉用具と住環境の位置づけを論理的に説明することができる。 2) 対象者の「自立的な生活」を支援する、福祉用具の基礎から適応までを説明することができる 3) 対象者に「自立的な生活」を支援する、福祉用具の製作することができる。		
関連科目	日常生活活動学、身体障害関連（脳卒中、脊髄損傷、整形外科疾患） など		
成績評価方法・基準	期末試験等50%、レポート課題等30%、グループワークの取り組み20% フィードバック等はオフィス・アワードを含め随時する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	指定した参考書を読んでおくこと。範囲については毎回の授業で指定する。 準備学習に必要な学習時間は1コマあたり180分程度とする。		
教科書	特になし		
参考書	随時紹介		
オフィス・アワー	講義当日の昼休み、場所は各教員の研究室		
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-7-B, 《専門》-Ⅳ-4-A-f, 《専門》-Ⅳ-4-A-h, 《専門》-Ⅴ-1-L~M		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	福祉機器に係るテーマに対象者の「自立的な生活」を支援する手立てを「Tink-pair-share」の学習方法によって意見交換しながら実施する。また、ブレインストーミングを用いて活気のある意見交換につなげる。		
ナンバリング	PSo-313		

講義科目名称： 作業療法理論

授業コード： 4P114

英文科目名称： Theories of Occupational Therapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
石井 良和			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション (クライアント中心の諸理論の概説)	石井良和
	第2回 生体力学モデル, 運動コントロールモデル	石井良和
	第3回 感覚統合モデル, 人間作業モデル	石井良和
	第4回 意図的關係モデル, 認知モデル	石井良和
	第5回 カナダ作業遂行モデル, 機能的グループモデル	石井良和
	第6回 人間作業モデル	石井良和
	第7回 システム論 (Dynamical System Theory), 接面パラダイムと現象学	石井良和
	第8回 まとめとレポート課題の提示	石井良和
科目の目的	現代作業療法の諸理論・モデルを概観し, とくにシステム理論的発想からクライアント中心の実践を導く人間作業モデルの理解を深めることによって, 多職種連携による問題解決の重要性を理解する。【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	現代作業療法の諸理論の概略を説明できる。 人間作業モデルにおけるシステム理論を説明できる。 人間作業モデルを症例に当てはめて考えることができる。 関与観察による主観的クライアント理解 (接面的パラダイム) について説明できる。	
関連科目	理学療法概論, 多職種理解と連携	
成績評価方法・基準	授業中の発言や授業への態度 (20%), 授業課題 (10%), レポート (70%) を総合して評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	オリエンテーションで紹介する文献等を読み, 各講義の内容に対して, わかりにくい概念などをチェックし, 復習時に確認しておくこと。1コマあたり180分程度を目安として準備をしてください。	
教科書	教科書: 作業療法実践の理論 原書第4版 医学書院	
参考書	なし	
オフィス・アワー	講義当日は昼休みを中心とするが, その後は18時まで可。他の曜日は事前に連絡をすれば可。場所は石井研究室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	
ナンバリング	PSo-314	

講義科目名称： 就労支援技術論

授業コード： 4P115

英文科目名称： Vocational Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
馬場 順子			

授業形態	講義7コマ，施設見学1コマ		担当者
授業計画	第1回	職業リハビリテーションの概念，働くことの意義と関連する理論	馬場
	第2回	就労支援の基本的知識①	馬場
	第3回	就労支援の基本的知識②	馬場
	第4回	就労支援のアセスメント	馬場
	第5回	就労支援におけるセラピストの役割と機能	馬場
	第6回	障害特性と職業的課題①（身体障害・知的障害領域）	馬場
	第7回	障害特性と職業的課題②（精神障害・発達障害領域）	馬場
	第8回	就労支援施設の見学 ※レポート課題あり	馬場
科目の目的	理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく，就労支援における社会の動きと仕組みや多職種とのコミュニケーションを含む教養と，実践に必要な就労支援の基本的知識及び技術を理解し，地域に根差したリハビリテーションの必要性と多職種連携による問題解決の重要性の理解を目的とし，問題解決のために検討・分析できることを目的とする。		
到達目標	1. 障害者雇用の現状と就労支援の意義を理解し，関連する社会資源や関連職種の理解を深める。 2. 就労支援におけるセラピストの役割と機能を理解し，障害特性に応じた就労支援技術の理解を深める。		
関連科目	障害と理学療法，社会福祉・地域サービス論，チーム医療とリハビリテーション		
成績評価方法・基準	試験70%，レポート課題30%を合わせて評価する。Active Academyまたは口頭でフィードバックする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1. 障害者就労に関心を持ち，就労支援施設や障害者雇用に関する企業情報などを得ておく。 2. 講義内でふれた内容について理解を深め，疑問点を整理する。 ※事前学習に必要な学習時間の目安は1コマあたり2時間とする。		
教科書	教科書：なし		
参考書	参考書1：「就業支援ハンドブック」独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構 参考書2：「キャリア支援に基づく職業リハビリテーションカウンセリング-理論と実際-」松為信雄（ジアース教育新社）		
オフィス・アワー	講義終了日の17時まで。馬場研究室。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	施設見学による体験学習を含む。		
ナンバリング	PSo-315		

講義科目名称： 災害保健学

授業コード： 4P116

英文科目名称： Disaster Response and Recovery

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
石井 良和	村田 和香	竹原 敦	

授業形態	講義8コマ	担当者
授業計画	第1回 大規模災害の定義，災害リハビリテーションの概要 第2回 災害リハビリテーション対応の原則 第3回 災害後の課題とその対応① 第4回 災害後の課題とその対応② 第5回 被災者間コミュニケーション，集団の影響 第6回 精神心理的支援，支援者のストレスとセルフケア 第7回 事例検討 *レポート課題 第8回 発表とまとめ レポート課題のフィードバック	石井良和 石井良和 村田和香 村田和香 竹原敦 竹原敦 石井良和 石井良和
科目の目的	被災者を支援するための知識等を整理し，自然災害時及び緊急災害援助，PTSDの対処方法について学ぶ。 【倫理感と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	①医療福祉専門職として，災害への備えと災害時のセルフケアの重要性を説明できる。 ②災害により被災者が受ける精神心理的・身体的影響を理解し，個人・集団・行政の視点から適切な支援を検討するための基礎知識を習得する。	
関連科目	救急・免疫・感染症学，地域理学療法	
成績評価方法・基準	レポート（20%），期末試験（80%）を合わせて評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	①資料の該当箇所を読み復習予習する。 ②グループワークでは，各自でリサーチを行い担当資料を整理しておく。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間（実時間180分）とする。	
教科書	教科書：なし。適宜資料を配布。	
参考書	参考書：災害リハビリテーション標準テキスト（医歯薬出版株式会社）	
オフィス・アワー	授業終了後の1時間各研究室を原則としますが，担当教員に連絡してアポイントメントをとって随時可能。	
国家試験出題基準	《専門》-V-1-D	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	反転授業をもとにしたグループディスカッションを行い，問題発見と解決を繰り返す。	
ナンバリング	PSo-316	

講義科目名称： 地域理学療法学

授業コード： 4P117

英文科目名称： Community-Based Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満			

授業形態	講義8回	担当者
授業計画	<p>第1回 地域理学療法総論 地域理学療法の歴史と現況、地域リハに関わる職種と連携、医療と介護の流れ</p> <p>第2回 介護保険制度と理学療法1 居宅介護サービスと施設サービス、介護予防サービス、地域密着型介護サービス</p> <p>第3回 介護保険制度と理学療法2 居宅介護支援、要介護認定、個別リハビリ・個別機能訓練</p> <p>第4回 介護保険制度と理学療法3 地域支援事業、地域包括ケアシステム、障害者総合支援法、確認課題</p> <p>第5回 地域理学療法実践論1 地域における対象者の特徴と捉え方、病院での理学療法との違い</p> <p>第6回 地域理学療法実践論2 対象者ニーズの特徴と把握の手法</p> <p>第7回 地域理学療法実践論3 地域理学療法の実例検討（転倒予防、認知症）</p> <p>第8回 地域理学療法実践論4 地域理学療法の実例検討（ターミナルケア、QOL測定）、確認課題</p>	<p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p>
科目の目的	<p>在宅生活を送る医療施設退院後の高齢者や障害者などへの理学療法である地域理学療法の概念、制度、対象者の捉え方、評価、治療、援助などの手法を理解する。 【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域理学療法に関連した保健・福祉に関する概念・歴史の概略を説明できる。 2. 地域理学療法に関連する制度とその課題について説明できる。 3. 介護保険制度や地域支援事業における理学療法の目的・特質を説明できる。 4. 地域理学療法の対象者の捉え方、評価、治療、援助法の特徴が説明できる。 5. 通所や訪問施設における理学療法の治療・援助法が説明できる。 6. 病院での理学療法と地域での理学療法の違いを説明できる。 	
関連科目	<p>日常生活活動学、高齢者理学療法学演習、生活環境学、地域リハビリテーション学、運動機能系理学療法診断学演習、運動機能系理学療法治療学演習、神経機能系理学療法診断学演習、神経機能系理学療法治療学演習、内部機能系理学療法治療学演習、評価学実習、地域理学療法実習、総合臨床実習I、総合臨床実習II</p>	
成績評価方法・基準	<p>定期テスト(60%)、課題(40%)</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>前回の講義の内容を復習し、次回の講義との関連性を事前に理解して講義に臨むこと。復習90分、事前学習90分を目安とする。</p>	
教科書	<p>「標準理学療法学専門分野地域理学療法学第5版」 牧田光代・金谷さとみ編(医学書院)</p>	
参考書	<p>特に指定しない</p>	
オフィス・アワー	<p>日時： 講義日の17:50～18:20 場所： 1号館6階611号室</p>	
国家試験出題基準	<p>《専門》-V-1-A, 《専門》-V-1-C~G, 《専門》-V-1-I, 《専門》-V-1-L~M, 《専門》-V-2-A-a~1, 《専門》-V-2-B-a~1, 《専門》-V-2-C-a~1, 《専門》-V-2-D-a~1</p>	
履修条件・履修上の注意	<p>特になし</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>実施予定なし</p>	
ナンバリング	<p>PSp-301</p>	

講義科目名称： 地域リハビリテーション学

授業コード： 4P118

英文科目名称： Community-based Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	村田 和香	馬場 順子	岡田 直純
	浅田 春美	加茂 智彦	

授業形態	講義（3回）、演習（5回）		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション 総論（講義） 地域で生活する高齢者・障害者の実態と保健・医療・福祉によるサービス提供	佐藤, 村田
	第2回	地域理学療法の実践（講義） 在宅高齢者・障害者に対する地域理学療法の意義と具体的実践例	佐藤, 村田
	第3回	地域作業療法の実践（講義） 在宅高齢者・障害者に対する地域作業療法の意義と具体的実践例	村田, 佐藤
	第4回	グループ討議1 地域在住の高齢者のフレイル対策としての理学療法士・作業療法士の関りの検討	村田, 馬場, 岡田, 佐藤, 浅田, 加茂
	第5回	グループ討議2 地域在住の高齢者のフレイル対策としての理学療法士・作業療法士の関りの検討	村田, 馬場, 岡田, 佐藤, 浅田, 加茂
	第6回	グループ討議3 自宅退院後の脳血管疾患片麻痺患者の日常生活における活動性低下防止のための関りの検討	村田, 馬場, 岡田, 佐藤, 浅田, 加茂
	第7回	グループ討議4 自宅退院後の脳血管疾患片麻痺患者の日常生活における活動性低下防止のための関りの検討	村田, 馬場, 岡田, 佐藤, 浅田, 加茂
	第8回	発表会 それぞれのグループ討議のまとめをパワーポイント等を用いてプレゼンテーションする。	村田, 馬場, 岡田, 佐藤, 浅田, 加茂
科目の目的	<p>全ての人々がより良い生活を実践し、安寧で豊かな人生を達成するための関わりをもつ理学療法及び作業療法の意義と目的について学習する。地域で生活する高齢者・障害者の生活上の問題や課題を関し、それらを解決するための具体的方法について、グループワークを基に学習し、理学療法及び作業療法学科学生を持つ視点・価値観を共有する。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域で生活する高齢者・障害者の生活上の多様な問題や課題を理解し説明できる。 2. 保健・医療・福祉に関連する法律と各専門職種の役割の大枠を理解し、サービス提供方法を説明できる。 3. 対象者の問題や課題の解決方法を理学療法・作業療法・言語聴覚の視点から価値観を共有しつつ具体的介入方略を検討し、説明できる。 4. 対象者の問題や課題の解決方法を公的・非公的社会的資源の知識を基に具体的なサービス提供方法を検討し、説明できる。 		
関連科目	多職種理解と連携、リハビリテーション概論、チーム医療とリハビリテーション、社会福祉・地域サービス		
成績評価方法・基準	グループ討議に関するレポート（60%）、発表会（40%）：グループ討議中、発表会後に全体討論を含めたフィードバックを行う		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義では前回の講義内容の復習と次回の講義内容との関連性を事前に理解して講義に臨むこと必要な学習時間の目安は概ね復習90分と事前学習90分である		
教科書	特に定めない		
参考書	特に定めない		
オフィス・アワー	講義終了日の17時まで。各教員の研究室。		
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅲ-2-E-e, 《専門基礎》-Ⅲ-2-F, 《専門》-V-1-B		
履修条件・履修上の注意	特になし		

アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ディスカッション, グループワークを含む (計5コマ)
ナンバリング	PSp-302

	教科書：今すぐ使えるかんたん JW-CAD（改訂第二版） 技術評論社
参考書	参考書：「共生のユニバーサルデザイン」学芸出版社 参考書：「生活環境論」 医歯薬出版
オフィス・アワー	講義日もしくは月曜日12：00～13：00
国家試験出題基準	《専門》-I-3-T, 《専門》-IV-8-B, 《専門》-V-1-K
履修条件・履修上の注意	事前学修しておくことが望ましい
アクティブ・ラーニングの実施	PCを用いた演習を実施する予定である。極力OSはWINDOWSで用意しておくことが望ましい 課題の内容について適宜フィードバックを行う
ナンバリング	PSp-303

講義科目名称： 国際保健学

授業コード： 4P120

英文科目名称： Global Health

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	4学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
石井 良和	村田 和香	竹原 敦	南 征吾
	近藤 健		

授業形態	講義とディスカッションを各担当教員ごとに行う。講義により基本事項を共有し、事前提示資料を基に自己学習し、参加者間討議を行う。各ディスカッションを共有するために発表・討議を行う。		担当者
授業計画	第1回	WHOの健康の定義、健康の概念、健康政策	石井良和
	第2回	前回の授業をふまえたディスカッション	石井良和
	第3回	グローバルヘルスとSDGs	村田和香
	第4回	前回の授業をふまえたディスカッション	村田和香
	第5回	健康格差と格差社会	竹原敦
	第6回	前回の授業をふまえたディスカッション	竹原敦
	第7回	諸外国の医療事情	南征吾・近藤健
	第8回	まとめとレポート課題の提示	石井良和
科目の目的	世界における健康問題の現状と課題を学ぶ。特に、格差社会を背景とした健康・栄養格差等についてとその要因を個人から地球レベルでとらえることで国際的な健康課題を理解する。【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. 国際保健活動の取組みの概要と課題を述べるができる。 2. 国際保健上の課題解決のために必要な国際協調の重要性を理解できる。 3. 国際的な課題に主体的に取り組み、自ら思考しながら学修できる。		
関連科目	リハビリテーション概論, 理学療法概論		
成績評価方法・基準	プレゼンテーション50%, レポート50%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業の前後で各90分程度の準備・復習が必要		
教科書	とくに指定なし。資料は各教員が配布する。		
参考書	なし		
オフィス・アワー	授業終了後の1時間各研究室を原則としますが、担当教員に連絡してアポイントメントをとって随時可能。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	各教員ごとのテーマについてグループディスカッションを実施し、発表する。		
ナンバリング	PSp-401		

講義科目名称： 見学実習

授業コード： 4P121

英文科目名称： Clinical Clerkship

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	高橋正明, 佐藤満	鈴木学, 木村朗	目黒力, 富田浩, 岡崎大資
	黒川望, 橋口優	城下貴司, 田辺将也	加茂 智彦, 林翔太

授業形態	事前学内準備学習（2時間）、学外実習（1週間：40時間）、実習後まとめ・報告会（3時間）		担当者
授業計画	1	事前学内準備学習／オリエンテーション（2時間） 見学実習施設に関する情報収集、 見学実習の実習目的・実習内容等の説明、自己の目標設定など	鈴木, 浅田, 橋口, 田辺, 加茂
	2	学外臨床実習（40時間） 病院・施設等学外実習施設における見学実習（臨床実習）	各施設（学外）実習指導者
	3	事後学習（1時間） ポートフォリオのまとめ学習	高橋, 富田, 鈴木, 浅田, 加茂
	4	実習後意見交換会（2時間） 見学実習で学んできたことについての振り返りと意見交換。自己目標に対するフィードバック	佐藤, 木村, 目黒, 鈴木, 浅田, 橋口, 田辺, 林
科目の目的	病院・施設等における理学療法の臨床場面の見学を通し、社会人・専門職としての基本的態度を養い、また、見学施設での理学療法士の役割、理学療法業務、リハビリテーションの中での理学療法士の位置づけを理解することを目的とする。 3年次での評価学実習、4年次の総合臨床実習Ⅰ・Ⅱに向けての導入・準備のための実習と位置づける。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】		
到達目標	1. 社会人・専門職としての基本的態度を身につける。 2. 見学施設における理学療法士所属部署の位置づけ、他職種との関連を理解する。 3. 見学施設における理学療法の対象を理解する。 4. 見学施設における理学療法業務を理解する。		
関連科目	2年次までの履修科目全般。評価学実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ		
成績評価方法・基準	学外臨床実習成績（ルーブリック評価）30%、学内評価（事前準備学習、ポートフォリオ、報告会参加などのルーブリック評価）70%を総合して評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学内準備学習内容：医療面接、理学療法評価（バイタルチェック、形態計測、関節可動域測定）技術、移乗動作介助の復習など。		
教科書	指定なし（各学年、講義で使用した教科書）		
参考書	岡田慎一郎他：理学療法臨床実習サポートブック，医学書院，2015 その他、各講義で使用した教科書		
オフィス・アワー	学外実習のため特に設定せず。電話にて適宜、フォローアップ。		
国家試験出題基準	《専門》-VI-1-A～I		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	臨床実習（診療参加型実習）		
ナンバリング	PSq-201		
実務経験のある教員による授業			
実務経験	浅田 春美（理学療法士）、高橋 正明（理学療法士）、佐藤 満（理学療法士）、木村 朗（理学療法士）、鈴木 学（理学療法士）、目黒 力（理学療法士）、富田 浩（理学療法士）、岡崎 大資（理学療法士）、城下 貴司（理学療法士）、黒川 望（理学療法士）、橋口 優（理学療法士）、加茂 智彦（理学療法士）、林 翔太（理学療法士）、田辺 将也（理学療法士）		
授業の概要	学内で学んだ理学療法の基礎知識を基に、病院・施設での見学実習を通じて、理学療法の業務全般を体験して学ぶ。具体的には、理学療法の対象疾患、理学療法の流れ、理学療法評価、理学療法の治療法、リハビリテーションでの位置づけ等を実体験する。		

講義科目名称： 評価学実習

授業コード： 4P122

英文科目名称： Bedside Assessment Practicum

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	5単位	必修
担当教員	担当者		
橋口 優			

授業形態	学外実習		担当者
授業計画	4コマ 実習前学習 実習オリエンテーション、事前学内提出資料作成、ポートフォリオ資料等作成		学科実習委員
	6コマ 実習前OSCE：実技確認試験		担当プロパー教員
	4週間 病院、施設での実習 病院、施設の実習指導者による指導		学外の実習指導者
	2.5時間 実習訪問での実習指導者との意見交換 各医療機関へ専任教員が訪問し、実習の経過・進捗の確認、その他臨床実習指導者との打ち合わせなどを実施		プロパー教員全員
	2.5時間 実習訪問での学生指導 各教員6ヶ所訪問し、1ヶ所2.5時間の学生指導の実施		担当プロパー教員
	2.5時間 実習訪問での実習指導者との意見交換と学生指導 学生への個別指導		担当プロパー教員
	2.5時間 実習訪問での実習指導者との意見交換と学生指導 学生への個別指導		担当プロパー教員
	2.5時間 実習訪問での実習指導者との意見交換と学生指導 学生への個別指導		担当プロパー教員
	2.5時間 実習訪問での実習指導者との意見交換と学生指導 学生への個別指導		担当プロパー教員
	4コマ 実習後学内学習 ポートフォリオ作成・完成		学科実習委員
	6コマ 実習後OSCE：実技確認試験		担当プロパー教員
	2.5コマ 成果報告会		学科プロパー教員
科目の目的	<p>病院・施設等の実習指導者の指導のもとに、既習の知識を総動員し患者の臨床的問題を解決するための情報収集、理学療法評価、理学療法診断、問題点抽出、目標設定ができるようになる。</p> <p>【知識・理解】理学療法士としての基礎的知識と、社会人としての教養を身につける。</p> <p>【思考・判断】理学療法分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断力を身につける。</p> <p>【技能・表現】先進・高度化する専門分野の基本的技術を身につけ、チーム医療を実践するためのコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>【関心・意欲】専門分野を探究する意欲を持つとともに、人と社会に深い関心を持つ</p> <p>【態度】人権を尊重し、高い倫理観をもって社会に貢献する姿勢を身につける。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人・専門職としての基本的態度を身につける。 2. 理学療法を実施するのに必要な患者の情報を収集することができる。 3. 患者の疾患、障害に即した検査・測定を選択、実施することができる。 4. 情報収集、検査・測定の結果から理学療法における問題点の抽出ができる。 5. 理学療法における目標設定ができる。 		
関連科目	全科目		
成績評価方法・基準	学内評価（実習前後試験：筆記及びOSCE、提出物：ポートフォリオ、成果報告会）【70%】、学外臨床実習成績（情意領域、記録）【30%】を総合して評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	これまで学習してきた知識と技術の全てを実習開始までに復習すること。必要な学習時間の目安は上記を果たすことができる時間を各自設定すること。		
教科書	使用しない		
参考書	松澤 正 他：理学療法評価学、金原出版株式会社、2022		
オフィス・アワー	学外実習のため特に設定せず、訪問時に対応		
国家試験出題基準	《専門》-VI-1-A～I、《専門》-VI-2-A～L、《専門》-VI-4-A		
履修条件・履修上の注意	3年前期までに開講された必修科目の単位を認定されていない者は履修できない。		
アクティブ・ラーニングの実施	実習前OSCE・CBT・学内実習等の実施により、実習前の期間における知識・技術の自己学習を促す。		

ナンバリング	PSq-301
実務経験のある教員による授業	
実務経験	橋口 優（理学療法士）、高橋 正明（理学療法士）、佐藤 満（理学療法士）、木村 朗（理学療法士）、鈴木 学（理学療法士）、目黒 力（理学療法士）、富田 浩（理学療法士）、岡崎 大資（理学療法士）、浅田 春美（理学療法士）、城下 貴司（理学療法士）、黒川 望（理学療法士）、加茂 智彦（理学療法士）、林 翔太（理学療法士）、田辺 将也（理学療法士）
授業の概要	学内で学んだ理学療法の評価法の知識・技術を中心に病院・施設で実習する。理学療法の対象疾患である中枢神経疾患、整形外科疾患等の医療面接法、各種検査・測定、記録法等について、臨床実習指導者のもとで実体験する。実習期間前後の合計5日間を事前事後指導にあてる。

講義科目名称： 地域理学療法実習

授業コード： 4P123

英文科目名称： Practice in Community-Based Physiotherapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
浅田 春美	高橋正明, 佐藤満	鈴木学, 木村朗	目黒力, 岡崎大資, 富田浩
	黒川望, 橋口優	城下貴司, 田辺将也	加茂智彦, 林翔太

授業形態	事前学内準備学習（2時間）、学外実習（1週間：40時間）、実習後まとめ・報告会（3時間）		担当者
授業計画	1	講義：事前学内準備学習／実習ガイダンス（2時間） 地域実習施設に関する情報収集。 地域理学療法実習の目的、実習内容等の説明、自己の目標設定など	鈴木, 浅田, 橋口, 田辺, 加茂
	2	学外臨床実習（40時間） 介護老人保健施設や通所リハビリテーション施設での学外実習施設における見学を中心とした実習（臨床実習）	各施設（学外）実習指導者
	3	演習：事後学習（1時間） ポートフォリオのまとめ学習	高橋, 木村, 鈴木, 岡崎, 浅田, 城下, 橋口,
	4	演習：実習後意見交換会（2時間） 地域理学療法実習で学んできたことについての振り返りと意見交換。自己目標に対するフィードバック	佐藤, 目黒, 富田, 浅田, 黒川, 加茂, 林
科目の目的	<p>地域理学療法で学んだ知識や評価学実習での経験を踏まえ、地域理学療法の現場を実際に見聞し、地域包括システムの理念や理学療法士の役割について理解を深める。</p> <p>また地域に根差したリハビリテーションの必要性や地域在住の方の生活を支援するために必要な理学療法や住環境整備・福祉機器や用具、多職種との連携による問題解決の重要性、行政との関わりについて実践を通して理解することを目的とする。</p> <p>4年次の総合臨床実習Ⅰ・Ⅱに向けての導入・準備のための実習と位置づける。</p> <p>【倫理観と幅広い教養】 【基本的知識と技術】 【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】</p>		
到達目標	<p>1. 施設職員、多職種、対象者に対して適切なコミュニケーションをとり、適切な態度を形成する。</p> <p>2. 通所または訪問リハビリテーション場面で生活期の理学療法を見学（経験）し、医療場面の理学療法との相違、重要性を理解する。</p> <p>3. 理学療法士による個別への対応、集団への対応（理学療法実施）など地域理学療法や高齢者理学療法実習で学んだ知識をより深める。</p> <p>4. 各施設で提供しているサービス内容を把握し、理学療法士の業務内容と役割を理解する。</p> <p>5. 地域包括支援システムや介護保険制度、障がい者総合支援法などの制度の一部を理解する。</p>		
関連科目	3年前期までの履修科目全般。評価学実習、総合臨床実習Ⅰ、総合臨床実習Ⅱ		
成績評価方法・基準	学外臨床実習成績（情意領域、ポートフォリオ）60%、実習後報告会の成績40%を総合して評価する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学内準備学習：医療面接、地域理学療法、高齢者理学療法実習で学んだ内容や制度の復習、移乗動作介助を学生同士で練習するなど		
教科書	指定なし（各学年、講義で使用した教科書）		
参考書	岡田慎一郎他：理学療法臨床実習サポートブック，医学書院，2015		
オフィス・アワー	学外実習のため特に設定せず。電話にて適宜、フォローアップ。		
国家試験出題基準	《専門》-VI-3-A～E		
履修条件・履修上の注意	当該科目前に開講されている全必須科目を履修していること。		
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習		
ナンバリング	PSq-302		
実務経験のある教員による授業			
実務経験	浅田 春美（理学療法士）、高橋 正明（理学療法士）、佐藤 満（理学療法士）、木村 朗（理学療法士）		

	法士)、鈴木 学(理学療法士)、目黒 力(理学療法士)、富田 浩(理学療法士)、岡崎 大資(理学療法士)、城下 貴司(理学療法士)、黒川 望(理学療法士)、橋口 優(理学療法士)、加茂 智彦(理学療法士)、林 翔太(理学療法士)、田辺 将也(理学療法士)
授業の概要	地域包括支援の方向にあって、地域での生活を支援するために必要な理学療法、多職種との連携、行政との関わりを理解することを目的とした実習を行う。通所でのリハビリテーションまたは訪問リハビリテーションにて実務体験を通じて、多様な理学療法のありかたや多職種との連携を実践的に学ぶ。

講義科目名称： 総合臨床実習 I

授業コード： 4P124

英文科目名称： Comprehensive Clinical Practicum I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	8単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学	プロパー全教員		

授業形態	実習	担当者
授業計画	<p>4コマ 実習前学内学習1 実習オリエンテーション, , 事前提出資料作成、ポートフォリオ：事前資料作成</p> <p>8コマ 実習前学内学習2 OSCE：事前オリエンテーションおよび実践</p> <p>3コマ 実習前学内学習3 知識確認試験</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第1週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第2週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第3週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第4週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第5週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第6週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第7週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>4コマ 実習後学内学習1 ポートフォリオ作成</p> <p>3.5コマ 実習後学内学習2 成果報告会</p>	<p>鈴木学, 浅田春美, 橋口優, 田辺将也, 加茂智彦</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>鈴木学, 浅田春美, 橋口優, 田辺将也, 加茂智彦</p> <p>プロパー教員</p>
科目の目的	<p>学内で学んだ理学療法の知識・技術の全般について，病院・施設の臨床現場で実習する。臨床実習指導者ととも診療チームの一員として診療に参加し，神経系疾患，運動器疾患，内部疾患などの理学療法評価，治療目標の設定，治療プログラムの作成，理学療法治療の実施，診療記録の作成などを臨床実習指導者の指導・監視の下で水準Ⅰの項目に関しては監視レベルで実施，水準Ⅱの項目では共同参加レベルで実施，水準Ⅲでは見学を通して理学療法の内容を理解することを，習得する。その過程の中で，ゴール設定，治療プログラム作成および再検討の思考方法について臨床実習指導者の指導の下で臨床推論の考え方を習得する。 これらは理学療法学科のディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】能力を向上させる。</p>	
到達目標	<p>総合臨床実習Ⅱは1～3年で習得した知識と技術の総合的な修練の場である。臨床実習指導者の監視の下で基本的理学療法（水準Ⅰに該当する評価・治療項目）が実施できるようにする。また可能な限り，水準Ⅱに該当する評価・治療項目は協同参加まで，水準Ⅲに該当する評価・治療項目は見学の体験をすることも目標のひとつとする。その他に，この実習では，実際の医療チームの一員としてその役割や責務を体験し，理解することも目的のひとつである。そのために担当教員は施設訪問の際に原則2時間の学生指導を実施する。</p>	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	<p>ルーブリック評価を導入する。点数配分は学外（実習施設）評価 30%，学内評価（ポートフォリオを使用）とする。60点以上で合格とする *大学で指定している課題の提出がない場合は点数に関わらず，単位を認めない。 *提出されたポートフォリオなどの課題については実習指導者の検閲を受けていないものは認めない。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>実習時間内に体感した深めたい知識について自宅で各自で自主学習に努めること。 1週間当たり5時間</p>	
教科書	教科書 特になし	

参考書	「PT臨床実習ルートマップ」 柳澤健 編集 メディカルビュー社
オフィス・アワー	学外実習のため特に設定せず、訪問時に対応。
国家試験出題基準	《専門Ⅵ》-1-A-a, b 《専門Ⅵ》-1-B-a 《専門Ⅵ》-1-C-a 《専門Ⅵ》-1-D-a～c 《専門Ⅵ》-1-E 《専門Ⅵ》-1-F 《専門Ⅵ》-1-G-a～c 《専門Ⅵ》-1-H-a 《専門Ⅵ》-1-I-a, b 《専門Ⅵ》-2-A-a, b 《専門Ⅵ》-2-B-a 《専門Ⅵ》-2-C-a～f 《専門Ⅵ》-2-D-a 《専門Ⅵ》-2-E 《専門Ⅵ》-2-F 《専門Ⅵ》-2-G 《専門Ⅵ》-2-H-a, b 《専門Ⅵ》-2-I-a, b 《専門Ⅵ》-2-J-a～d 《専門Ⅵ》-2-K 《専門Ⅵ》-2-L-a 《専門Ⅵ》-4-A-a～f
履修条件・履修上の注意	知識のみならず、社会人として医療人としての資質も問われることから、態度面やコミュニケーション能力の向上に常日頃から務めるように心掛ける。
アクティブ・ラーニングの実施	実施せず
ナンバリング	PSq-401
実務経験のある教員による授業	
実務経験	鈴木 学（理学療法士）、高橋 正明（理学療法士）、佐藤 満（理学療法士）、木村 朗（理学療法士）、目黒 力（理学療法士）、富田 浩（理学療法士）、岡崎 大資（理学療法士）、浅田 春美（理学療法士）、城下 貴司（理学療法士）、黒川 望（理学療法士）、橋口 優（理学療法士）、加茂 智彦（理学療法士）、林 翔太（理学療法士）、田辺 将也（理学療法士）
授業の概要	学内で学んだ理学療法の知識、技術全般について、病院、施設で実習する。患者を対象として理学療法の流れに従って、評価、治療目標の設定、治療プログラムの作成、治療の実施、記録等を、臨床実習指導者の下で学ぶ。とりわけ、治療プログラムの作成までを重視する。実習期間前後の合計5日間を事前事後指導にある。

講義科目名称： 総合臨床実習Ⅱ

授業コード： 4P125

英文科目名称： Comprehensive Clinical Practicum II

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4学年	8単位	必修
担当教員	担当者		
鈴木 学	プロパー全教員		

授業形態	実習	担当者
授業計画	<p>4コマ 実習前学習 実習オリエンテーション、事前学内提出資料作成、ポートフォリオ：事前実習資料作成</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第1週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第2週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第3週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第4週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第5週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第6週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>45時間 病院・施設での診療参加型による臨床実習（第7週目） 病院・施設での実習指導者による指導，教員との連携および家庭での自主学習</p> <p>4コマ 実習後学内学習1 ポートフォリオ修正・完成</p> <p>8コマ 実習後学内学習2 実習後OSCE：事前オリエンテーションおよび実践</p> <p>3コマ 実習後学内学習3 知識確認試験</p> <p>3.5コマ 実習後学内学習3 成果報告会</p>	<p>鈴木学，浅田春美，橋口優，田辺将也，加茂智彦</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>プロパー全教員</p> <p>鈴木学，浅田春美，橋口優，田辺将也，加茂智彦</p> <p>プロパー全教員</p> <p>鈴木学，浅田春美，橋口優，田辺将也，加茂智彦</p> <p>プロパー全教員</p>
科目の目的	<p>学内で学んだ理学療法の知識・技術の全般について，病院・施設の臨床現場で実習する。臨床実習指導者とともに診療チームの一員として診療に参加し，神経系疾患，運動器疾患，内部疾患などの理学療法評価，治療目標の設定，治療プログラムの作成，理学療法治療の実施，診療記録の作成などを臨床実習指導者の指導・監視の下で水準Ⅰの項目に関しては監視レベルで実施，水準Ⅱの項目では共同参加レベルで実施，水準Ⅲでは見学を通して理学療法の内容を理解することを，習得する。その過程の中で，ゴール設定，治療プログラム作成および再検討の思考方法について臨床実習指導者の指導の下で臨床推論の考え方を習得する。これらは理学療法学科のディプロマ・ポリシーの【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】【自己研鑽・探求力】能力を向上させる。</p>	
到達目標	<p>総合臨床実習Ⅱは1～3年で習得した知識と技術の総合的な修練の場である。臨床実習指導者の監視の下で基本的理学療法（水準Ⅰに該当する評価・治療項目）が実施できるようにする。また可能な限り，水準Ⅱに該当する評価・治療項目は協同参加まで，水準Ⅲに該当する評価・治療項目は見学の体験をすることも目標のひとつとする。その他に，この実習では，実際の医療チームの一員としてその役割や責務を体験し，理解することも目的のひとつである。そのために担当教員は施設訪問の際に原則2時間の学生指導を実施する。</p>	
関連科目	全科目	
成績評価方法・基準	<p>ルーブリック評価を導入する。点数配分は学外（実習施設）評価 30%，学内評価（ポートフォリオを使用）とする。 60点以上で合格とする *大学で指定している課題の提出がない場合は点数に関わらず，単位を認めない。 *提出されたポートフォリオなどの課題については実習指導者の検閲を受けていないものは認めない。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な	<p>実習時間内に体感した深めたい知識について自宅で各自で自主学習に努めること。 1週間当たり5時間</p>	

学習時間の目安	
教科書	教科書 特になし
参考書	「PT臨床実習ルートマップ」 柳澤健 編集 メディカルビュー社
オフィス・アワー	学外実習のため特に設定せず，訪問時に対応。
国家試験出題基準	《専門Ⅵ》-1-A-a, b 《専門Ⅵ》-1-B-a 《専門Ⅵ》-1-C-a 《専門Ⅵ》-1-D-a～c 《専門Ⅵ》-1-E 《専門Ⅵ》-1-F 《専門Ⅵ》-1-G-a～c 《専門Ⅵ》-1-H-a 《専門Ⅵ》-1-I-a, b 《専門Ⅵ》-2-A-a, b 《専門Ⅵ》-2-B-a 《専門Ⅵ》-2-C-a～f 《専門Ⅵ》-2-D-a 《専門Ⅵ》-2-E 《専門Ⅵ》-2-F 《専門Ⅵ》-2-G 《専門Ⅵ》-2-H-a, b 《専門Ⅵ》-2-I-a, b 《専門Ⅵ》-2-J-a～d 《専門Ⅵ》-2-K 《専門Ⅵ》-2-L-a 《専門Ⅵ》-4-A-a～f
履修条件・履修上の注意	知識のみならず，社会人として医療人としての資質も問われることから，態度面やコミュニケーション能力の向上に常日頃から務めるように心掛ける。
アクティブ・ラーニングの実施	実施せず
ナンバリング	PSq-402
実務経験のある教員による授業	
実務経験	鈴木 学（理学療法士）、高橋 正明（理学療法士）、佐藤 満（理学療法士）、木村 朗（理学療法士）、目黒 力（理学療法士）、富田 浩（理学療法士）、岡崎 大資（理学療法士）、浅田 春美（理学療法士）、城下 貴司（理学療法士）、黒川 望（理学療法士）、橋口 優（理学療法士）、加茂 智彦（理学療法士）、林 翔太（理学療法士）、田辺 将也（理学療法士）
授業の概要	学内で学んだ理学療法の知識、技術全般について、病院、施設で実習する。患者を対象として理学療法の流れに従って、理学療法評価、治療目標の設定、治療プログラムの作成、治療の実施、記録等を、臨床実習指導者の下で学ぶ。実習期間の前後合計5日間を事前事後指導にあてる。